

瑞浪市

子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

令和元年5月
瑞浪市

目 次

I	調査の概要	1
II	本調査報告書の基本的な事項	1
III	未就学児	2
	1. 居住地について	2
	2. 家族の状況について	2
	3. 育ちをめぐる環境について	4
	4. 就労状況について	15
	5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	22
	6. 「幼児教育の無償化」実施後の就労と教育・保育事業の利用について	26
	7. 地域の子育て支援事業の利用状況について	30
	8. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	35
	9. 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	39
	10. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	43
	11. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	47
	12. 「子育て世代包括支援」について	50
	13. 本市の今後の子育て支援について	51
	14. その他	53
IV	小学生	56
	1. 居住地について	56
	2. 家族の状況について	56
	3. 就労状況について	63
	4. 病気の際の対応について	68
	5. 不定期的な一時預かり等の利用について	72
	6. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	76
	7. 「子育て世代包括支援」について	83
	8. 本市の今後の子育て支援について	84
	9. その他	85

I 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「瑞浪市子ども子育て支援事業計画」(2020～2024年度)策定のための基礎資料として、対象となるお子さんの保護者の就労状況、サービス利用の実態、子育てに関する意識・意見を把握することを目的に実施したものである。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	未就学児童	小学生
調査対象	未就学児を持つ保護者	小学生を持つ保護者
配布数	1,000	1,000
抽出法	無作為抽出	
調査方法	郵送法	郵送法
調査時期	平成31年2月	平成31年2月
調査地域	瑞浪市全域	瑞浪市全域

(3) 配布数及び回収結果

有効回収数	475	434
有効回収率	47.5%	43.4%

II 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

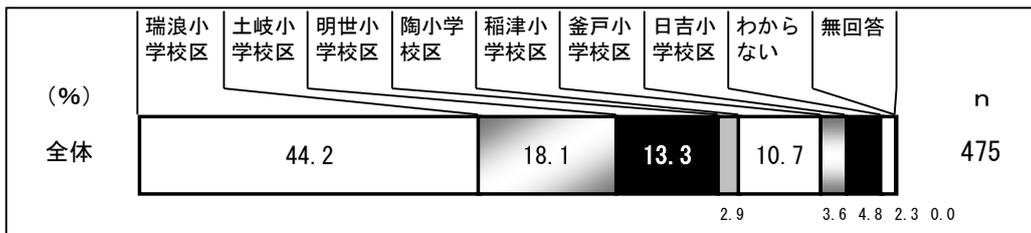
- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある間は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い間であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

Ⅲ 未就学児

1. 居住地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

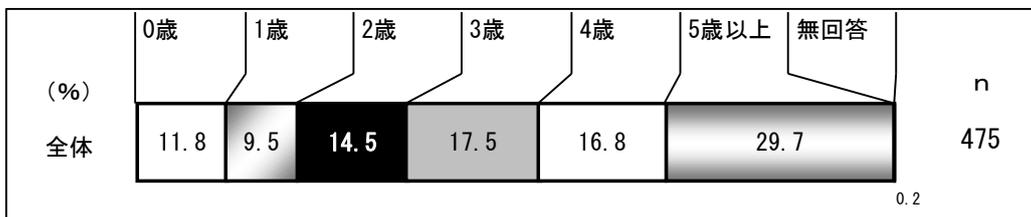
「瑞浪小学校区」(44.2%)、「土岐小学校区」(18.1%)、「明世小学校区」(13.3%)、「稲津小学校区」(10.7%)、「日吉小学校区」(4.8%)、「釜戸小学校区」(3.6%)、「陶小学校区」(2.9%)、「わからない」(2.3%)となっている。



2. 家族の状況について

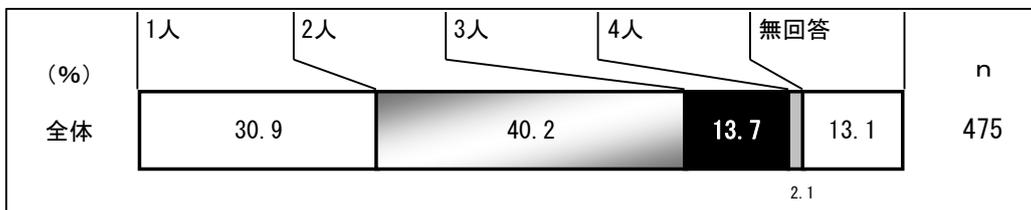
問2 宛名のお子さんの平成30年4月1日時点の年齢について当てはまる番号1つに○をつけてください。また、お子さんは何人きょうだいですか(本人を含む)。

「5歳以上」(29.7%)、「3歳」(17.5%)、「4歳」(16.8%)、「2歳」(14.5%)、「0歳」(11.8%)、「1歳」(9.5%)となっている。



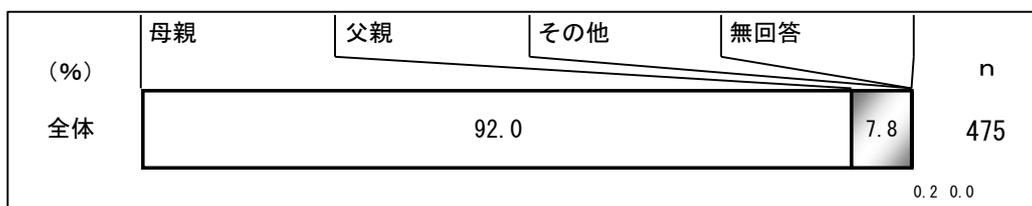
・きょうだい数

「2人」(40.2%)、「1人」(30.9%)、「3人」(13.7%)、「4人」(2.1%)となっている。



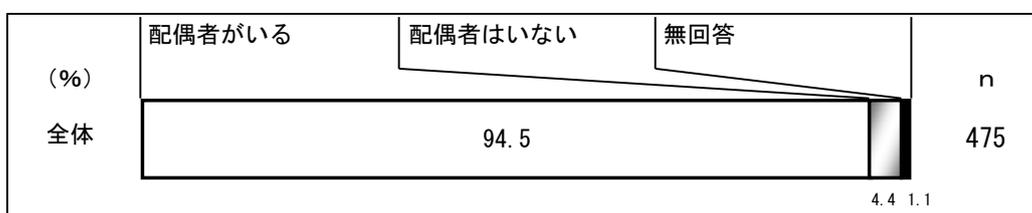
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」(92.0%)、「父親」(7.8%)、「その他」(0.2%)となっている。



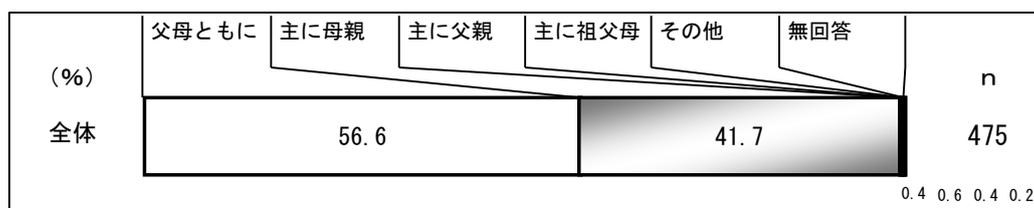
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」(94.5%)、「配偶者がいない」(4.4%)となっている。



問5 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

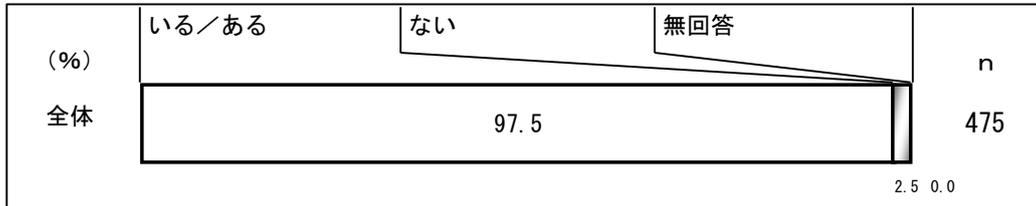
「父母ともに」(56.6%)、「主に母親」(41.7%)、「主に祖父母」(0.6%)、「主に父親」・「その他」(同率0.4%)となっている。



3. 育ちをめぐる環境について

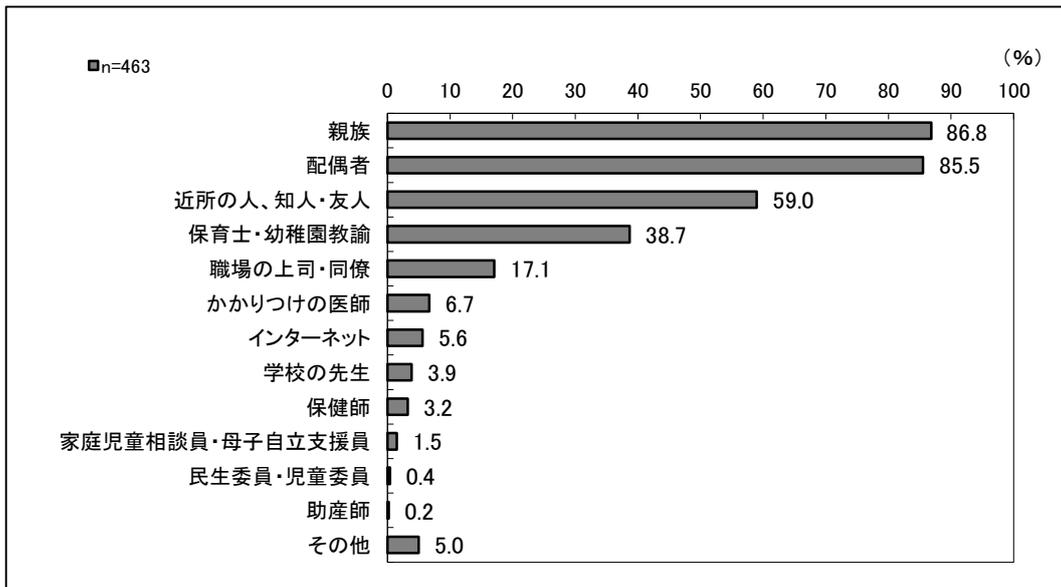
問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」(97.5%)、「ない」(2.5%)となっている。



問6-1 問6で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親族」(86.8%)、「配偶者」(85.5%)、「近所の人、知人・友人」(59.0%)、「保育士・幼稚園教諭」(38.7%)、「職場の上司・同僚」(17.1%)、「かかりつけの医師」(6.7%)、「インターネット」(5.6%)、「学校の先生」(3.9%)、「保健師」(3.2%)、「家庭児童相談員・母子自立支援員」(1.5%)、「民生委員・児童委員」(0.4%)、「助産師」(0.2%)、「その他」(5.0%)となっている。



問7 すべての方にうかがいます。子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

周囲からのサポートについては以下の意見が挙げられた。

- ・（行政）他県で出生届けを出す時に、ゴミ袋の引きかえ券を渡され、自分で支援センターや児童館に引き換えに行くという所があると聞いた。ゴミ袋が無料でもらえるのもそうだが、支援センターや児童館に出向くきっかけ作りがあるのが良いと思った。特に初めての子で、母親が嫁いできた等で知らない土地である場合、支援センターや児童館へ行くハードルが少しでも低かったり、行くきっかけになるとこれからの子育てが少しでも楽になる人が出てくるのではないかと思う。
- ・子どもが風邪の時に預かってくれる人。
- ・日吉にも支援センターを作ってほしい。
- ・もっと子どもと遊ぶ方法（遊び方や遊び歌など）を学ぶ機会がほしい。
- ・一時保育の場所が遠い。もう1ヶ所くらい北側に設けてほしい。
- ・未満児の預かりに関して、料金が高い。妻の年収で決めてほしい。
- ・両実家が遠くて預けるのが困難なので、無料または低料金で短時間、子どもを預けられる所があると助かる。「ちょっと預けたい」の「ちょっと」に対応して頂けたら。
- ・0～5歳児の一時預かりしている施設が増えると助かる。（その場合は有料でも）
- ・児童館が近くにあってほしい（できれば徒歩や自転車で行ける所に）。
- ・ちょっとした時間見ていてくれる人や場所がほしい。（兄弟の送り迎えや2時間程度の行事・用事）自分が育児に疲れて1人でぼーっとしたい時に、たとえ1時間でも良いので天候が悪い時にもありがたい。
- ・屋内で遊べる場所を作ってほしい。（年代でエリアが分かれていると嬉しい）
- ・公報等に子育てに関する事例（心配事に関するアンサー等）を載せてほしい。
- ・家庭訪問、特に小さな子どもがいて外出もできない家に。
- ・メール等で気軽に相談できることや場所。
- ・必要な情報（予防接種や保育園の事、子育てに関する教室など）が誰でもわかりやすくなっていると良い。
- ・気軽に話せる場を設けること。
- ・子育てと仕事が両立できるような支援。
- ・夏休み等の長期休みの間に園児の居場所がない。支援センターは小さい子、児童館は小学生メインで困る。
- ・子どもとともに参加できる習いごとやイベント、遊べる場所を気軽に教えてもらえる場所があれば良いと思う。
- ・子どもを安心して、かつ比較的安く預かってもらえる所、場所があったら良い。
- ・支援センターで預けられたり、ファミサポがもう少し安いと良い。
- ・大学進学 of 金銭的支援。
- ・子守りをしてもらおうと助かる。
- ・児童扶養手当の減給は1番つらい、世帯全体見ればどこの家庭も収入はあるが、世帯全体ではなく、対象者と保護者で見たい。シングルマザーにとって減給は生活へのダメージが大きい。
- ・シングルマザーとして一番つらいのは、仕事がどうしても休めない、祖父母の都合がどうしてもつかないけど、子どもは体調不良で保育園を休ませないといけない時。保育園からは「病後児保育へ

行けないのか」と言われるが、病中の子は連れて行けない。保育はできないので休ませてと言われ、自宅で診てくれる人が1人もいない時、子どもを半日も良いから一時預かりをしてくれる所がほしい。保育ができないと言うなら、できる所を探してほしいし、「病後児保育」の意味を理解してもらいたい。シングルでも体調不良の子どもの面倒がどうしても見られない時の一時預かり（半日限定でも良い）をしてくれるような施設がほしい。

- ・自分達の体調が悪い時に助けてもらえる。
- ・ママのつどいでの情報提供・支援センターの充実。
- ・情報の共有をする場がとても少ない。
- ・子育てについてのメルマガが少なすぎる。
- ・チラシを配られても、仕事して家に帰って育児、家事、残りの仕事、子どもの提出物確認などして、正直ゆっくり見ている時間がない。
- ・メルマガも登録しているが、健診の情報はくるがそれ以外はほとんどない。
- ・子どもが歩ける距離に公園がなく、車で行っても駐車場がない。
- ・深夜や早朝などに、どうしても預かってほしい時に預けられる所。
- ・金銭的なサポート（子育てにどうしても必要なもの）。
- ・親が不都合な時に助けてもらえるサポートがあると良いと思う。
- ・悩みに耳を傾けてくれ、一緒に考えてくれる。
- ・配偶者の住民税の削減
- ・産科医、小児科医を増やしてほしい。
- ・分かりやすい情報の開示。
- ・未就園児でも時と場合により、1日だけでも預かってもらえる場があると良い。（前日あるいは当日の申込でも可な所）。
- ・夜道が安全になるように街灯の設置場所の見直し。
- ・有料（～500円ぐらい）でも良いので、児童館とは別の室内で遊べる所があれば良い。（例）USランド、キッズパークのような場所。
- ・話を聞いてもらえること。
- ・0歳から保育園に入れているが、保育園で教育研究会がたまにある。レベルアップ上必要なこととは思いますが、理由があって保育園に入れさせてもらっているの理解してほしい。行事、病気でせいっぱい。他の市の友人に聞いたが、それはありえないとの事だった。
- ・1時間でも良いので、子どもと離れて過ごす時間がほしい。（自分の時間）24時間子どもと一緒にだと、イライラしたり、つらくなる時があるので少し離れる時間がほしい。
- ・1日のうち数時間、気軽に預けられる場所が増えてほしい。（保育者が美容院や病院へ行く時など）。
- ・フルタイムで働きやすい環境。
- ・土曜の保育時間を平日と同じにしてほしい。多治見市の時は、弁当持参で、平日と同じ時間までOKだったので。
- ・平日に保育園の行事があると、土曜に出勤しないと、出勤日数が足りなくなってしまう。愛保育園を希望すれば良いのかもしれないが、場所と学区を考えると選択できない。
- ・授業料を安くしてほしい。
- ・アパートだと市報とか届かないので、検診の日程など知るのが遅れてしまう。任意の予防接種で、本当は打った方が良いのか、打つならいつが良いのか等、わからないので教えて頂けると嬉しい。
- ・手続きが簡単な、子ども達が気軽に行ける場所などのサポートがほしい。
- ・サービスの内容を行政から提案してほしい。

- ・こちらから問合わせただけのことに対してのみの対応ではなく、知らないことを教えてほしい。
- ・ささいなことでも話を聞いてもらえるサービス、アドバイスよりは共感、受容してくれる人。
- ・サポートは現状で十分いただいておりますが、「子どもは〇〇」「親は〇〇」「普通は〇〇するもの」などの“枠”にとらわれている人が多いと感じるため、自由に学びと遊びが行える場が増えるといい。
- ・スーパーに、買い物中だけ預かってくれる場所ができれば助かる。
- ・なかなかコミュニケーションをとる機会がないので、普段から顔を合わせたり、話をする機会があると良いと思う。
- ・なかなか自分から相談できない人もいると思うので、検診や地域の集まりなどで声をかけてもらえるとありがたいと思う。
- ・定期的に集まりがあることで、自分から相談できるようになると思う。
- ・ファミサポの支援員を増やしてほしい。
- ・フィリピン人なので、市の子どもの行事などの案内の手紙に何が書いてあるのかわからない。
- ・病院等にかかる時にみてもらいたいので、ベビーシッターの制度などがあるとよい。
- ・ママ友などの友人と一緒になくても、気軽に子どもと一緒に楽に出かけられる遊び場。徒歩圏内に公園があるので、気軽に行けそうだが、最近は誰も遊んでいない。
- ・ママの年齢差など気にせず、すべての子育てしている親にやさしい場所があると良い。
- ・未満児で入園希望した際、仮申し込みの時、全部の説明、わからない点などを聞いた時、「仕事復帰ですか？」と言われ「いいえ、これから探したいので…」と話す、「復帰の方でない」と未満児は入れません。」と言われてしまった。身内が近くにいないので、働く所を探すためには預かってもらわないと困ると感じた。
- ・育児について気軽に話したりアドバイスをもらったりしてリフレッシュしたい。
- ・育児ストレスを軽減できるサポートをしてほしい。
- ・育児は母親がするものであるという風潮が未だに強いので、子育て支援の一環として、父親の育児参加、地域みんなで保育しようなどの啓蒙を行政にしてほしい。そして身近な人にもそのような意識をもってほしい。
- ・育児相談のできる機会の提供。
- ・一緒に遊んでもらう、お世話をしてもらうなど子どもの面倒を見てもらうこと。
- ・一般論ではなく、今困っていることや不安なことへの具体的なアドバイスがほしい。
- ・稲津に公園や児童館がないので、子どもたちが外で遊ぶ機会がない。そのような場があれば、とても助かる。現状は外で遊ぶ＝道路で遊ぶ＝危険。
- ・運動公園など、子ども達がスポーツを思いっきりできる場所が増えるとありがたい。
- ・園のようなバランスの良い食事が食べられる外食サービス。
- ・園や学校の時間以外で見てもらえる場所。(夜や休園、休校時間に地域の集まり等がある時に)。
- ・何か相談したいと思う時、どこか聞いてもらえる、アドバイスがもらえる所があると嬉しい。
- ・家事(食事)の手伝い。
- ・我が家の場合は父親の仕事が、平日は早朝から夜7時まででないで、父親が家にいる時間があると、家事や育事もできるし、自分の時間がもてると思う。
- ・学校の近くに直接行ける児童館がほしい。もしくは家の近く。
- ・児童館で遊ぶと12時~13時の間は閉館になってしまうので、昼食が取れるようにしてほしい。
- ・学童クラブをもっと充実させてほしい。定員オーバーで入れないと言われた。両親共働きの場合本当に困る。

- ・学童施設などの増加。
- ・赤ちゃん訪問や検診時に当人の希望を吸い上げてサポートを行ったり、選択肢を提示できると良いのではないかと。
- ・継続して見守って頂けるように、保育士や保健士が担当制だと良いと思う。
- ・日曜などに気軽に子どもを預けられる場所。
- ・小学校の1～3年生ぐらいまでの子どもが、夏休みなどの長期の休みの時に、家の近くに預けられる場所があると助かる。
- ・気軽に相談できる場や、交流の場の提供。
- ・気軽に相談できる仲間、グループがないので残念。
- ・今後の教育についても、何かからして良いかわからなく不安なので、誰か教えてほしい。
- ・瑞浪市は外で遊べる場所が少ないため、親子での交流もなかなかできないのが現実。出身が瑞浪市なので友達が身近にいるが、教育の件も相談しづらい。
- ・気軽に預けられる託児所、一時預かりなどを増やしてほしい。身近に預けられる人がいないため、母親や父親に何かあった時に対処できない。
- ・気軽に利用できる（低予算で）一時保育サービス。
- ・休日に子どもが自由に遊べる室内施設があると良い。
- ・急な病気の時などに当日利用できる保育施設、休日診療を受けるのが、多治見や土岐しか見てもらえなかったため、瑞浪でも受け入れてもらえると嬉しい。
- ・急な病気の時に仕事を休む or 病児を預けて仕事に行く等に対して理解がほしい。
- ・急に子どもがけがをした時など、他の兄弟をすぐに（一時的に）預けられる所があると良い。
- ・急用などの時にすぐ子どもを預けられる、または見てもらえるようなサポートがあると助かる。
- ・急用や急病時に子育てを一緒に、またはサポート的に気軽に頼めること。保護者が病気になると、親族でも介護等で困難な場合もある。
- ・学童に入れたくても入れなくて、1人で留守番させるしかないと聞く。年間費を一括で払う方が優先というのはわかるが、希望した人ができるだけ入れるように定員や場所を増やしてほしい。
- ・共感できるような子育て体験談や具体的な解決方法を教えてほしい。特に共感については相談する上で本当に参考になる。
- ・共働きなので、小学校の学童でも給食があると嬉しい。また、土曜も学童があるがほとんどの方が利用しておらず、会社を休むしかない。利用するにも高いため、小学校入学後の両立が心配。
- ・教育部でも夏休み期間中など預かり保育があると良い。
- ・金銭的なサポート、習い事をさせるにも月謝が高い。
- ・具体的な子育ての方法やアドバイスなど自分にも取り入れられることを教えてもらえると子育ての安心につながる。
- ・現在、共働きをしており2人目を妊娠中。育児休暇の取得を予定しているが、仕事復帰する際に、2人が保育園に入れるか心配。待機児童問題。
- ・現在は育休中なので、児童館はとてありがたい。（子育て支援センターも）前は土岐に住んでいたが、土岐でも瑞浪の施設の方が先生方があたたかいと評判だった。
- ・広報以外の情報。インターネット、SNSなど。
- ・困ったこと、悩んでいることを聞いてもらえたり、助けになってもらえること。
- ・稲津のファミリーサポートがあるが、料金が高いため頼れない。
- ・最近、近所の高校生が自殺した。理由はわからないが、高齢児童（中高生）が気軽に相談できる施設があると良いと思う。（妊娠～産後、子育てと1～6歳では手厚くサポートして頂いているので感

謝しています)ただそのようなことがあったので、同じ子を持つ親として将来心配になる。

- ・産後、親に頼れない人もいる。産後の家事を助けてくれる人など、市でできないのであれば、民間サポート利用の補助があると助かる。
- ・今所属している園以外で、支援センターなど未満児を連れていける場所、夏休みや冬休みなどの長期休みに預かってもらえる場所がほしい。
- ・仕事が長引き、どうしても迎え時間に行けない時に、サポートしてくれる体制があれば、親はもっと進んで仕事ができると思う。
- ・仕事をしているとなかなかママ友が作れない。土、日に親子で交流し、友達づくりができるようなイベントなどがあると良いと思う。
- ・仕事をしている親として、自分以外の方々に子ども達が見守られている環境が多くあってほしい。
- ・子どもが休みの時に預けられる場所(学級閉鎖になった時等)。
- ・子どもだけが集まる場所(児童館や支援センター)だけでなく、地域の方が、みんなで集まれる、交流ができる機会や(サポート)場所を作ってほしい。
- ・子どもの預かりサポートはあるが、使うのに勇気が必要。もっと手軽にできると良いと思う。
- ・子どもの急な体調不良の時など、仕事が休めない状況の時のサポート。
- ・子や親向けのイベントの情報がほしい。
- ・最近では広報だけでなくSNS等の配信があり、すき間時間に見られるので嬉しい。
- ・子育てに息詰まった時、悩んだ時、困っている時に、何でも相談できるような環境があれば良いと思う。
- ・実家が東北のため、親にサポートしてもらうことは不可能なので、実家が遠方の人は特に困る。
- ・子育てヘルパーさんのサポートがあれば有料でも良いのでありがたい。特に産後、里帰りもできず、上の子もいる中で家事やそうじ、炊事、子守りをするが、貧血もあり、つらくフラフラだったので週1、2回サポートしてもらえる仕組みがあったらありがたい。
- ・子育てを中心になってやっている人(主に母親)が、自分の体調不良などで病院や歯医者に行きたくても預け先がなく困ることが多い。そういうサポートをもっと増やしてほしい。
- ・子育て給付金のUP。
- ・子育て支援センターもあるが、各地区、同学年になる子どもとの交流の場があると良い。(幼稚園にあがる前の段階で)他県、他地域から来た人間にとって知り合いがいると助かる。
- ・子育て支援に対する情報提供や交流の場があると良いと思う。
- ・子育て中に受給できるもの(失業手当など)をもう少し受け取りやすく、簡単にして頂きたい。
- ・子どもが幼稚園に通う前に、言葉が少ないことと、理解力が弱かったために発達支援センターに通っていた。職員の方から子どもへのアプローチの仕方などを教えてもらったことは良かったと思う。
- ・保健センターに電話をして、子どもの事で気になることを相談できたことが良かった。
- ・子どもが気軽に集まれる室内(安全な場所)があると良いと思う。児童館はあるが、なんとなく決まったメンバーになりがちなので、公園などでその時間帯に見回りや見張れる大人がいて、平日の夕方に催物などがあると良い。
- ・子どもが複数いると送迎等で1人きりにならないように工夫を考えたい。
- ・子どもが遊べる場所、車が通らない散歩のしやすい道づくり。
- ・子どもの一時預かり(親が病気等)のサポート、サービスに何があるのか瑞浪市はわかりにくい。
- ・子どもの健診(1歳、1歳半、2歳)などで決まった日に受けられない時があり、電話がよくかかってきたが、その日に受けられない時、次回の日程のハガキを送ってもらえると助かる。電話も出られない時がある。

- ・子どもの送り迎え。
- ・子どもを連れて行けない時に気軽に、安価に、一時的に預かってもらえるような場所などを提供。
- ・子連れで参加できるイベントがあると嬉しい。同じ境遇の人と話ができる機会がほしい。
- ・市外から引っ越して来ると、誰とも話すこともなく子育てをすることになるので、おせっかいなおばさんのような顔見知りや担当のような人が1人いると何でも話せるかもしれない。
- ・着られなくなった衣類、赤ちゃん用品（ベビーカーなど）、おもちゃなどを市内で他の人へ譲ることができると良い。
- ・市内の習いごとをできる場所や情報の一覧表があると嬉しい。
- ・支援センターのように、子どもを連れて遊んだり、育児相談ができる開かれた場所を土・日も提供してもらえると嬉しい。
- ・イベントのチラシを窓口においてもらえるだけでも良いかもしれない。
- ・支援センターや児童館で、月1回でも良いので、ママさん同士で座談会のような場があると良い。
- ・支援センターや児童館へのお誘い。広報に日程などの情報はあがるが、見たか見ていないのかわからなく、来ない人は来ていないので、近所に年齢の近い子がいても関わる機会がない。アパート暮らしだと特に近所付き合いがないので、きっかけがあると嬉しい。
- ・私のように遠方から来たばかりやお互いの親が高齢で見てもらうことができなく、父親も仕事が忙しく帰りが遅い場合はとても負担が重く、子どもが幼稚園に入るまで、話せる人が本当にいなくてつらかった。初めての子育てで不安も大きくうつっぽかったと思う。そのような人に対して家庭訪問が月1回程度あると良いと思う。
- ・私自身、あまり悩まないタイプなので、サポートというよりは、何かあった時に具体的な事（こんな事例があります）が目で見えてわかると、いざという時に「あっ！」ということになるかなと思う。紙でも良いので。
- ・産後子育てに関して不安や心配に思うことは、同じ境遇にあるママさん、友人との会話でかなり助けられた。特に子育て支援センターで気軽に話しができる友人や先生の存在はとても大きい。
- ・資金援助。
- ・児童館などでの一時預かりなど。
- ・児童館など親が仕事などで家にいない時、安全に遊べる所が近くにあると助かる。
- ・自らの子育てによる経験談。
- ・自ら助けてという人が少ないと思うので、周囲が積極的に悩みを聞くべきだと思う。
- ・自分が体調不良など、子どもの面倒を看られない時に、急なことでも気軽に相談、サポートしてもらえると助かる。
- ・幼稚園の送迎があるととても助かる。
- ・手軽な習い事の場があると良いと思う。もしくはもう少し情報がほしい。
- ・就学前の子どもは1日中母親といるので、私のように子どもが2人いる家庭は大変なケースが結構ある。例えば妊娠した場合、妊婦検診に上の子を連れていけない場合、ほんの少しの間だけでも子どもを見てくれる人がほしいと思った。ファミサポや一時預り保育があるが、料金が高かったりするので、もう少し安くしてほしい。
- ・週に数回幼稚園に通う前の子どもを預けられる所があると良いと思う（2歳頃から）。
- ・仕事をしておらず、核家族である場合、1人で子どもの世話をし続けるのはとても大変であるのと同時に、2歳頃になると、子どもも活発になり、外との交流を持つ機会があっても良いのではないかと感じる。子どもと親の関係を良好に保つため、人口減少対策には良いのでは。
- ・女性は特に話すことでストレスが軽減すると思うので、子育て中は特に必要。母親の年齢や、同じ

悩みなど共通点がある人と話しやすい。初めての人と話すのが若手な方も多いと思うので、ある程度、共通点がある人を集めるなど、話の場をしきる人がテーマを決めたり、まとめてくれるとしゃべりやすいと思う。

- ・小さい子どもがいるお母さんが、1人で出かけたり、ゆっくりする時間があると良いと思う（ないとウツなどにつながるのかなと思う）ので、気軽に子どもを預けられる施設があれば良い。すでにあるならばもっと、「ぜひ使って！ウェルカム！」のように気兼ねなく使えるようアピールしてほしい。
- ・近くに親がいなかったり、夫が非協力的だった時もそうだが、親等が近くにいたからといって「母親なんだからずっと見て当然」という感じにつき放されたりもあるかもしれない。身近な人の意識も変わると良いと思う。
- ・小学校の給食の無償化。
- ・小学校までの距離が遠く、子どもも登下校を億劫に感じ、歩くなら学校に行きたくないと言うことがほぼ毎日ある。徒歩30分以上かかる地域にはぜひ登下校バスを検討してほしい。
- ・小学校区域の保育園・幼稚園への入園を確実にする。（平等にクジ引きとしても、子どもがかわいそう。もっと優先すべき）未満児がない所、ある園への入園希望の差が大きい。
- ・日曜日に遊びに行く所がない。
- ・障害がある子どもを持つ親へのサポート。
- ・障害レベルや療育手帳でもサポートをもう少し考えてほしい。ギリギリ障害者手帳を持っていない子と持っている子の差が大きい。
- ・情報提供。特に第1子に関しては知らないことが多く、情報を得る手段も少ない。出かけることも難しいので、郵便や新生児訪問など、刊行物として頂けると後で読むことができて助かると思う。
- ・親が土、日に仕事が休みでない場合、幼稚園が休みだと非常に困る。市や行政の関係は土、日は子どもをみてくれない、ファミリーサポートセンターも日曜は見えてくれない。
- ・親が病気の時に支えになる方がいるととても心が落ち着く。
- ・親と一緒に住んでいるからと、就学援助制度が通らなかった。家族みんな世帯が同じでもお金を出しあって（生活費は別）いるわけではないのに、世帯が一緒だからと理由で書類上の対応しかしてくれない。
- ・親の体調不良や、どうしてもはずせない用事の時など、いつでも預かってもらえる人や場があれば安心。
- ・親子で体験ができる様々な種類のイベントを企画し、気負わず、気楽に参加できる環境づくり。
- ・身近な人：幼稚園の送り迎えの手伝い（替わり）。
- ・行政：託児所の拡充（気軽に預けられる所がほしい）図書館の所のママカフェなど。
- ・生活のために仕事に行きたいが、預けるのもお金がかかり、結局仕事に行けず、十分な教育が難しい。
- ・祖父母に対し、現在の子育て、教育を教えてほしい。（アレルギーの危険性など）。
- ・早期の療育開始のためには健診などで、ある程度子育てや保健師経験のある方が対応すべきだと思う。若い保健師さんを育てるにはある程度ベテランさんの補助のもと経験をつむべきではと感じる。対応しにくいと思うが、なんとなく流されて健診が終わってきた感覚がある。
- ・送迎は同居の祖母が行っている。口頭での連絡やその場での掲示物による連絡は、親まで伝わらないことがある。できれば連絡ノートを活用して頂きたい。親の同行が必要となる行事は、遅くとも1ヶ月前に知らせて頂けると仕事の調整も取れ、対応しやすい。
- ・多少お金が必要でも良いので、実家が遠方等で預けられない人などが、美容院、免許更新、ちよっ

とした買い物、引越しなど、私的な利用で預けられるような場がほしい。2～3時間で十分なので、用事を問わず保育をしてほしい。また、利用回数制限あっても良い。

- ・ 駄知の休日急病診療所がもう少し利用しやすくなると安心できると思う。
- ・ 大きな悩み事になる前に、“少しの困り事”レベルで気軽に話しを聞いてもらえると良い。
- ・ 短時間預かってもらえる人がいると助かる。
- ・ 地域内でママ友同士交流ができるような場所や時間を提供。
- ・ 昼間はワンオペになってしまうので、親子で出かけられる場所を設けてほしい。
- ・ 長期休み（春、夏、冬）に教育部でも預かってくれる時間があれば助かると思う。日曜や祝日に子どもが病気になると、受け入れてくれる所がなさすぎて困る。どうして子どもは病院へかかれないのか？←東濃厚生病院。
- ・ 第1子の場合すべてが初めてなので、行政サービスなど児童施設がマンツーマンで教えてほしい。
- ・ 登園・降園時に先生方と話ができる、情報の入手が多様である、子どもを中心とした活動がある等、現状のサポートがとてもありがたい。
- ・ 登下校中の見守り。
- ・ 土、日（幼稚園が休みの日）などに、子どもの事で悩みがある親子だけが集まる集会があると良い。平日の相談だとなかなか行きづらい。
- ・ 土・日の保育、習い事の送迎。
- ・ 土日でも利用できる室内遊びスペースがほしい。気軽に利用できる幼児サービスなど。
- ・ 土曜日午後の保育をして頂けると助かる。（幼稚園保育部）。
- ・ 働きながら育てているので、子どもに接する時間が短いのが気になるので、いつも相談できると良いと思う。
- ・ 同じ年齢のママ達と交流があって、もし何かあった時に気軽にお願いできる。
- ・ 同居で家族がとても協力的なので助かっている。
- ・ 入園後も乳幼児相談のように、気楽に子どもの事について相談できる機会があると嬉しい。先生方は忙しくてなかなかゆっくり話をする事ができないので。
- ・ 祖父母と同居していても子どもの面倒を見ることを拒否されている。同居でも学童に入りやすくして頂けると助かる。
- ・ 妊娠～出産まで、産後1ヶ月ほど金銭面、人手のサポートがあると嬉しかった。
- ・ 2人目以降の妊娠では通院、入院、産後、上の子をどうするかがとても困った。
- ・ 通院（定期検診）の際ファミリーサポートがあるのは存じているが、正直誰かわからない方に我が子を預けるのは不安。幼稚園での一時預かりが1ヶ所だけでなく、一番近くの幼稚園で、もっと簡単に預けられたらと思う。保育士資格のある先生方に子どもに適した幼稚園で預かってもらえれば一番安心。
- ・ 産前産後の保育科についても、サポートがあればと思う。妊婦健診、出産に補助があるとはいえ、トータル10万超えの自己負担となり、金銭的負担が減ると嬉しい。
- ・ 悩みやわからないことを相談できる場が増えてほしい。
- ・ 同じ地域の子が集って遊ぶ機会を作る（親が積極的に来られるような環境）。
- ・ 買い物時の預かり。食事のサポート。
- ・ 発達の遅れや不登校等の際に、的確にアドバイスして下さる専門相談機関。
- ・ 発熱時等、子どもが病気の時、病中のサポートが公共サービスにないため、核家族は両親どちらかが休む必要があるが、長期の風邪や下痢等では、仕事をやめることを検討せざるを得ない状況となる。よって上記のサポートをしてほしい。

- ・病気があるので、なかなか幼稚園に入る時も良い返事をもらえず不安だった。もう少し、どんな病気でも対応してほしい。
- ・病気になった時や学校・園の行事等で休まざるを得ない時の職場の理解。
- ・小さな事でも子育ての悩み等の話しを気軽にできる場所。
- ・親が病気になった時、子どもを連れて病院に行くのは避けたいため、預かってもらうサポートのシステム。
- ・祖父母の介護時、子どもを数時間預かってもらえるシステムなどがあるとありがたい。
- ・親が病気の時に子どもの世話も含めて日常生活がとても大変なので、生活サポートが有料でもあれば助かると思う。ファミリーサポートは病気の人間がいる所には支援に行けないと言われた。
- ・病児保育と延長保育、土日保育、親が病気の時の手助け。
- ・病児保育をしてもらえるようにしてほしい。
- ・父が仕事で家にいない時、祖父母に遊んでもらえる。
- ・父母や親族に用事がある時に子どもを預ける先があると良い（休日は保育園が休みのため）。
- ・風邪やけがをした時等の緊急時のサポート。
- ・壁にぶちあたった時にアドバイスをもらえたり、手を差し伸べてもらえると助かる。
- ・保育・幼稚園や小学校で、英語をもっと身近に使ってもらえる環境がありがたい。
- ・保育園の先生ともっと話をする機会があると良いと思う。迎えの時間など少ししか話せないの。
- ・保育用品、学童用品など子育てに関するものを気軽に無償で譲ったり、売ったりできる場がほしい。すでにそのような場があったとしても、いつどこでやっているのかわからない。
- ・母親の体調が悪くなった時、子どもを預かってくれる場所がない。私の父親は子どもの面倒が見られず、夫の親は他県にいるので、急に何かあった時にすごく困る。夫の仕事はすごく忙しく、ワンオペ育児状態。教育部でも夏休み、冬休みに子どもを預かってほしい。（精神病の父との同居でストレスが溜まりやすく、子どもにあたってしまうので、少しでもお互いのために、子どもには園で過ごしてほしい）。
- ・母親同士の交流の場、（同じくらいの年の子をもつ親で、気楽に集まれるような…）。
- ・放課後教室のようなもの（土岐のような）があったら良い。
- ・未満児→以上にあがる時、優先して同じ園に入れるようにしてほしい。
- ・無料での短時間預かり（図書館や児童館など）。
- ・予防接種の時期や母乳卒業の時期、離乳食の注意点など自分で調べないとわからない情報が多いので、もう少し強制的な指導があったら悩む人も少ないのではと思う。
- ・休日無料で子どもたちが、施設の中で遊べるような所。少し目を離しても安全な施設が良い。愛知県には多くの無料や有料で、しかも安い施設がある。
- ・幼稚園が 14:15 までだが、事前に申込みば用事のある時は延長して預かってもらいたい時がある（有料可）。
- ・頼れる祖母祖父が遠方すぎるため、共働きで仕事が休めない日に、子どもが体調を崩した時に預ける先がない。病後児保育は感染性の病気はうつるからと毎回断られ、基本的に預け先（頼れる先）がないと実感している。ファミサポは他人に預けるのが不安で手が出しづらい。どうしたら良いかわからなく不安を感じる。
- ・両親が共働きしながら、子育てができる・子どもが病気した時、休みをとりやすいようにしてほしい。
- ・両親共働きの家庭が多い中、父親・母親の自分の時間がない。家事、仕事、育児、ストレス発散する時間がほしい。

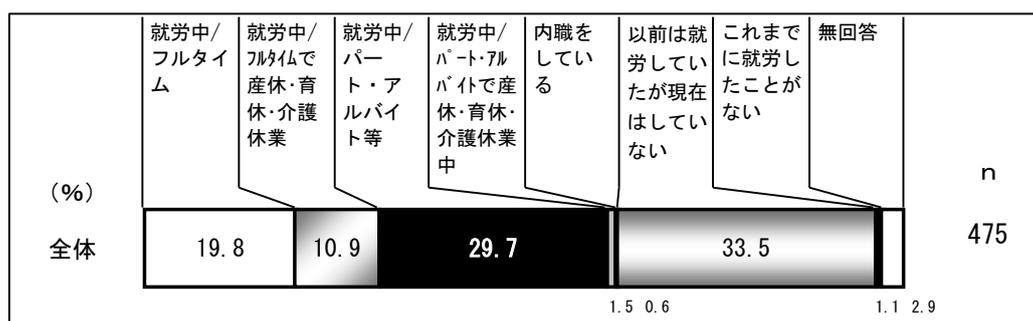
- ・連れ去り防止のサポート。
- ・話し相手になってくれること、病気の時など預かってくれる所、休ませてもらえる職場。

4. 就労状況について

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

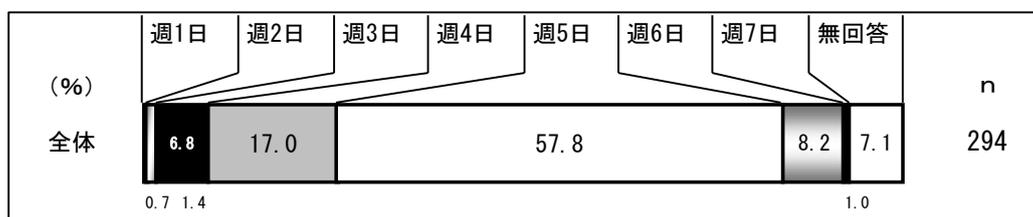
(1) 母親

「以前は就労していたが現在はしていない」(33.5%)、「就労中/パート・アルバイト等」(29.7%)、「就労中/フルタイム」(19.8%)、「就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中」(10.9%)、「就労中/パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中」(1.5%)、「これまでに就労したことがない」(1.1%)、「内職をしている」(0.6%) となっている。



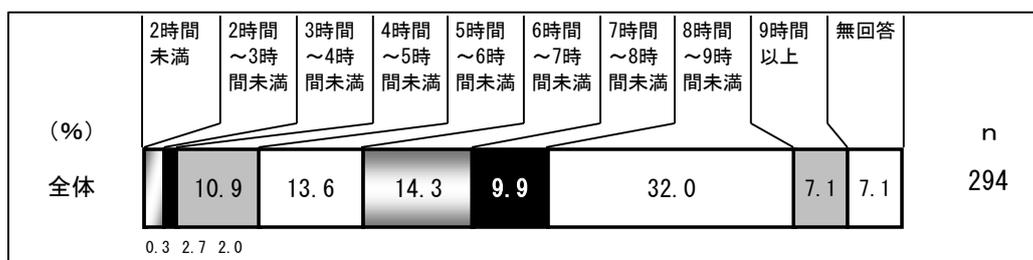
・ 1週当たり就労日数

「週5日」(57.8%)、「週4日」(17.0%)、「週6日」(8.2%)、「週3日」(6.8%)、「週2日」(1.4%)、「週7日」(1.0%)、「週1日」(0.7%) となっている。



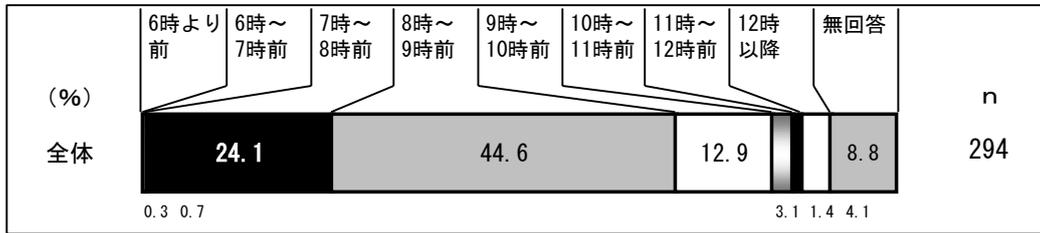
・ 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」(32.0%)、「6時間～7時間未満」(14.3%)、「5時間～6時間未満」(13.6%)、「4時間～5時間未満」(10.9%)、「7時間～8時間未満」(9.9%)、「9時間以上」(7.1%)、「2時間～3時間未満」(2.7%)、「3時間～4時間未満」(2.0%)、「2時間未満」(0.3%) となっている。



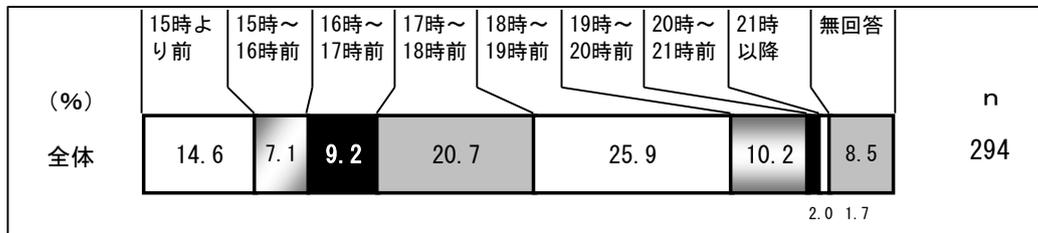
・ 家を出る時刻

「8時～9時前」(44.6%)、「7時～8時前」(24.1%)、「9時～10時前」(12.9%)、「12時以降」(4.1%)、「10時～11時前」(3.1%)、「11時～12時前」(1.4%)、「6時～7時前」(0.7%)、「6時より前」(0.3%) となっている。



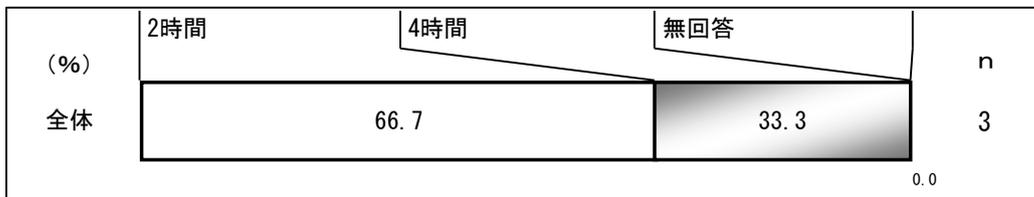
・ 帰宅時刻

「18時～19時前」(25.9%)、「17時～18時前」(20.7%)、「15時より前」(14.6%)、「19時～20時前」(10.2%)、「16時～17時前」(9.2%)、「15時～16時前」(7.1%)、「20時～21時前」(2.0%)、「21時以降」(1.7%) となっている。



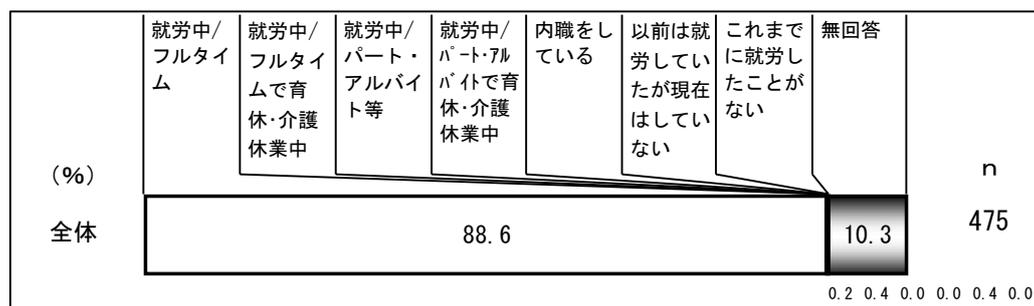
・ 1日当たり内職をしている時間

「2時間」(66.7%)、「4時間」(33.3%) となっている。



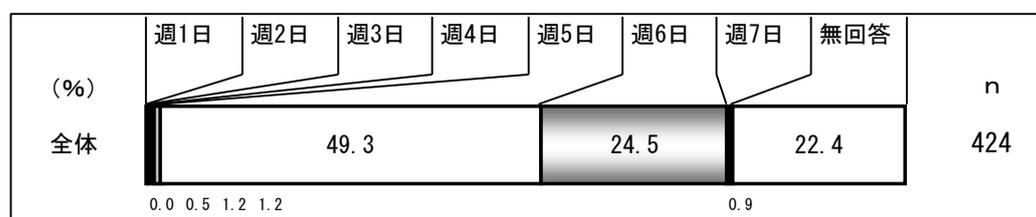
(2) 父親

「就労中/フルタイム」(88.6%)、「就労中/パート・アルバイト等」・「以前は就労していたが現在はしていない」(同率0.4%)、「就労中/フルタイムで育休・介護休業中」(0.2%)となっている。



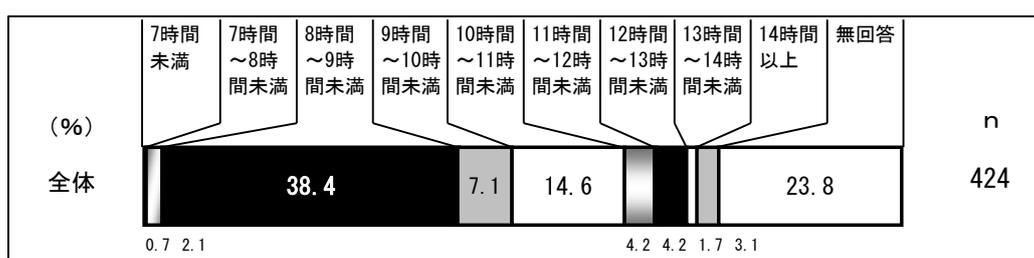
・ 1週当たり就労日数

「週5日」(49.3%)、「週6日」(24.5%)、「週3日」(1.2%)、「週4日」(1.2%)、「週7日」(0.9%)、「週2日」(0.5%)となっている。



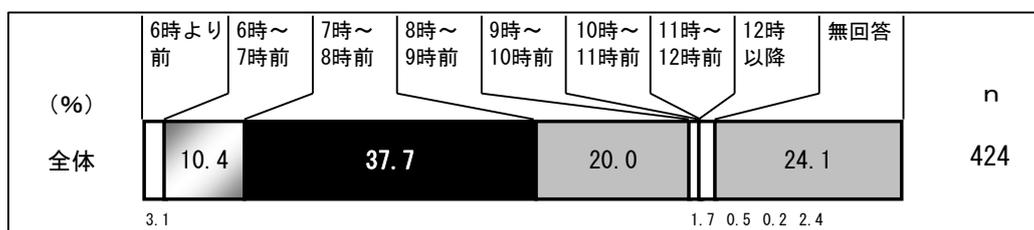
・ 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」(38.4%)、「10時間～11時間未満」(14.6%)、「9時間～10時間未満」(7.1%)、「11時間～12時間未満」(4.2%)、「12時間～13時間未満」(4.2%)、「14時間以上」(3.1%)、「7時間～8時間未満」(2.1%)、「13時間～14時間未満」(1.7%)、「7時間未満」(0.7%)となっている。



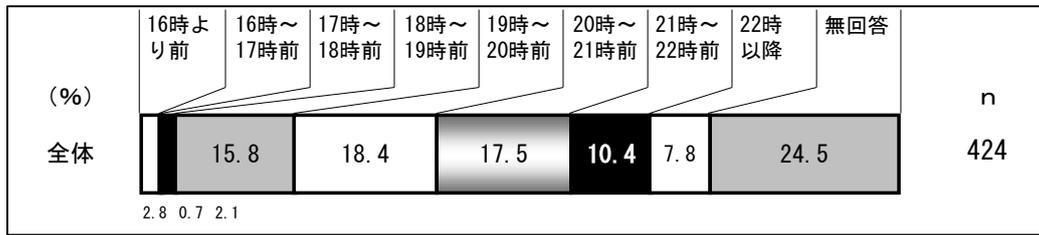
・ 家を出る時刻

「7時～8時前」(37.7%)、「8時～9時前」(20.0%)、「6時～7時前」(10.4%)、「6時より前」(3.1%)、「12時以降」(2.4%)、「9時～10時前」(1.7%)、「10時～11時前」(0.5%)、「11時～12時前」(0.2%)となっている。



・帰宅時刻

「19時～20時前」(18.4%)、「20時～21時前」(17.5%)、「18時～19時前」(15.8%)、「21時～22時前」(10.4%)、「22時以降」(7.8%)、「16時より前」(2.8%)、「17時～18時前」(2.1%)、「16時～17時前」(0.7%)となっている。



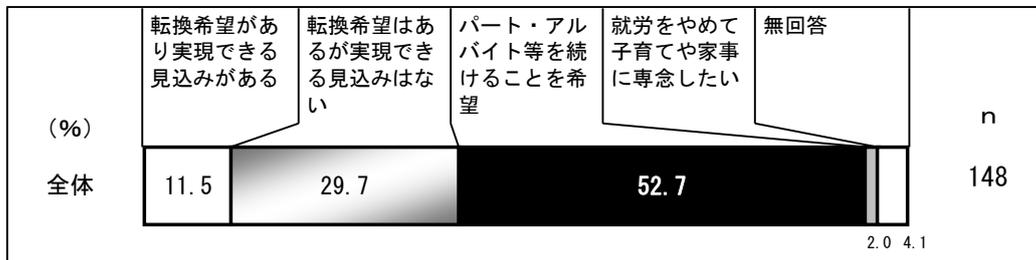
・1日当たり内職をしている時間

・該当なし

問9 問8の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

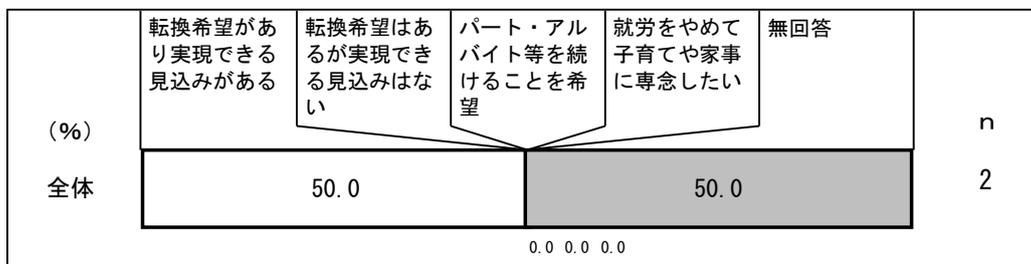
(1) 母親

「パート・アルバイト等を続けることを希望」(52.7%)、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」(29.7%)、「転換希望があり実現できる見込みがある」(11.5%)、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」(2.0%)となっている。



(2) 父親

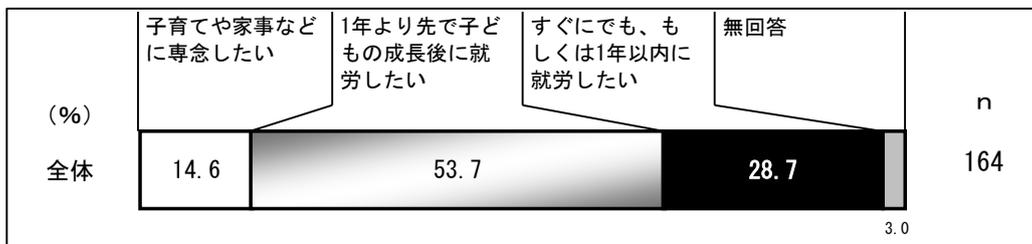
「転換希望があり実現できる見込みがある」(50.0%)となっている。



問10 問8の(1)または(2)で「6. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「7. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

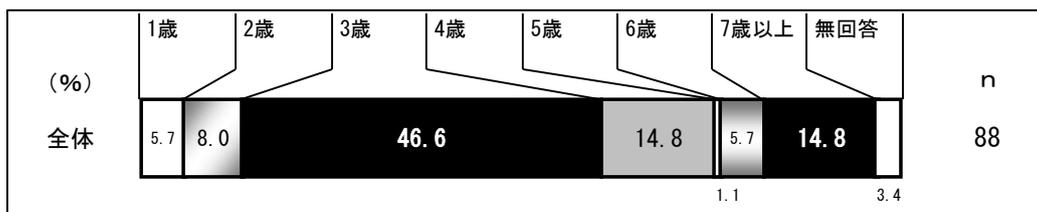
(1) 母親

「1年より先で子どもの成長後に就労したい」(53.7%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(28.7%)、「子育てや家事などに専念したい」(14.6%)となっている。



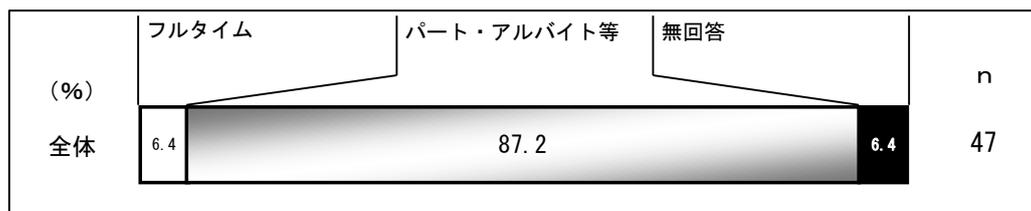
・ 就労希望時期: 末子の年齢

「3歳」(46.6%)、「4歳」(14.8%)、「7歳以上」(14.8%)、「2歳」(8.0%)、「1歳」・「6歳」(同率5.7%)、「5歳」(1.1%)となっている。



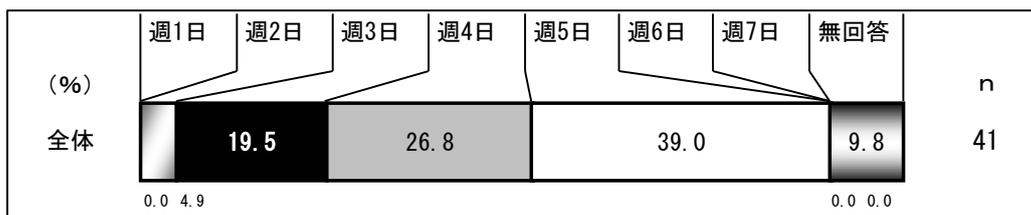
・ 就労希望の形態

「パート・アルバイト等」(87.2%)、「フルタイム」(6.4%)となっている。



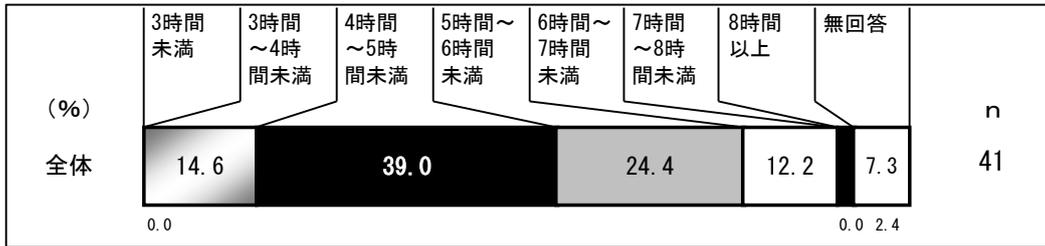
・ 1週当たり就労日数

「週5日」(39.0%)、「週4日」(26.8%)、「週3日」(19.5%)、「週2日」(4.9%)となっている。



・ 1日当たり就労時間

「4時間～5時間未満」(39.0%)、「5時間～6時間未満」(24.4%)、「3時間～4時間未満」(14.6%)、「6時間～7時間未満」(12.2%)、「8時間以上」(2.4%)となっている。



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(50.0%、1件)となっている。

・ 就労希望時期:末子の年齢

・ 該当なし

・ 就労希望の形態

「パート・アルバイト等」(100.0%、1件)となっている。

・ 週当たり就労日数

・ 回答なし

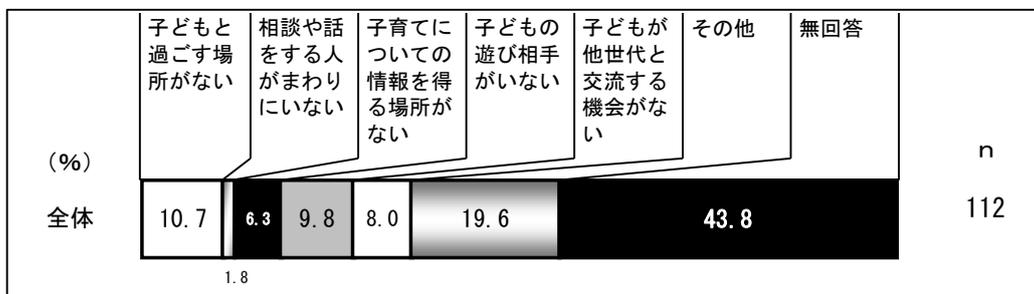
・ 1日当たり就労時間

・ 回答なし

問11 問10の(1)または(2)で「1」、「2」に○をつけた方にうかがいます。家庭で子育てを行うにあたって、困ることはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「子どもと過ごす場所がない」(10.7%)、「子どもの遊び相手がいない」(9.8%)、「子どもが他世代と交流する機会がない」(8.0%)、「子育てについての情報を得る場所がない」(6.3%)、「相談や話をする人がまわりにいない」(1.8%)、「その他」(19.6%)となっている。



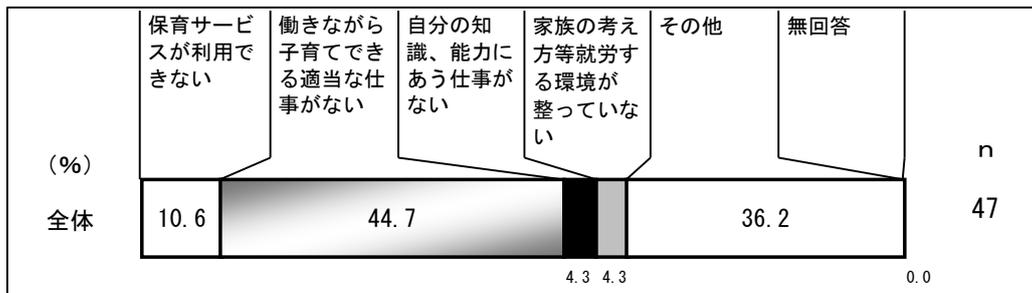
(2) 父親

・ 回答なし

問 12 問 10 の (1) または (2) で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「働きながら子育てできる適当な仕事がない」(44.7%)、「保育サービスが利用できない」(10.6%)、「自分の知識、能力にあう仕事がない」・「家族の考え方等就労する環境が整っていない」(同率 4.3%)、「その他」(36.2%) となっている。



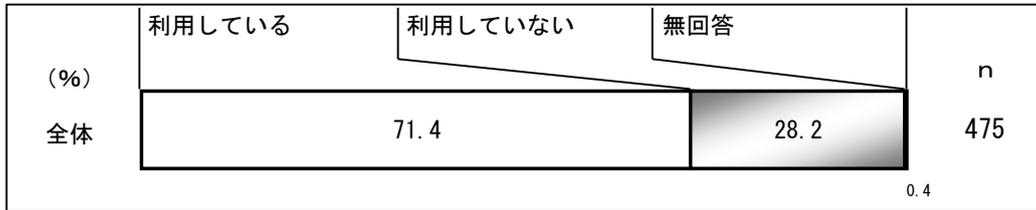
(2) 父親

「その他」(100.0%、1件) となっている。

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

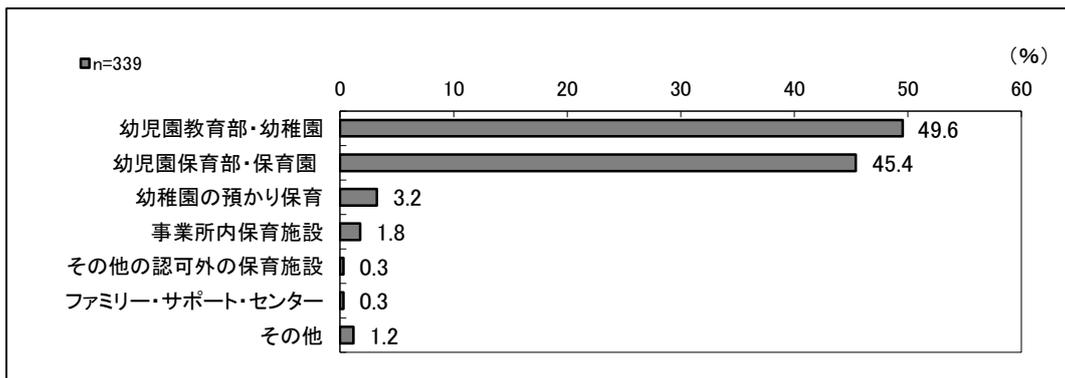
問 13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」(71.4%)、「利用していない」(28.2%)となっている。



問 13-1 問 13-1～問 13-2は、問 13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園教育部・幼稚園」(49.6%)、「幼稚園保育部・保育園」(45.4%)、「幼稚園の預かり保育」(3.2%)、「事業所内保育施設」(1.8%)、「その他の認可外の保育施設」・「ファミリー・サポート・センター」(同率0.3%)、「その他」(1.2%)となっている。

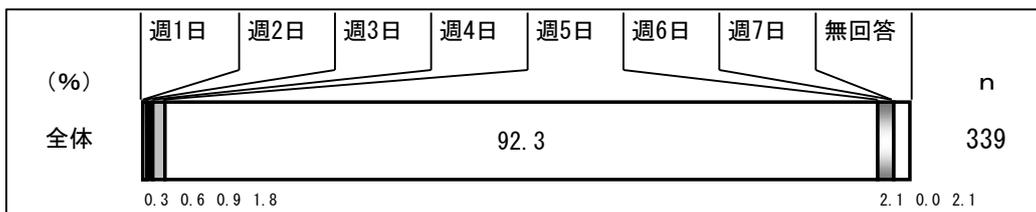


問 13-2 平日に定期的にご利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

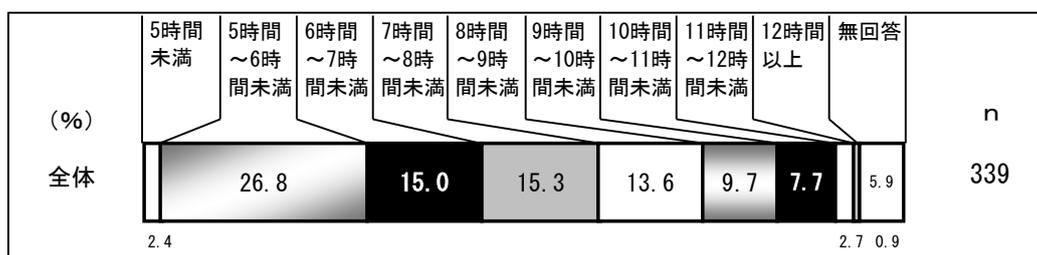
・利用日数/週

「週5日」(92.3%)、「週6日」(2.1%)、「週4日」(1.8%)、「週3日」(0.9%)、「週2日」(0.6%)、「週1日」(0.3%)となっている。



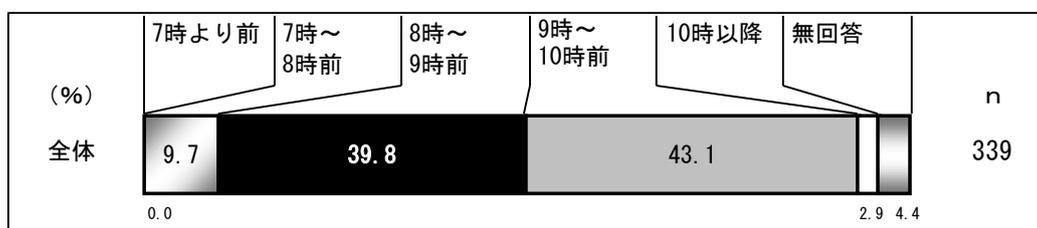
・ 利用時間/日

「5時間～6時間未満」(26.8%)、「7時間～8時間未満」(15.3%)、「6時間～7時間未満」(15.0%)、「8時間～9時間未満」(13.6%)、「9時間～10時間未満」(9.7%)、「10時間～11時間未満」(7.7%)、「11時間～12時間未満」(2.7%)、「5時間未満」(2.4%)、「12時間以上」(0.9%)となっている。



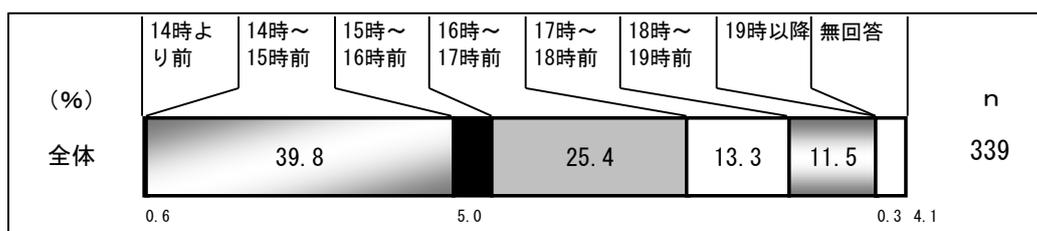
・ 開始時刻

「9時～10時前」(43.1%)、「8時～9時前」(39.8%)、「7時～8時前」(9.7%)、「10時以降」(2.9%)となっている。



・ 終了時刻

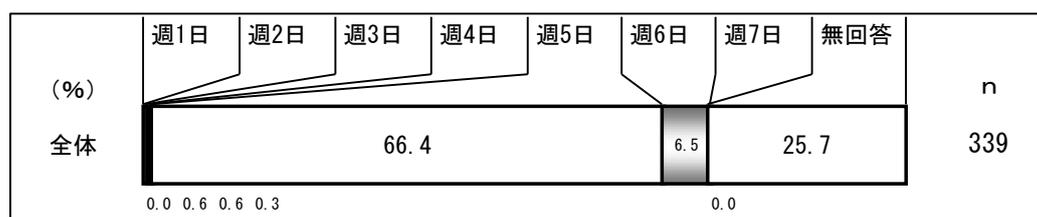
「14時～15時前」(39.8%)、「16時～17時前」(25.4%)、「17時～18時前」(13.3%)、「18時～19時前」(11.5%)、「15時～16時前」(5.0%)、「14時より前」(0.6%)、「19時以降」(0.3%)となっている。



(2) 希望

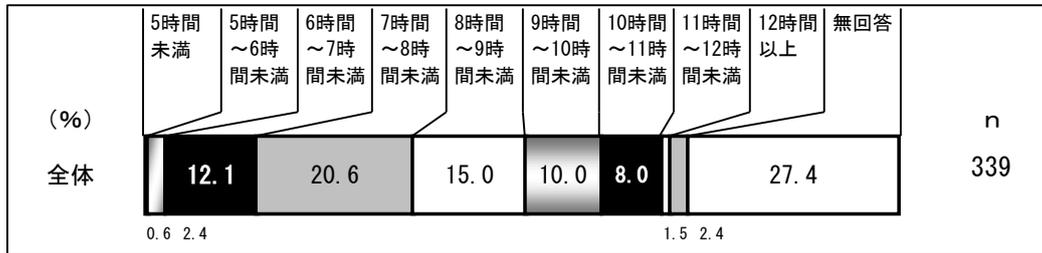
・ 利用日数/週

「週5日」(66.4%)、「週6日」(6.5%)、「週2日」・「週3日」(同率0.6%)、「週4日」(0.3%)となっている。



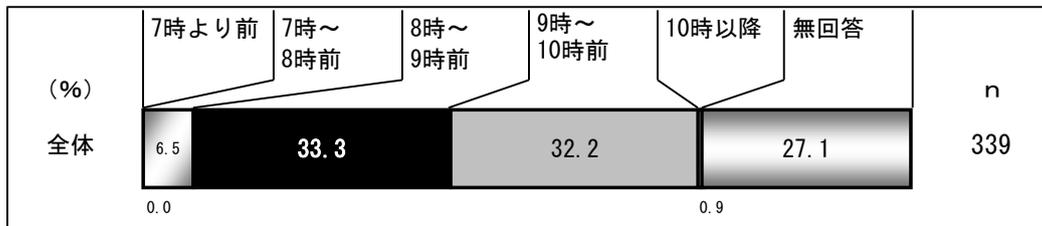
・ 利用時間/日

「7時間～8時間未満」(20.6%)、「8時間～9時間未満」(15.0%)、「6時間～7時間未満」(12.1%)、「9時間～10時間未満」(10.0%)、「10時間～11時間未満」(8.0%)、「5時間～6時間未満」(2.4%)、「12時間以上」(2.4%)、「11時間～12時間未満」(1.5%)、「5時間未満」(0.6%)となっている。



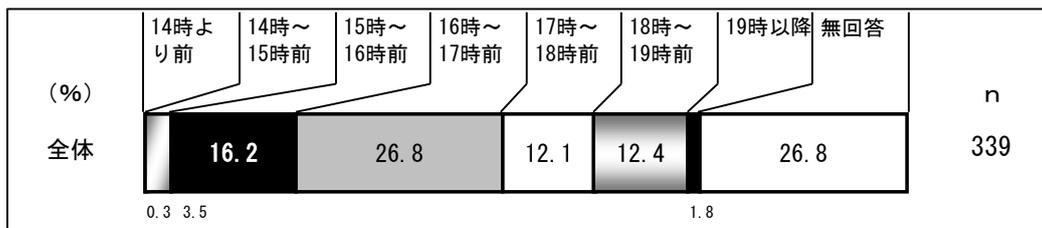
・ 開始時刻

「8時～9時前」(33.3%)、「9時～10時前」(32.2%)、「7時～8時前」(6.5%)、「10時以降」(0.9%)となっている。



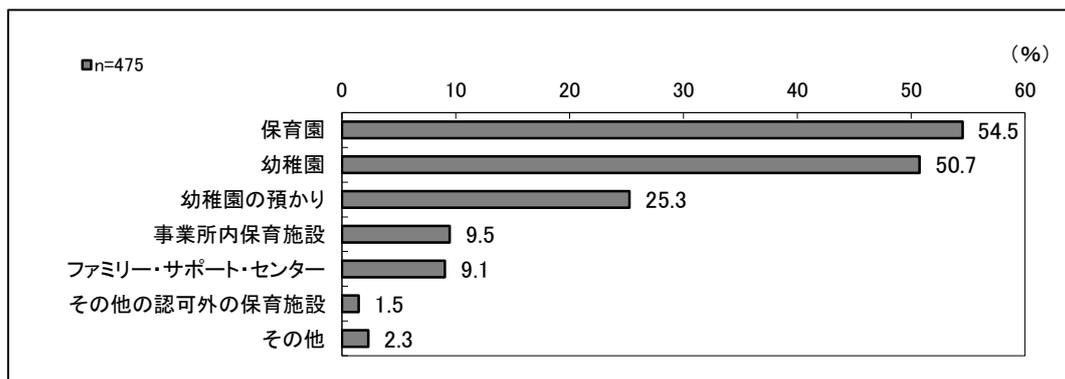
・ 終了時刻

「16時～17時前」(26.8%)、「15時～16時前」(16.2%)、「18時～19時前」(12.4%)、「17時～18時前」(12.1%)、「14時～15時前」(3.5%)、「19時以降」(1.8%)、「14時より前」(0.3%)となっている。



問 14 すべての方にかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当ではまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

「保育園」(54.5%)、「幼稚園」(50.7%)、「幼稚園の預かり」(25.3%)、「事業所内保育施設」(9.5%)、「ファミリー・サポート・センター」(9.1%)、「その他の認可外の保育施設」(1.5%)、「その他」(2.3%) となっている。

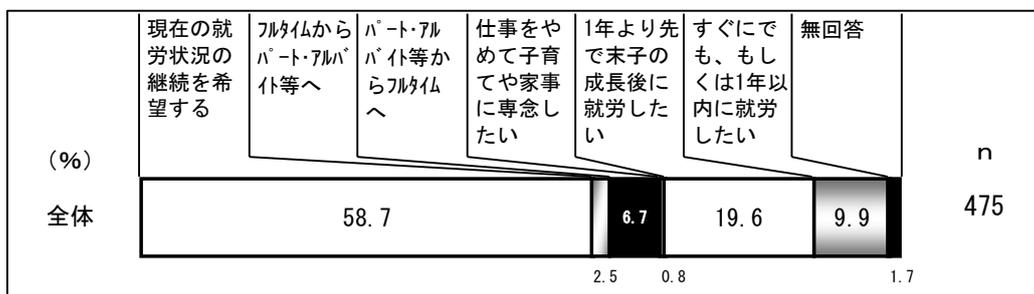


6. 「幼児教育の無償化」実施後の就労と教育・保育事業の利用について

問 15 現在、国において「幼児教育の無償化」の実施（来年 10 月からの予定）が検討されています。無償化が実施された場合の就労と教育・保育事業の利用の希望をうかがいます。すべての方にうかがいます。幼児教育の無償化が実施された場合の就労についての希望をお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

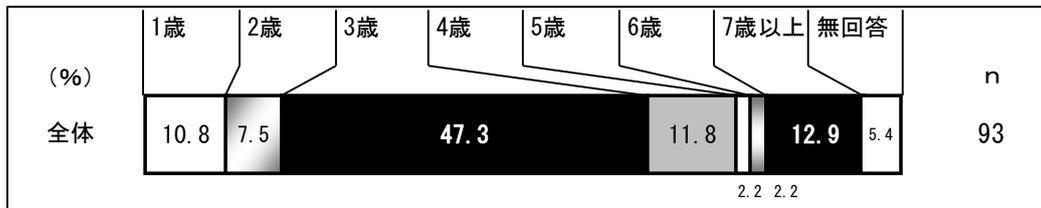
(1) 母親

「現在の就労状況の継続を希望する」（58.7%）、「1 年より先で末子の成長後に就労したい」（19.6%）、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」（9.9%）、「パート・アルバイト等からフルタイムへの転換を希望」（6.7%）、「フルタイムからパート・アルバイト等への転換を希望」（2.5%）、「仕事をやめて子育てや家事に専念したい」（0.8%）となっている。



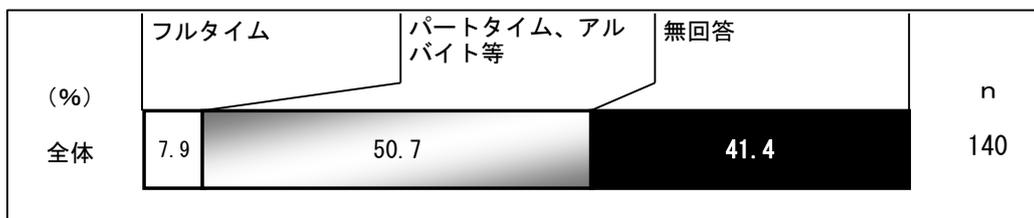
・就労希望時期：末子の年齢

「3 歳」（47.3%）、「7 歳以上」（12.9%）、「4 歳」（11.8%）、「1 歳」（10.8%）、「2 歳」（7.5%）、「5 歳」・「6 歳」（2.2%）となっている。



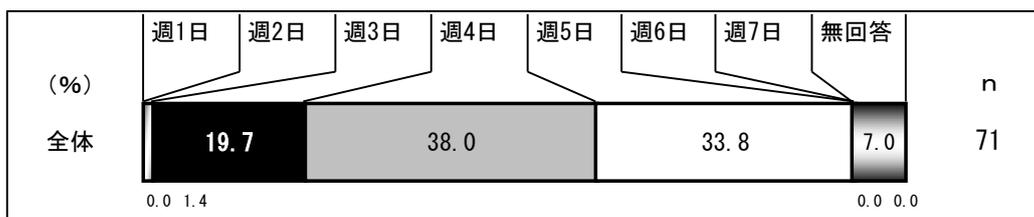
・就労希望の形態

「パートタイム、アルバイト等」（50.7%）、「フルタイム」（7.9%）となっている。



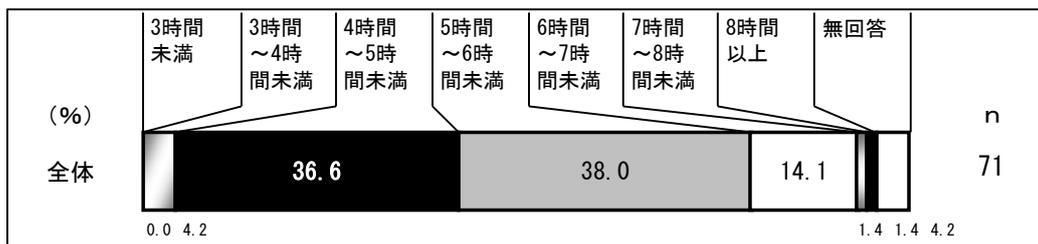
・アルバイト等:希望就労日数/週

「週4日」・「週5日」(同率33.8%)、「週3日」(19.7%)、「週2日」(1.4%)となっている。



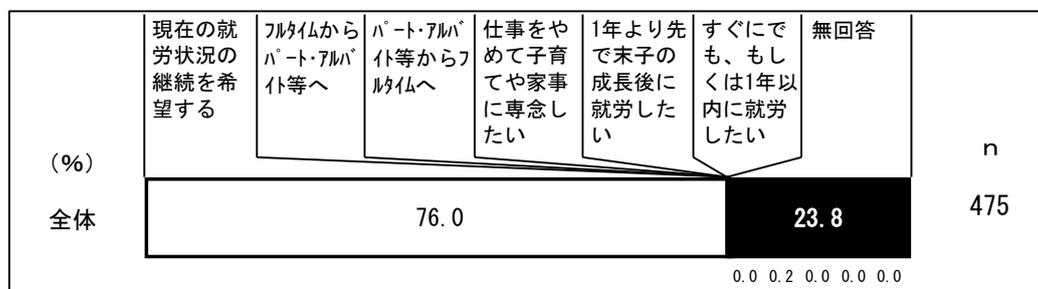
・アルバイト等:希望就労時間/日

「5時間～6時間未満」(38.0%)、「4時間～5時間未満」(36.6%)、「6時間～7時間未満」(14.1%)、「3時間～4時間未満」(4.2%)、「7時間～8時間未満」・「8時間以上」(同率1.4%)となっている。



(2) 父親

「現在の就労状況の継続を希望する」(76.0%)、「パート・アルバイト等からフルタイムへの転換を希望」(0.2%)となっている。



・就労希望時期:末子の年齢

・回答なし

・就労希望の形態

・回答なし

・アルバイト等:希望就労日数/週

・回答なし

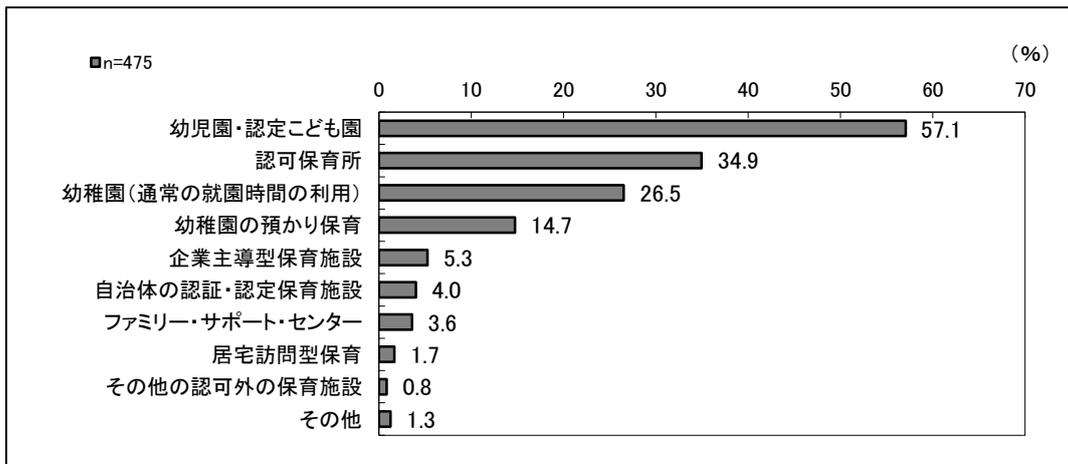
・アルバイト等:希望就労時間/日

・回答なし

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、幼児教育の無償化が実施された場合に、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、宛名のお子さんが何歳になったら利用したいか、希望する利用開始時期についても、当てはまる年齢1つに○をつけてください。

(1) 3歳以上

「幼稚園・認定こども園」(57.1%)、「認可保育所」(34.9%)、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」(26.5%)、「幼稚園の預かり保育」(14.7%)、「企業主導型保育施設」(5.3%)、「自治体の認証・認定保育施設」(4.0%)、「ファミリー・サポート・センター」(3.6%)、「居宅訪問型保育」(1.7%)、「その他の認可外の保育施設」(0.8%)、「その他」(1.3%)となっている。



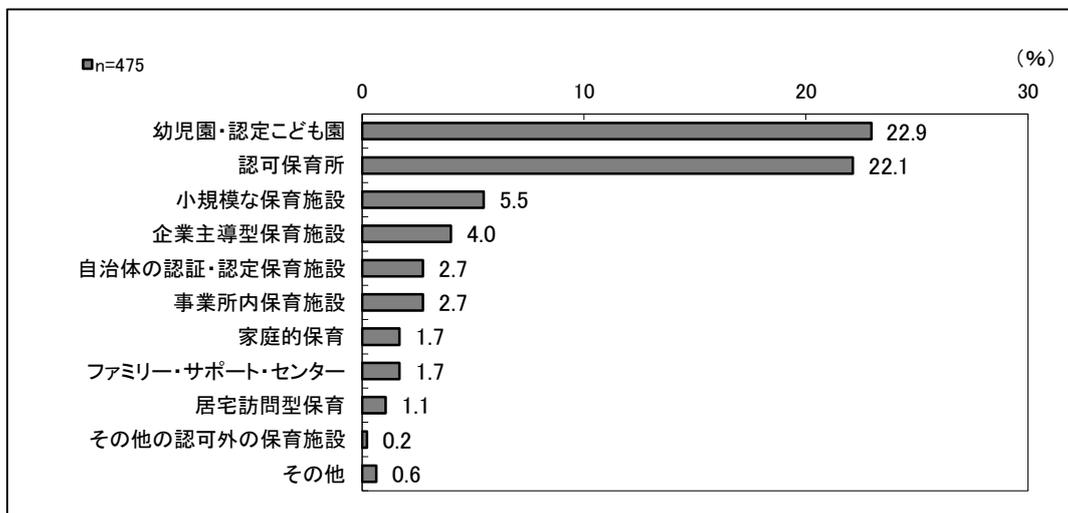
・ 利用開始希望時期

「3歳から」(63.2%)、「5歳から」(19.2%)、「4歳から」(9.0%)となっている。

(%)	3歳から	4歳から	5歳から	無回答	n
全体	63.2	9.0	19.2	8.6	421

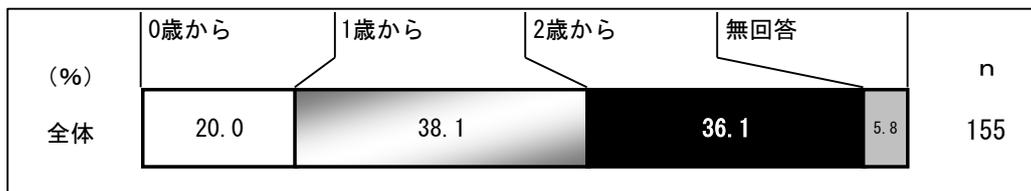
(2) 3歳未満

「幼稚園・認定こども園」(22.9%)、「認可保育所」(22.1%)、「小規模な保育施設」(5.5%)、「企業主導型保育施設」(4.0%)、「自治体の認証・認定保育施設」・「事業所内保育施設」(同率 2.7%)、「家庭的保育」・「ファミリー・サポート・センター」(同率 1.7%)、「居宅訪問型保育」(1.1%)、「その他の認可外の保育施設」(0.2%)、「その他」(0.6%) となっている。



・希望利用開始時期

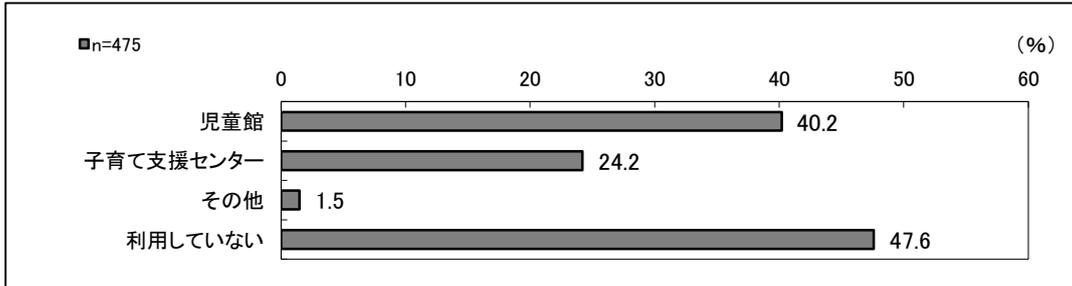
「1歳から」(38.1%)、「2歳から」(36.1%)、「0歳から」(20.0%) となっている。



7. 地域の子育て支援事業の利用状況について

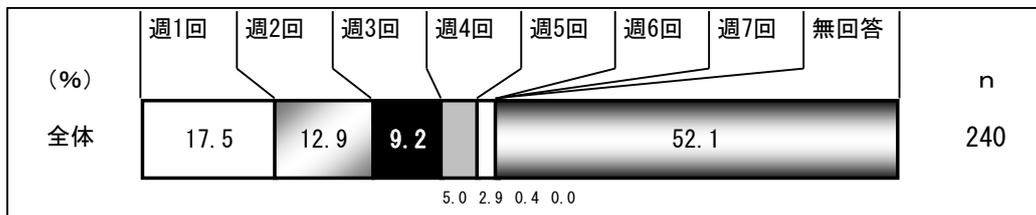
問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、市には、「子育て支援センター」「児童館（センター）」等があります。）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「児童館」（40.2%）、「子育て支援センター」（24.2%）、「その他」（1.5%）、「利用していない」（47.6%）となっている。



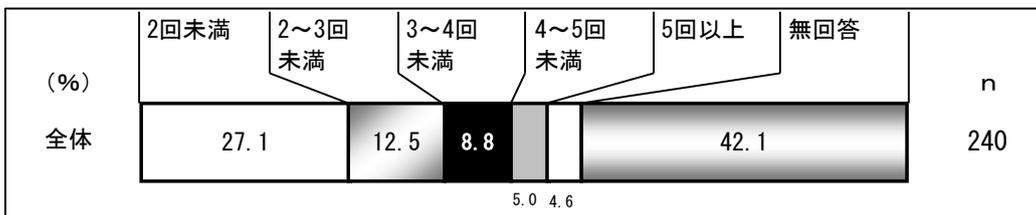
・利用頻度：回/週

「週1回」（17.5%）、「週2回」（12.9%）、「週3回」（9.2%）、「週4回」（5.0%）、「週5回」（2.9%）、「週6回」（0.4%）となっている。



・利用頻度：回/月

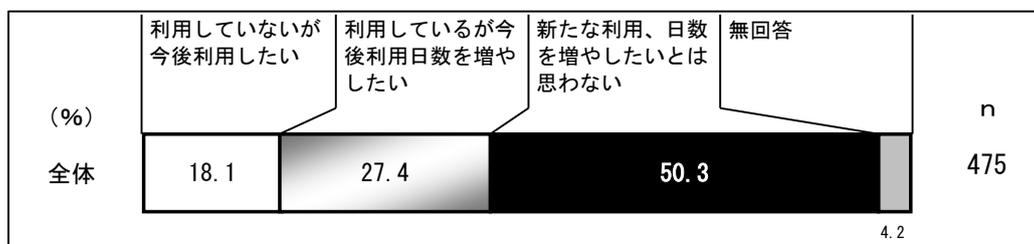
「2回未満」（27.1%）、「2～3回未満」（12.5%）、「3～4回未満」（8.8%）、「4～5回未満」（5.0%）、「5回以上」（4.6%）となっている。



問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、利用日数を増やしたい、あるいは、今は利用していないができれば今後利用したいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

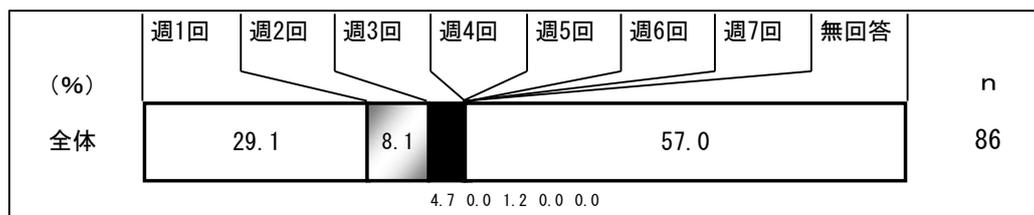
・新たな利用希望の有無

「利用しているが今後利用日数を増やしたい」（27.4%）、「利用していないが今後利用したい」（18.1%）、「新たな利用、日数を増やしたいとは思わない」（50.3%）となっている。



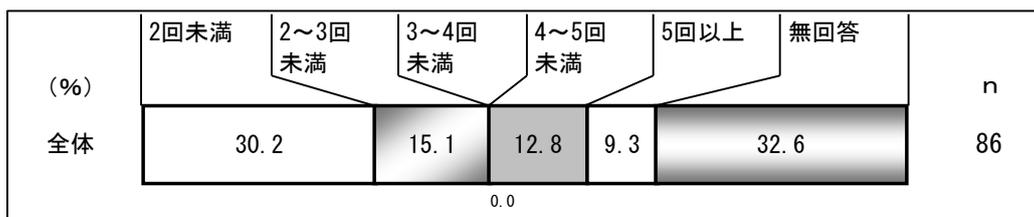
・新たに利用したい:回/週

「週 1 回」（29.1%）、「週 2 回」（8.1%）、「週 3 回」（4.7%）、「週 5 回」（1.2%）となっている。



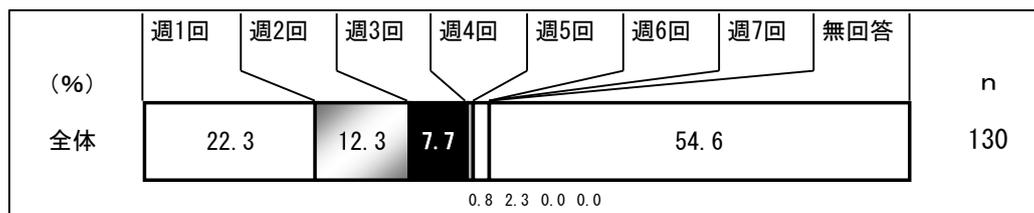
・新たに利用したい:回/月

「2 回未満」（30.2%）、「2～3 回未満」（15.1%）、「4～5 回未満」（12.8%）、「5 回以上」（9.3%）となっている。



・増やしたい:回/週

「週 1 回」（22.3%）、「週 2 回」（12.3%）、「週 3 回」（7.7%）、「週 5 回」（2.3%）、「週 4 回」（0.8%）となっている。



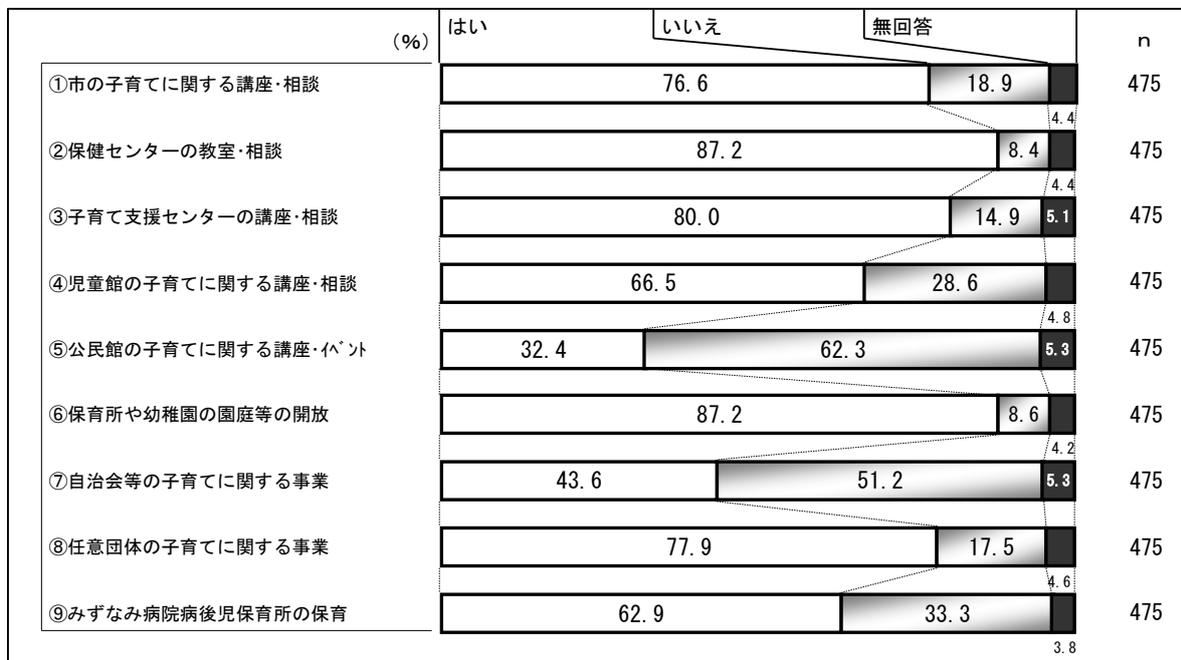
・増やしたい:回/月

「2～3 回未満」(17.7%)、「5 回以上」(13.1%)、「3～4 回未満」(10.0%)、「2 回未満」・「4～5 回未満」(同率 7.7%) となっている。

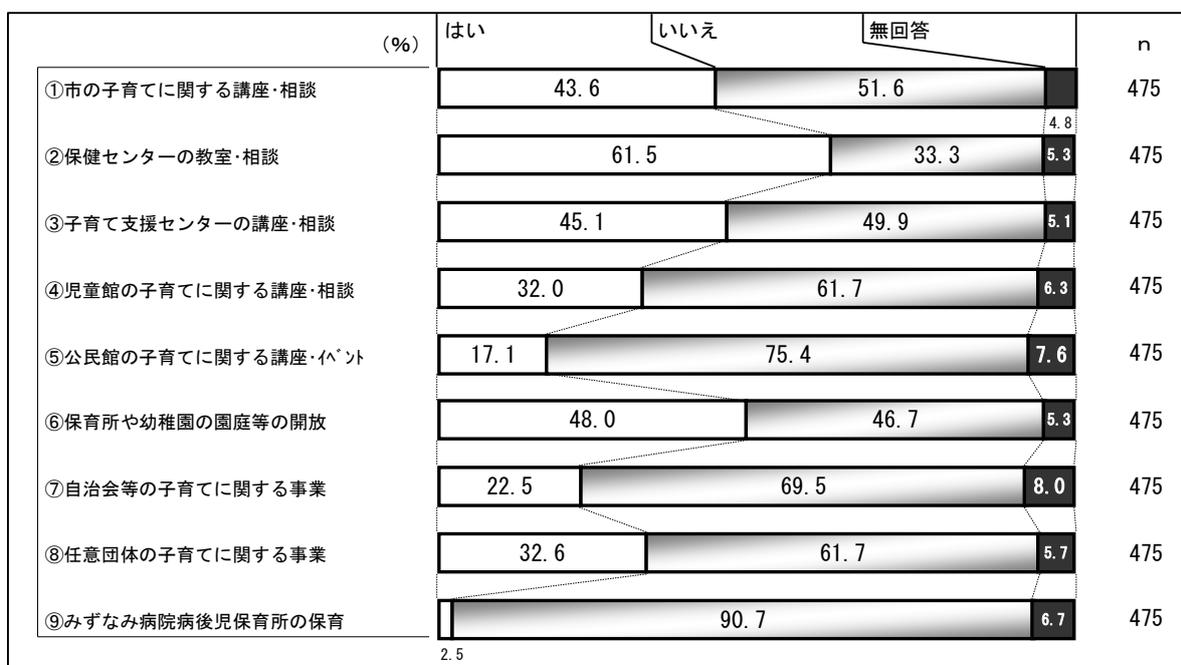
	2回未満	2～3回 未満	3～4回 未満	4～5回 未満	5回以上	無回答	n
(%) 全体	7.7	17.7	10.0	7.7	13.1	43.8	130

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。各事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1はい」「2いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

A 知っている事業



B 利用したことがある事業



C 今後利用したい事業

(%)	はい	いいえ	無回答	n
①市の子育てに関する講座・相談	56.8	34.1	9.1	475
②保健センターの教室・相談	63.6	27.2	9.3	475
③子育て支援センターの講座・相談	52.2	38.3	9.5	475
④児童館の子育てに関する講座・相談	54.9	34.7	10.3	475
⑤公民館の子育てに関する講座・イベント	43.6	46.9	9.5	475
⑥保育所や幼稚園の園庭等の開放	56.6	33.7	9.7	475
⑦自治会等の子育てに関する事業	51.2	38.5	10.3	475
⑧任意団体の子育てに関する事業	54.7	35.6	9.7	475
⑨みずなみ病院病後児保育所の保育	44.0	47.2	8.8	475

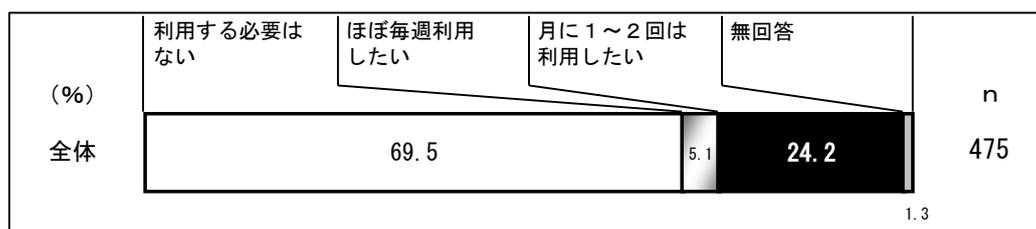
8. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生することもあります。

(1) 土曜日

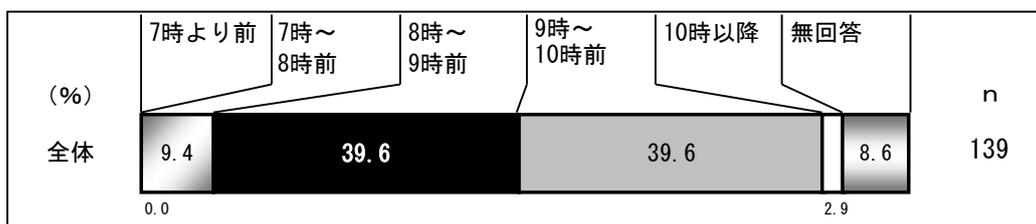
・利用希望

「利用する必要はない」(69.5%)、「月に1～2回は利用したい」(24.2%)、「ほぼ毎週利用したい」(5.1%)となっている。



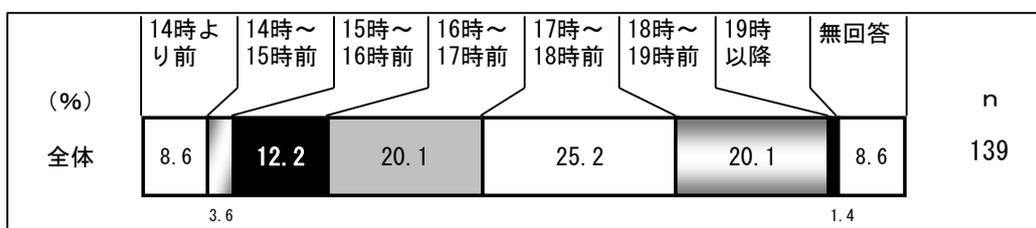
・開始時刻

「8 時～9 時前」・「9 時～10 時前」(同率 39.6%)、「7 時～8 時前」(9.4%)、「10 時以降」(2.9%)となっている。



・終了時刻

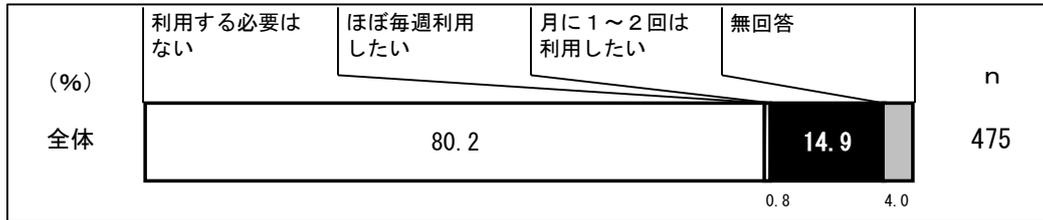
「17 時～18 時前」(25.2%)、「16 時～17 時前」・「18 時～19 時前」(同率 20.1%)、「15 時～16 時前」(12.2%)、「14 時より前」(8.6%)、「14 時～15 時前」(3.6%)、「19 時以降」(1.4%)となっている。



(2) 日曜日・祝日

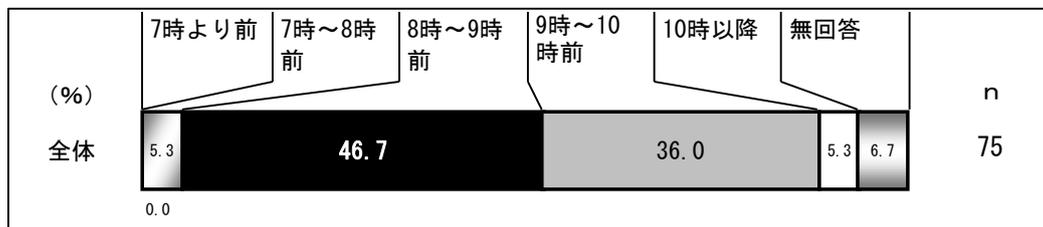
・利用希望

「利用する必要はない」(80.2%)、「月に1～2回は利用したい」(14.9%)、「ほぼ毎週利用したい」(0.8%)となっている。



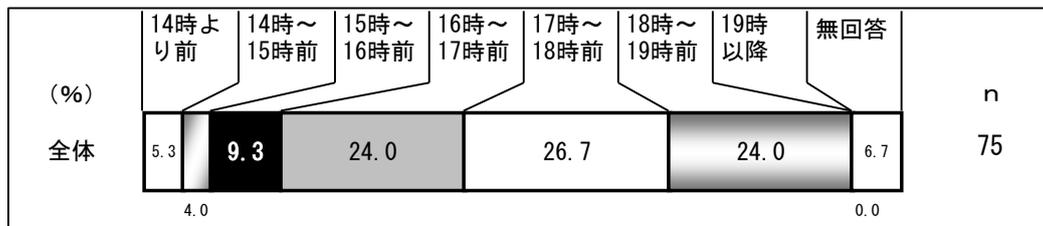
・開始時刻

「8時～9時前」(46.7%)、「9時～10時前」(36.0%)、「7時～8時前」・「10時以降」(同率5.3%)となっている。



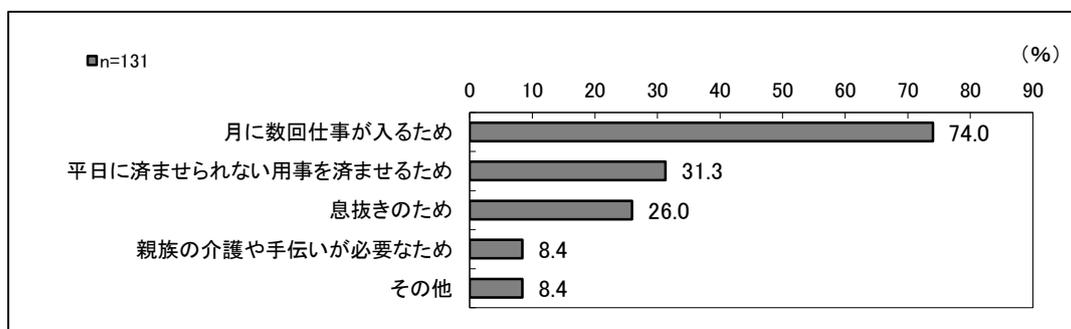
・終了時刻

「17時～18時前」(26.7%)、「16時～17時前」・「18時～19時前」(同率24.0%)、「15時～16時前」(9.3%)、「14時より前」(5.3%)、「14時～15時前」(4.0%)となっている。



問 20-1 問 20 の (1) または (2) で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

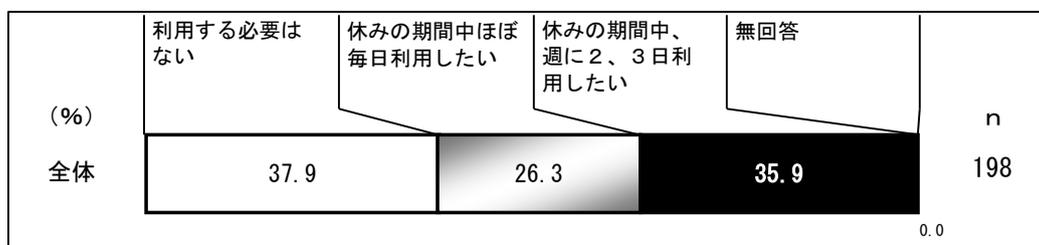
「月に数回仕事が入るため」(74.0%)、「平日に済ませられない用事を済ませるため」(31.3%)、「息抜きのため」(26.0%)、「親族の介護や手伝いが必要なため」・「その他」(同率 8.4%) となっている。



問 21 「幼稚園」を利用されている方にかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

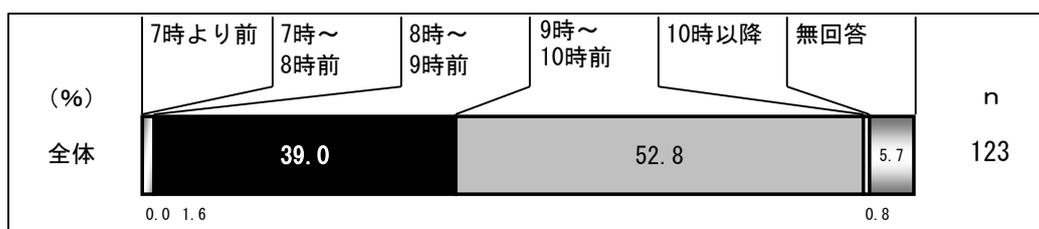
・利用希望

「利用する必要はない」(37.9%)、「休みの期間中、週に 2、3 日利用したい」(35.9%)、「休みの期間中ほぼ毎日利用したい」(26.3%) となっている。



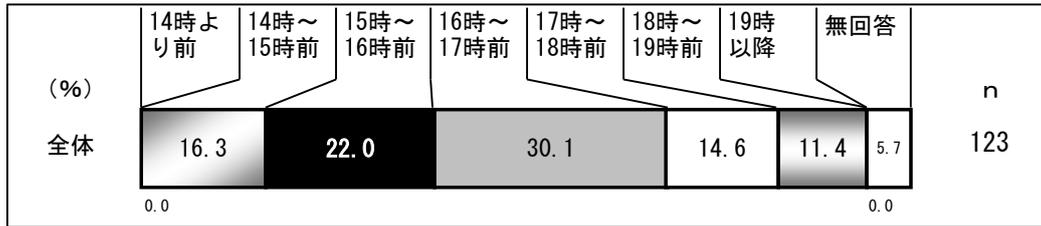
・開始時刻

「9 時～10 時前」(52.8%)、「8 時～9 時前」(39.0%)、「7 時～8 時前」(1.6%)、「10 時以降」(0.8%) となっている。



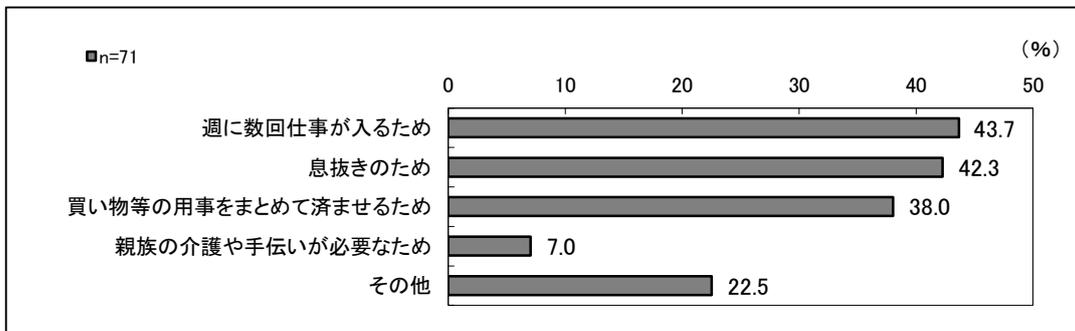
・ 終了時刻

「16時～17時前」(30.1%)、「15時～16時前」(22.0%)、「14時～15時前」(16.3%)、「17時～18時前」(14.6%)、「18時～19時前」(11.4%)となっている。



問 21-1 問 21 で、「3. 休みの期間中、週に2、3日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

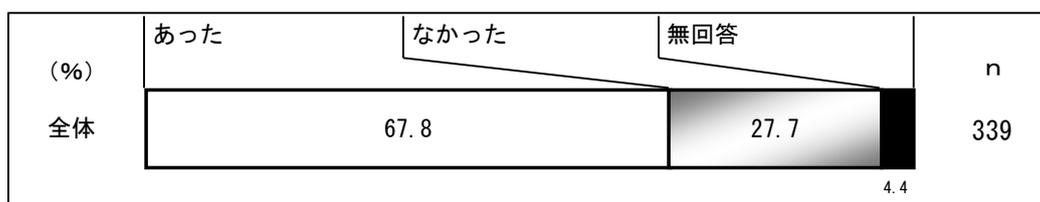
「週に数回仕事が入るため」(43.7%)、「息抜きのため」(42.3%)、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(38.0%)、「親族の介護や手伝いが必要なため」(7.0%)、「その他」(22.5%)となっている。



9. 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

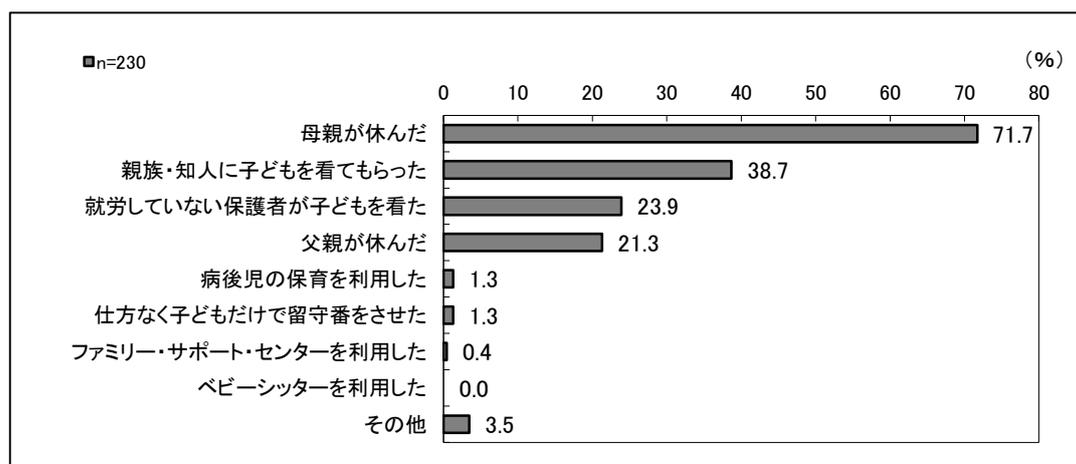
問 22 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問 13 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 23 にお進みください。この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「あった」(67.8%)、「なかった」(27.7%) となっている。



問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。）。

「母親が休んだ」(71.7%)、「親族・知人に子どもを看てもらった」(38.7%)、「就労していない保護者が子どもを看た」(23.9%)、「父親が休んだ」(21.3%)、「病後児の保育を利用した」・「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(同率 1.3%)、「ファミリー・サポート・センターを利用した」(0.4%) となっている。

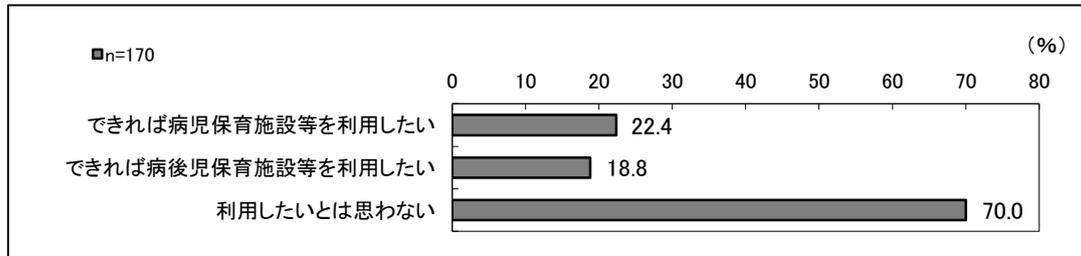


日数については以下のとおりとなっている。

	全体 (人)	0~3日	4~7日	8~10日	11~20日	21~30日	31日以上	無回答
1 父親が休んだ	49	71.4	18.4	4.1	2.0	0.0	0.0	4.1
2 母親が休んだ	165	34.5	32.7	12.7	9.1	3.0	1.2	6.7
3 親族・知人に子どもを看てもらった	89	50.6	21.3	15.7	4.5	1.1	0.0	6.7
4 就労していない保護者が子どもを看た	55	29.1	32.7	16.4	5.5	1.8	1.8	12.7
5 病後児の保育を利用した	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 ベビーシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 ファミリー・サポート・センターを利用した	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 仕方なく子どもだけで留守番させた	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 その他	8	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

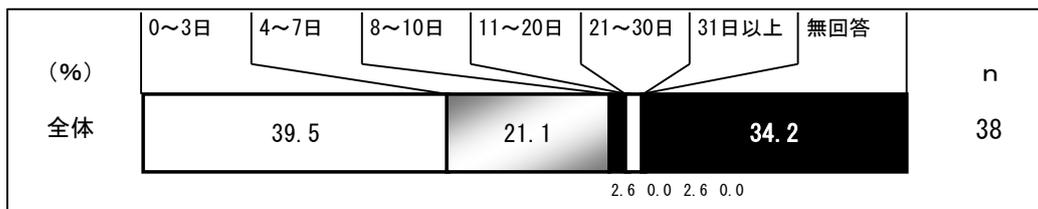
問 22-2 問 22-1で「1」、「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用希望日数を（ ）内に数字でご記入ください。なお、当市は、病児保育施設はありません。また、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児保育施設等を利用したい」(22.4%)、「できれば病後児保育施設等を利用したい」(18.8%)、「利用したいとは思わない」(70.0%)となっている。



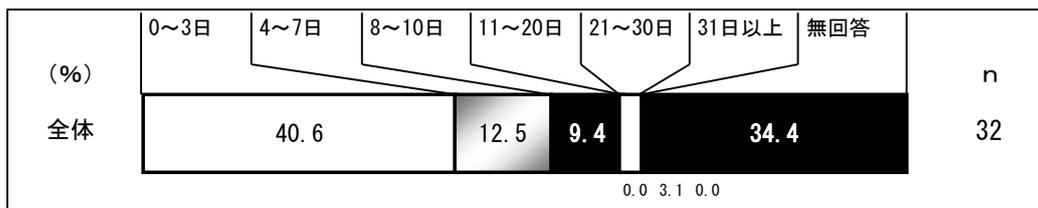
・病児保育施設：利用したかった日数/年

「0～3日」(39.5%)、「4～7日」(21.1%)、「8～10日」・「21～30日」(同率2.6%)となっている。



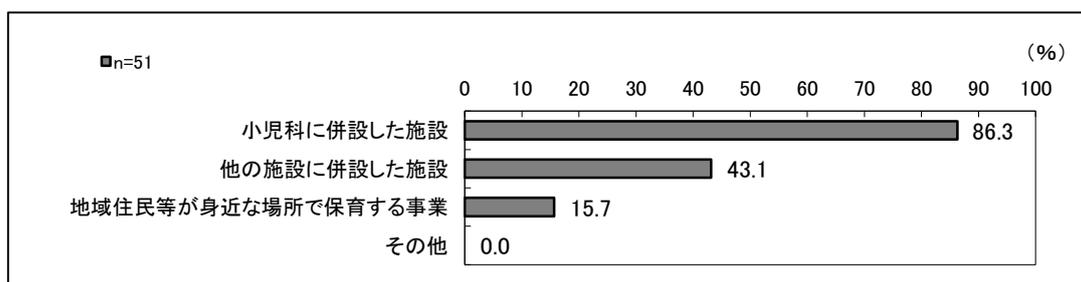
・病後児保育施設：利用したかった日数/年

「0～3日」(40.6%)、「4～7日」(12.5%)、「8～10日」(9.4%)、「21～30日」(3.1%)となっている。



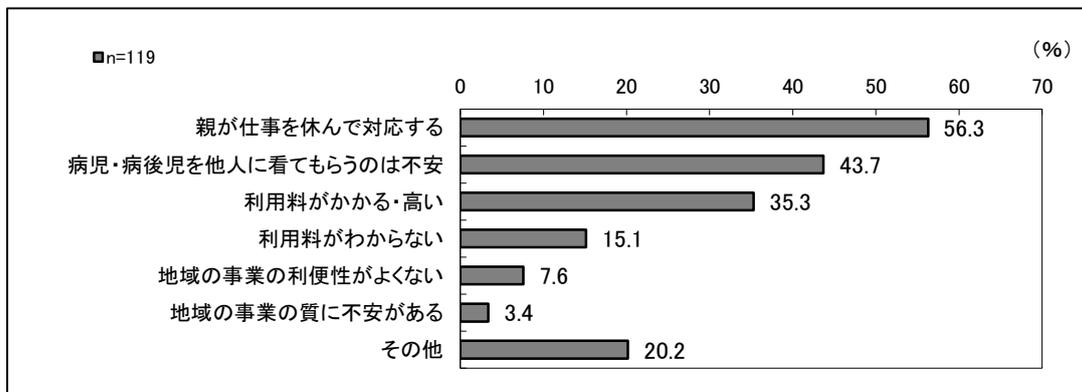
問 22-3 問 22-2で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」、「2. できれば病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設」(86.3%)、「他の施設に併設した施設」(43.1%)、「地域住民等が身近な場所で保育する事業」(15.7%)となっている。



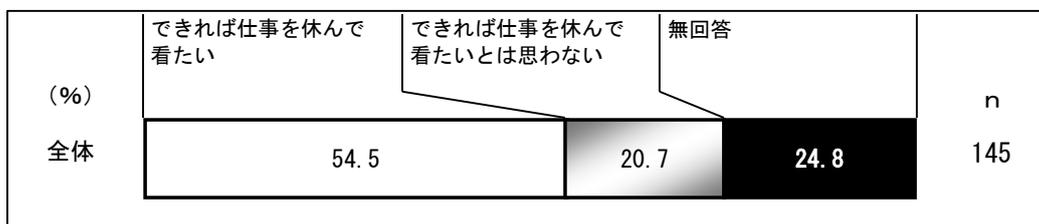
問 22-4 問 22-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」(56.3%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(43.7%)、「利用料がかかる・高い」(35.3%)、「利用料がわからない」(15.1%)、「地域の事業の利便性がよくない」(7.6%)、「地域の事業の質に不安がある」(3.4%)、「その他」(20.2%)となっている。



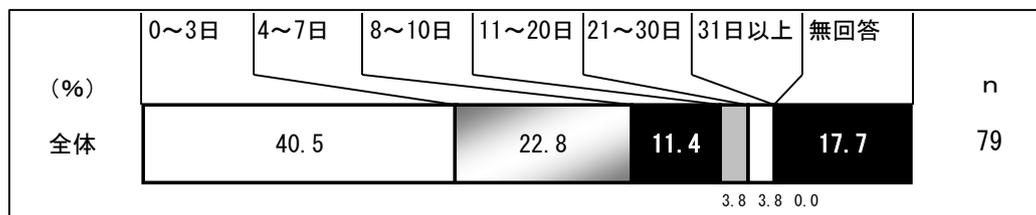
問 22-5 問 22-1で「3」から「9」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数について数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」(54.5%)、「できれば仕事を休んで看たいとは思わない」(20.7%)となっている。



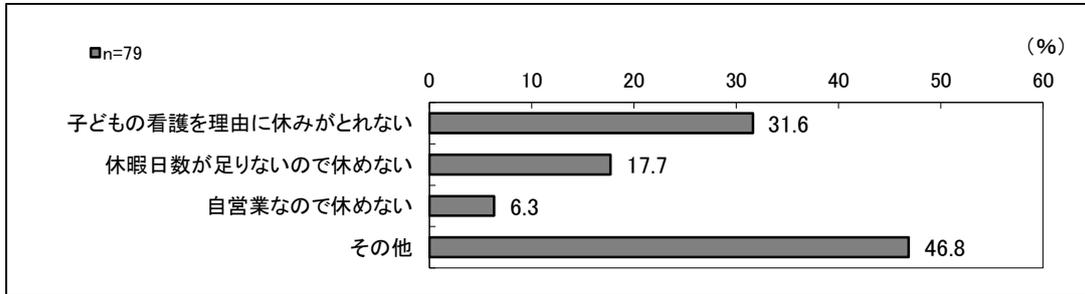
・ 休んで看たかった日数

「0~3日」(40.5%)、「4~7日」(22.8%)、「8~10日」(11.4%)、「11~20日」・「21~30日」(同率3.8%)となっている。



問 22-6 問 22-5で「1. できれば仕事を休んで看たい」に○をつけた方にうかがいます。休んで看たくても看ない（看ることができなかつた）理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

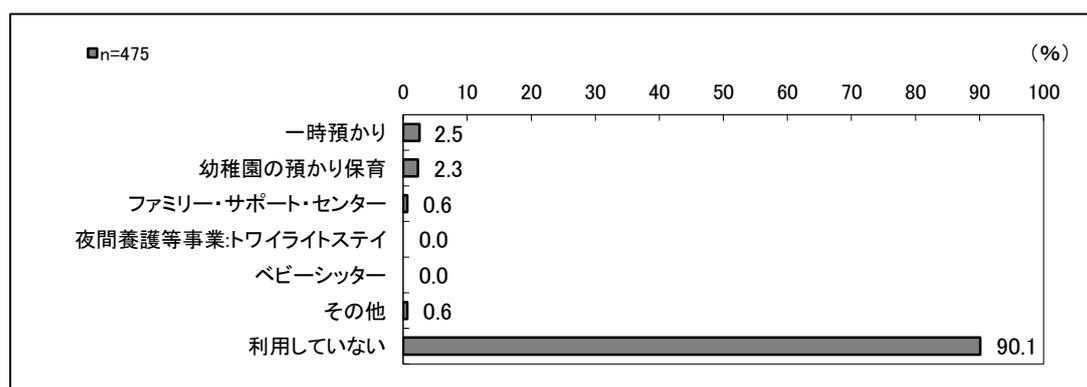
「子どもの看護を理由に休みがとれない」（31.6%）、「休暇日数が足りないので休めない」（17.7%）、「自営業なので休めない」（6.3%）、「その他」（46.8%）となっている。



10. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号す
べてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

「一時預かり」(2.5%)、「幼稚園の預かり保育」(2.3%)、「ファミリー・サポート・センター」
(0.6%)、「その他」(0.6%)、「利用していない」(90.1%)となっている。

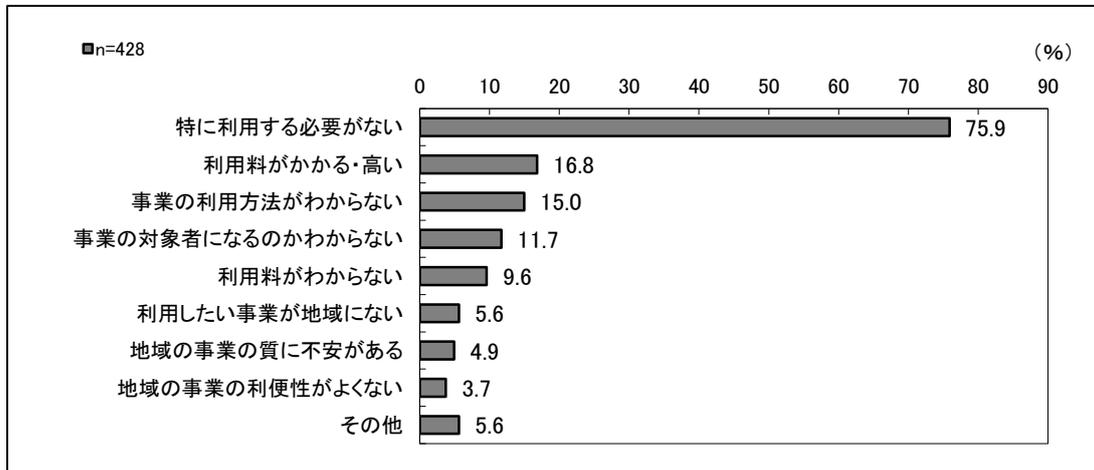


日数については以下のとおりとなっている。

	全体 (人)	0~3日	4~7日	8~10日	11~20日	21~30日	31日以上	無回答
1 一時預かり	12	41.7	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3	0.0
2 幼稚園の預かり保育	11	0.0	18.2	18.2	18.2	0.0	36.4	9.1
3 ファミリー・サポート・センター	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
6 その他	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

問 23-1 問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

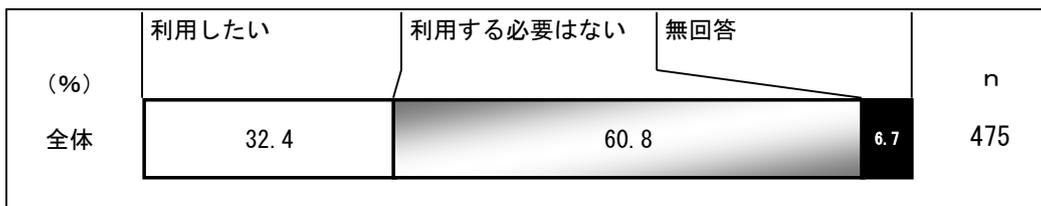
「特に利用する必要がない」(75.9%)、「利用料がかかる・高い」(16.8%)、「事業の利用方法がわからない」(15.0%)、「事業の対象者になるのかわからない」(11.7%)、「利用料がわからない」(9.6%)、「利用したい事業が地域にない」(5.6%)、「地域の事業の質に不安がある」(4.9%)、「地域の事業の利便性がよくない」(3.7%)、「その他」(5.6%) となっている。



問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を（ ）内に数字でご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。) なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

・利用希望

「利用する必要はない」(60.8%)、「利用したい」(32.4%) となっている。



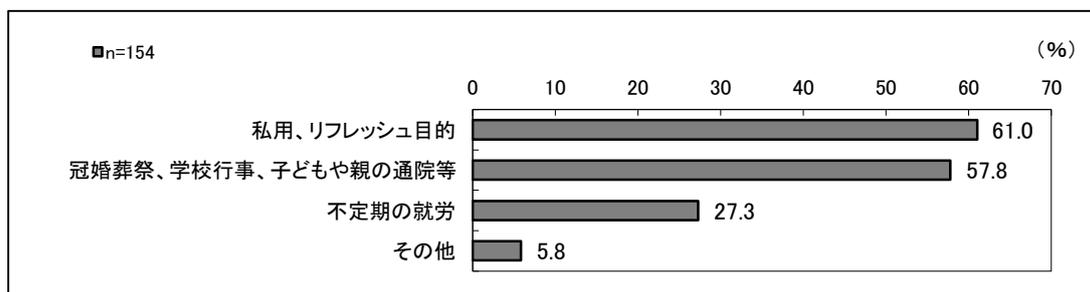
・利用したい日数（合計）

「4～7日」(20.1%)、「11～20日」(18.8%)、「8～10日」(16.9%)、「31日以上」(14.3%)、「0～3日」(13.6%)、「21～30日」(6.5%) となっている。



(1) 不特定の事業を利用する目的

「私用、リフレッシュ目的」(61.0%)、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(57.8%)、「不特定の就労」(27.3%)、「その他」(5.8%)となっている。

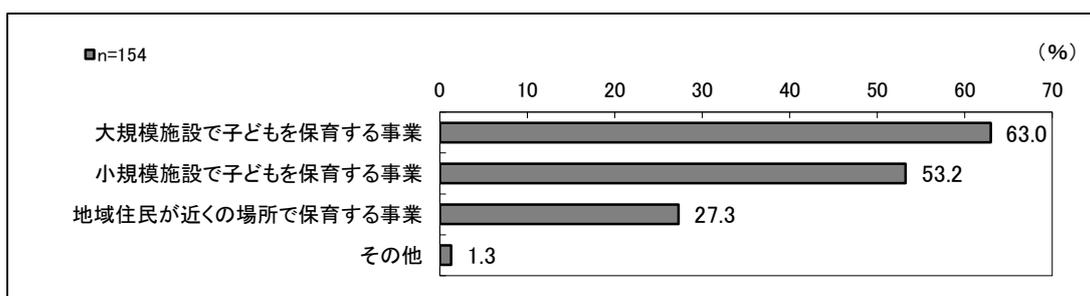


日数については以下のとおりとなっている。

	全体 (人)	0~3日	4~7日	8~10日	11~20日	21~30日	31日以上	無回答
1 私用、リフレッシュ目的	94	25.5	28.7	14.9	17.0	2.1	6.4	5.3
2 冠婚葬祭、学校行事、通院等	89	43.8	27.0	14.6	9.0	2.2	2.2	1.1
3 不特定の就労	42	23.8	19.0	11.9	11.9	16.7	9.5	7.1
4 その他	9	33.3	33.3	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「大規模施設で子どもを保育する事業」(63.0%)、「小規模施設で子どもを保育する事業」(53.2%)、「地域住民が近くの場合で保育する事業」(27.3%)、「その他」(1.3%)となっている。



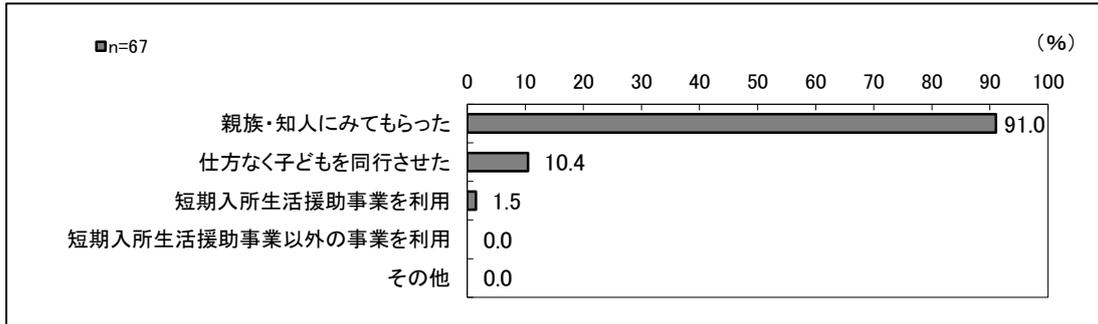
問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を()内に数字でご記入ください。

「なかった」(38.3%)、「あった」(14.1%)となっている。

(%)	あった	なかった	無回答	n
全体	14.1	38.3	47.6	475

・この1年間の対処方法

「親族・知人にみてもらった」(91.0%)、「仕方なく子どもを同行させた」(10.4%)、「短期入所生活援助事業を利用」(1.5%)となっている。

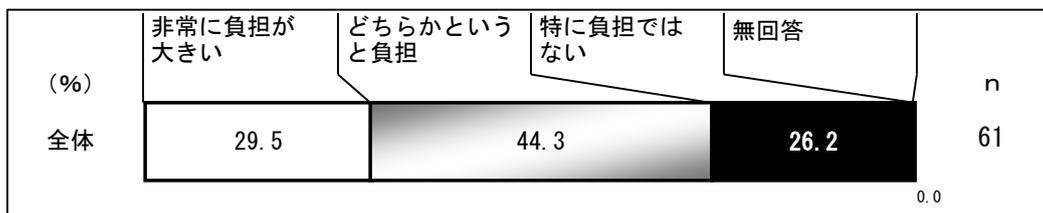


日数については以下のとおりとなっている。

	全体 (人)	1~3泊	4~7泊	8~10泊	11~20泊	21泊以上	無回答
1 親族・知人にみてもらった	61	59.0	19.7	8.2	4.9	1.6	6.6
2 短期入所生活援助事業を利用	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
3 短期入所生活援助事業以外の事業 を利用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 仕方なく子どもを同行させた	7	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
5 その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 25-1 問 25 で「1. あった(1) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

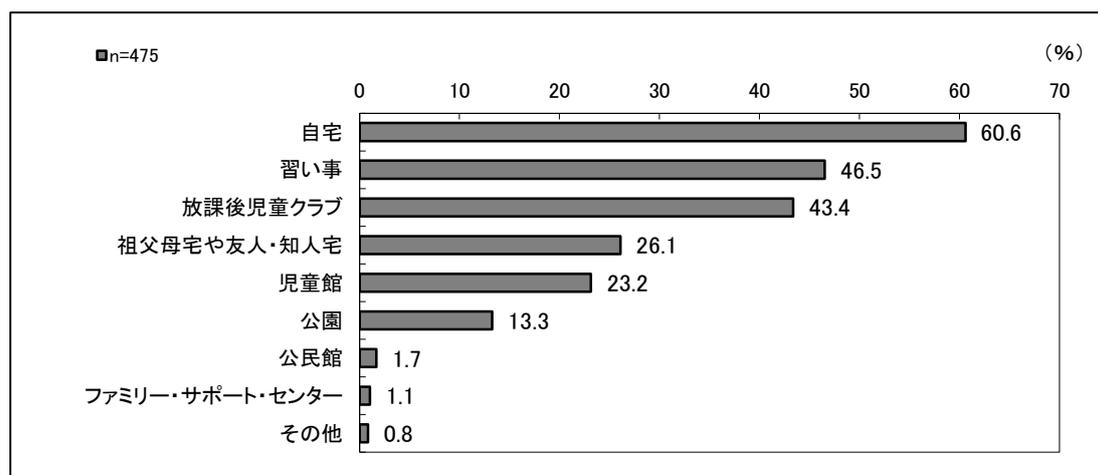
「どちらかという負担」(44.3%)、「非常に負担が大きい」(29.5%)、「特に負担ではない」(26.2%)となっている。



11. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間を（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「自宅」（60.6%）、「習い事」（46.5%）、「放課後児童クラブ」（43.4%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（26.1%）、「児童館」（23.2%）、「公園」（13.3%）、「公民館」（1.7%）、「ファミリー・サポート・センター」（1.1%）、「その他」（0.8%）となっている。

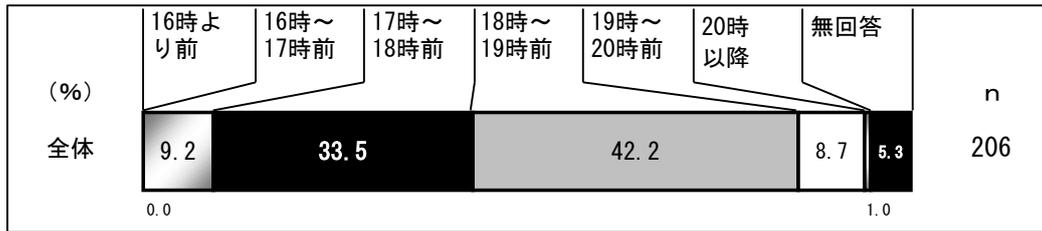


日数については以下のとおりとなっている。

場所	日数							n
	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	
1 自宅	13.5	18.1	21.2	8.0	24.3	12.2	0.0	288
2 祖父母宅や友人・知人宅	0.0	41.9	24.2	10.5	10.5	8.9	0.0	124
3 習い事	0.0	43.4	38.0	10.4	5.9	0.0	0.0	221
4 児童館	0.0	30.9	23.6	20.9	10.9	9.1	0.0	110
5 公民館	0.0	50.0	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	8
6 放課後児童クラブ	6.8	8.7	17.0	8.3	51.5	6.3	0.0	206
7 ファミリー・サポート・センター	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	5
8 公園	0.0	47.6	23.8	7.9	12.7	0.0	0.0	63
9 その他	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4

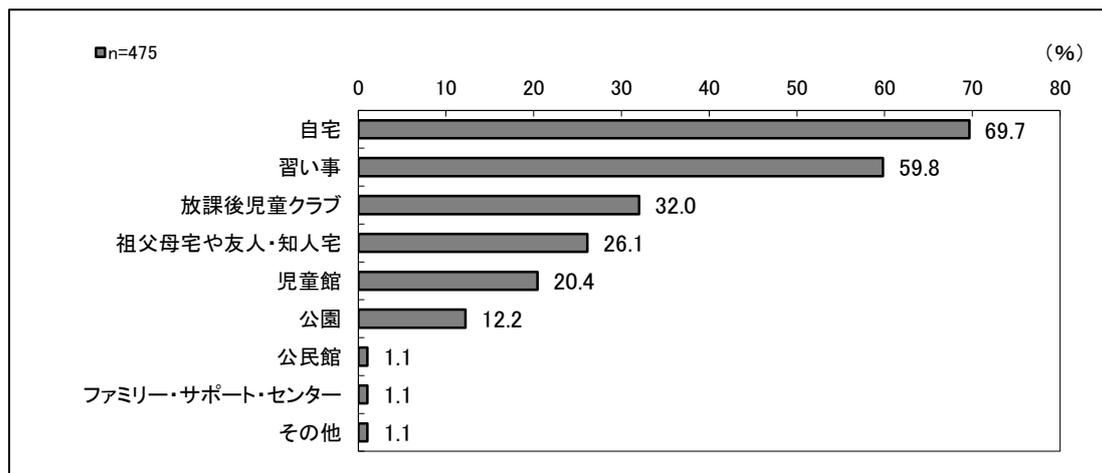
・希望終了時刻:放課後児童クラブ

「18時～19時前」(42.2%)、「17時～18時前」(33.5%)、「16時～17時前」(9.2%)、「19時～20時前」(8.7%)、「20時以降」(1.0%)となっている。



問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を（ ）内に数字でご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「自宅」(69.7%)、「習い事」(59.8%)、「放課後児童クラブ」(32.0%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(26.1%)、「児童館」(20.4%)、「公園」(12.2%)、「公民館」・「ファミリー・サポート・センター」・「その他」(同率1.1%)となっている。



日数については以下のとおりとなっている。

(%)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	n
1 自宅	12.7	23.6	17.5	6.3	23.3	0.3	2.1	14.2	331
2 祖父母宅や友人・知人宅	40.3	30.6	12.1	5.6	10.5	0.8	0.0	0.0	124
3 習い事	28.5	38.7	19.4	7.7	4.2	1.4	0.0	0.0	284
4 児童館	34.0	28.9	11.3	11.3	9.3	4.1	1.0	0.0	97
5 公民館	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5
6 放課後児童クラブ	11.2	19.1	17.8	7.9	36.2	7.2	0.7	0.0	152
7 ファミリー・サポート・センター	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5
8 公園	50.0	24.1	12.1	12.1	0.0	1.7	0.0	0.0	58
9 その他	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5

・希望終了時刻：放課後児童クラブ

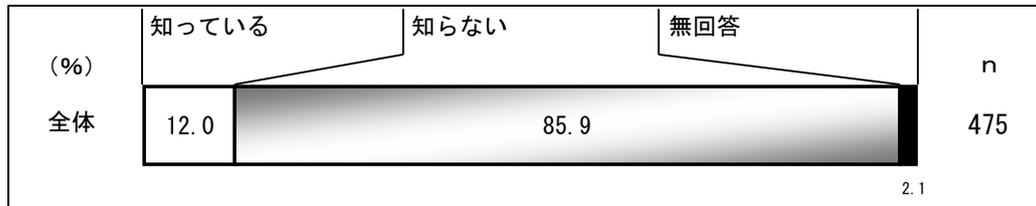
「18時～19時前」(45.4%)、「17時～18時前」(28.3%)、「19時～20時前」(8.6%)、「16時～17時前」(5.3%)、「20時以降」(1.3%)となっている。

(%)	16時より前	16時～17時前	17時～18時前	18時～19時前	19時～20時前	20時以降	無回答	n
全体	5.3	28.3	45.4	8.6	11.2	1.3	0.0	152

12. 「子育て世代包括支援」について

問 28 市では、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援のため、「子育て世代包括支援センター」の設置を検討していますが、子育て世代包括支援センターとは何かを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

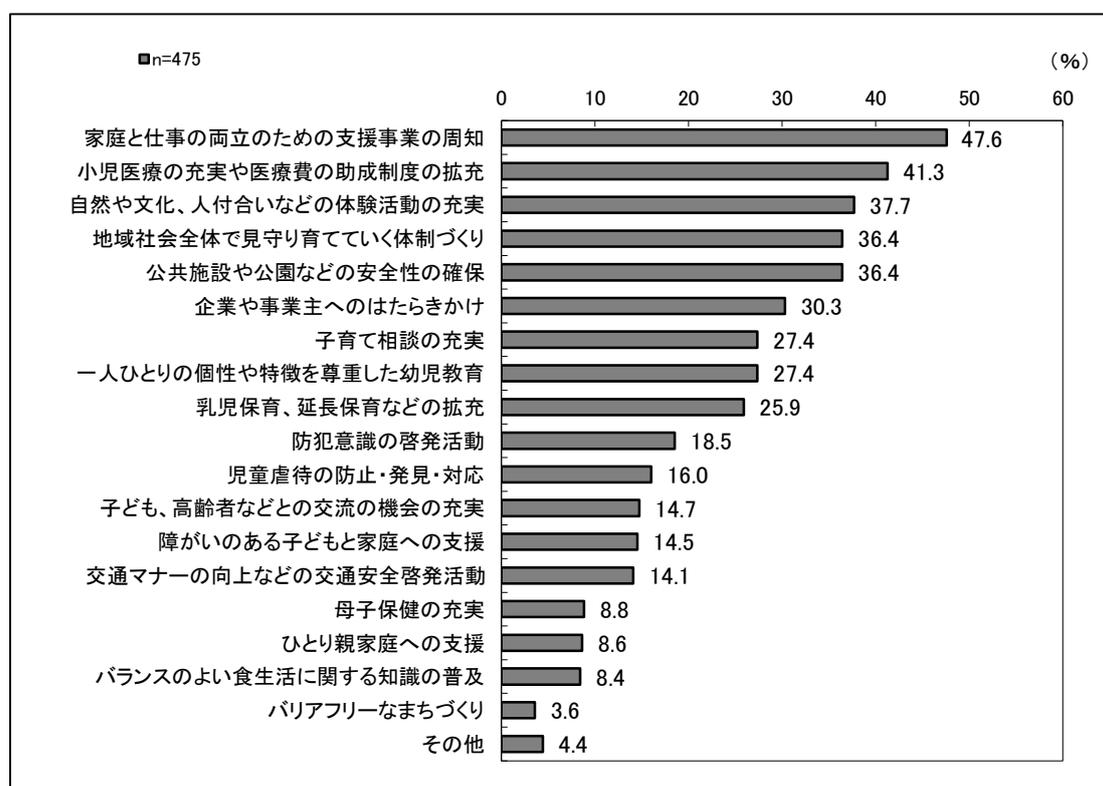
「知らない」(85.9%)、「知っている」(12.0%)となっている。



13. 本市の今後の子育て支援について

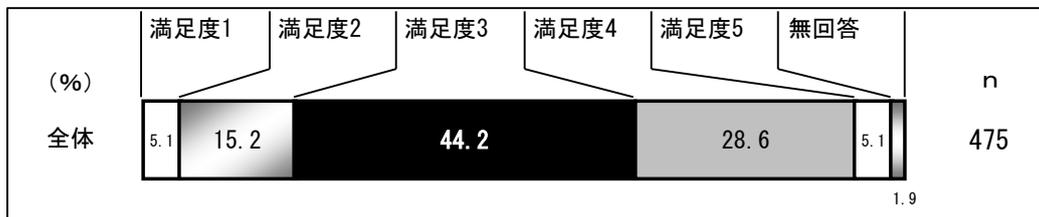
問 29 子育てについて考えたとき、今後、行政や関係機関の取り組みとして必要と思われること、重要と思われることは何だと思えますか。当てはまる番号5つまでに○をつけてください。

「家庭と仕事の両立のための支援事業の周知」(47.6%)、「小児医療の充実や医療費の助成制度の拡充」(41.3%)、「自然や文化、人付き合いなどの体験活動の充実」(37.7%)、「地域社会全体で見守り育てていく体制づくり」・「公共施設や公園などの安全性の確保」(同率 36.4%)、「企業や事業主へのはたらきかけ」(30.3%)、「子育て相談の充実」・「一人ひとりの個性や特徴を尊重した幼児教育」(同率 27.4%)、「乳児保育、延長保育などの拡充」(25.9%)、「防犯意識の啓発活動」(18.5%)、「児童虐待の防止・発見・対応」(16.0%)、「子ども、高齢者などとの交流の機会の充実」(14.7%)、「障がいのある子どもと家庭への支援」(14.5%)、「交通マナーの向上などの交通安全啓発活動」(14.1%)、「母子保健の充実」(8.8%)、「ひとり親家庭への支援」(8.6%)、「バランスのよい食生活に関する知識の普及」(8.4%)、「バリアフリーなまちづくり」(3.6%)、「その他」(4.4%) となっている。



問 30 瑞浪市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

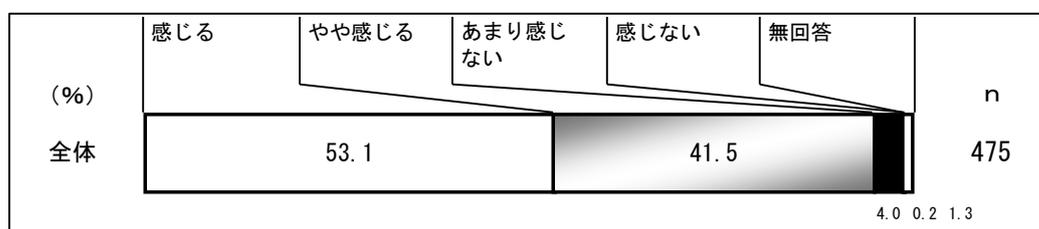
「満足度 3」(44.2%)、「満足度 4」(28.6%)、「満足度 2」(15.2%)、「満足度 1」(5.1%)、「満足度 5」(5.1%) となっている。



14. その他

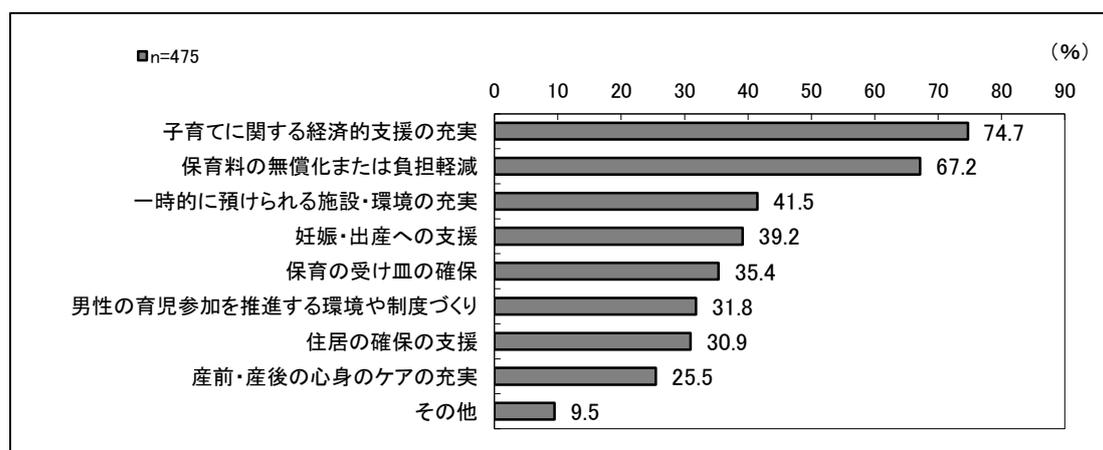
問 31 子育ては楽しいと感じますか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「感じる」(53.1%)、「やや感じる」(41.5%)、「あまり感じない」(4.0%)、「感じない」(0.2%)となっている。



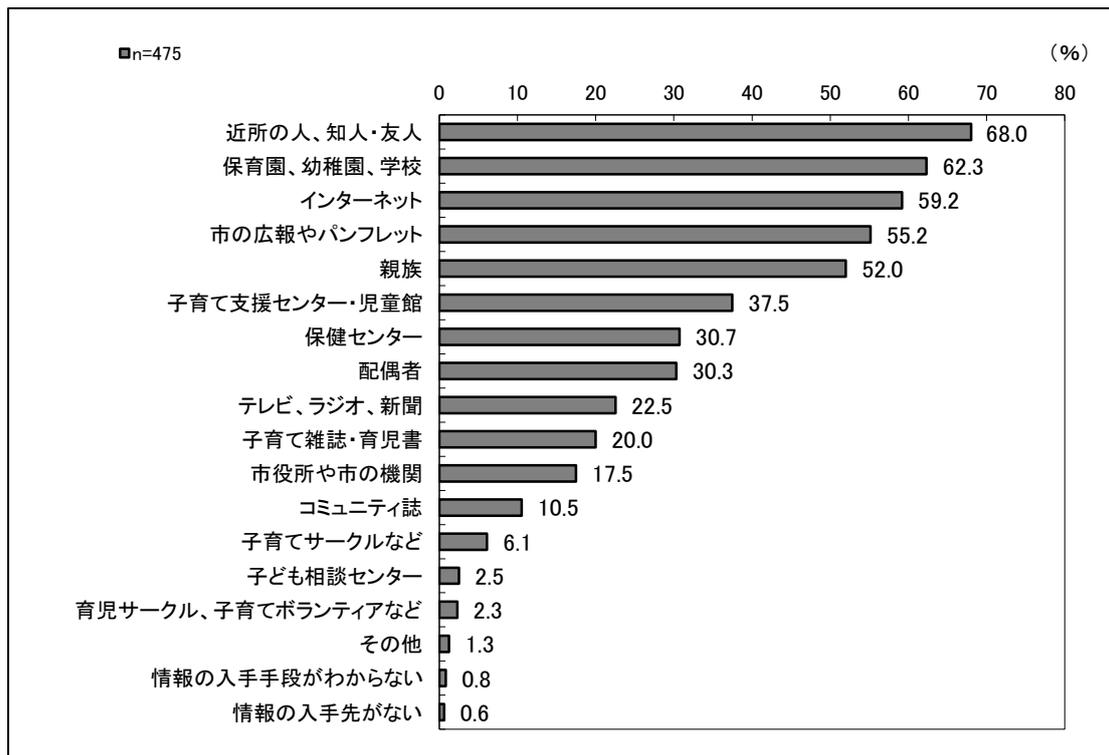
問 32 どのような支援があれば、子どもをもう一人産み育てたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てに関する経済的支援の充実」(74.7%)、「保育料の無償化または負担軽減」(67.2%)、「一時的に預けられる施設・環境の充実」(41.5%)、「妊娠・出産への支援」(39.2%)、「保育の受け皿の確保」(35.4%)、「男性の育児参加を推進する環境や制度づくり」(31.8%)、「住居の確保の支援」(30.9%)、「産前・産後の心身のケアの充実」(25.5%)、「その他」(9.5%)となっている。



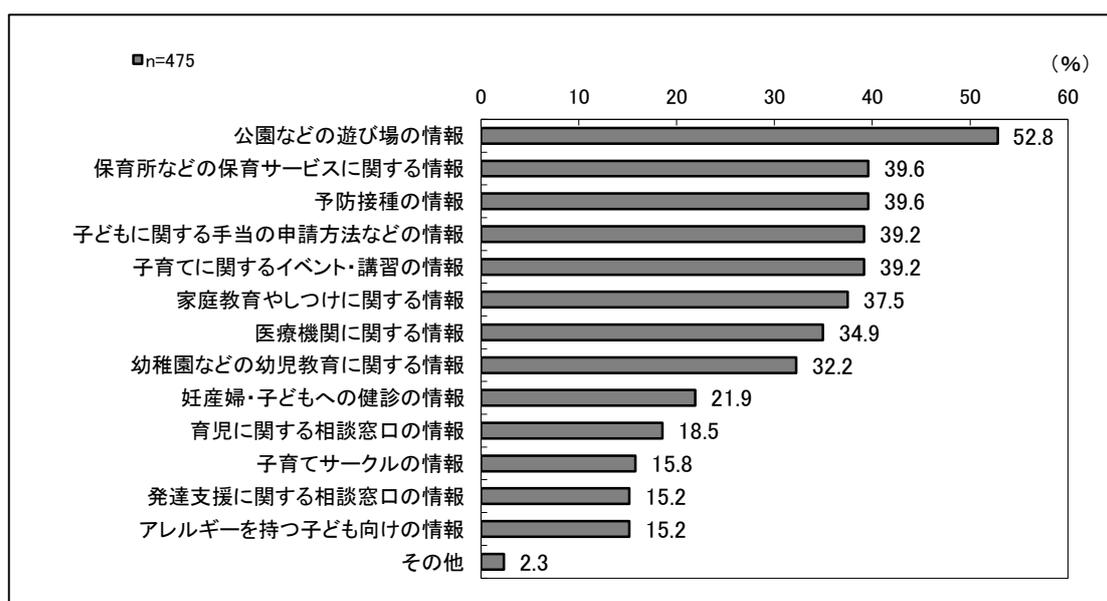
問 33 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「近所の人、知人・友人」(68.0%)、「保育園、幼稚園、学校」(62.3%)、「インターネット」(59.2%)、「市の広報やパンフレット」(55.2%)、「親族」(52.0%)、「子育て支援センター・児童館」(37.5%)、「保健センター」(30.7%)、「配偶者」(30.3%)、「テレビ、ラジオ、新聞」(22.5%)、「子育て雑誌・育児書」(20.0%)、「市役所や市の機関」(17.5%)、「コミュニティ誌」(10.5%)、「子育てサークルなど」(6.1%)、「子ども相談センター」(2.5%)、「育児サークル、子育てボランティアなど」(2.3%)、「その他」(1.3%)、「情報の入手手段がわからない」(0.8%)、「情報の入手先がない」(0.6%)となっている。



問 34 あなたは、子育てに関するどのような情報がほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「公園などの遊び場の情報」(52.8%)、「保育所などの保育サービスに関する情報」・「予防接種の情報」(同率 39.6%)、「子どもに関する手当の申請方法などの情報」・「子育てに関するイベント・講習の情報」(同率 39.2%)、「家庭教育やしつけに関する情報」(37.5%)、「医療機関に関する情報」(34.9%)、「幼稚園などの幼児教育に関する情報」(32.2%)、「妊産婦・子どもへの健診の情報」(21.9%)、「育児に関する相談窓口の情報」(18.5%)、「子育てサークルの情報」(15.8%)、「発達支援に関する相談窓口の情報」・「アレルギーを持つ子ども向けの情報」(同率 15.2%)、「その他」(2.3%) となっている。

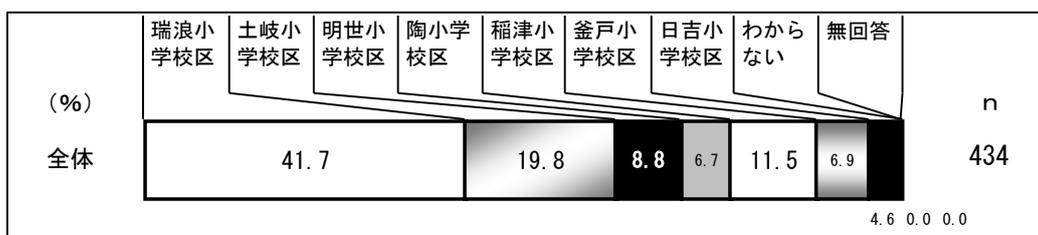


IV 小学生

1. 居住地について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

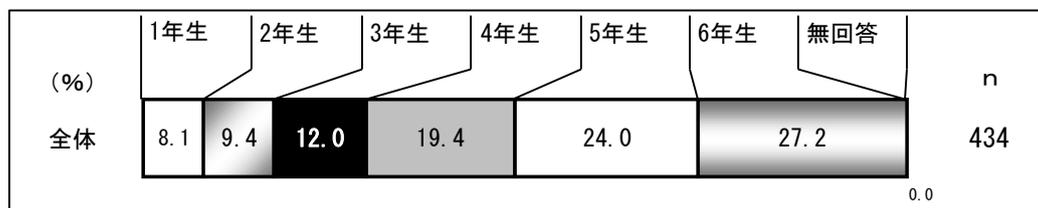
「瑞浪小学校区」(41.7%)、「土岐小学校区」(19.8%)、「稲津小学校区」(11.5%)、「明世小学校区」(8.8%)、「釜戸小学校区」(6.9%)、「陶小学校区」(6.7%)、「日吉小学校区」(4.6%)となっている。



2. 家族の状況について

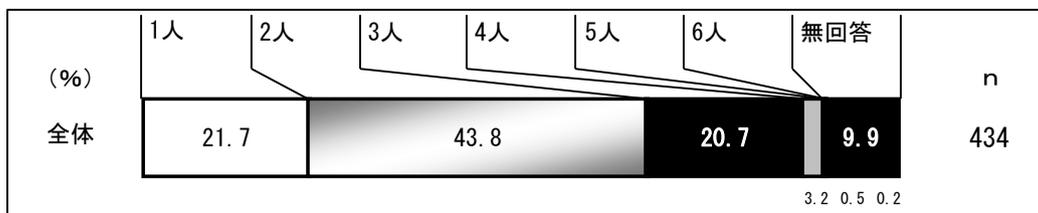
問2 宛名のお子さんは現在何年生ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、お子さんは何人きょうだいですか(本人を含む)。

「6年生」(27.2%)、「5年生」(24.0%)、「4年生」(19.4%)、「3年生」(12.0%)、「2年生」(9.4%)、「1年生」(8.1%)となっている。



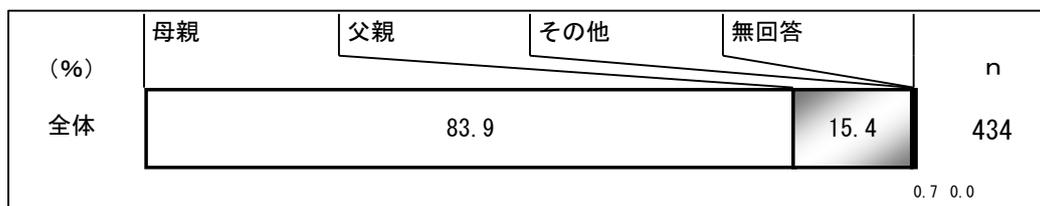
・きょうだい数

「2人」(43.8%)、「1人」(21.7%)、「3人」(20.7%)、「4人」(3.2%)、「5人」(0.5%)、「6人」(0.2%)となっている。



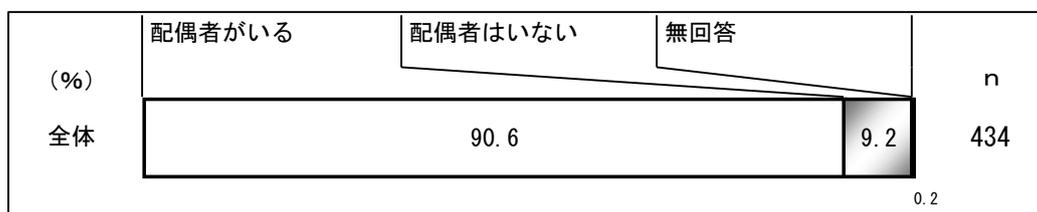
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」(83.9%)、「父親」(15.4%)、「その他」(0.7%)となっている。



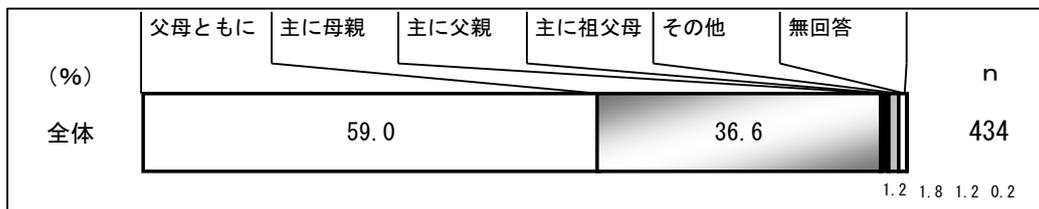
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」(90.6%)、「配偶者がいない」(9.2%)となっている。



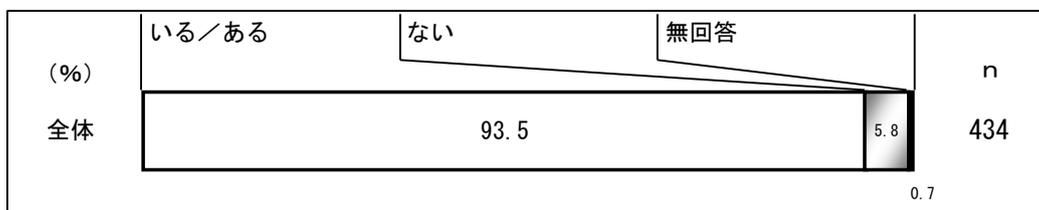
問5 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」(59.0%)、「主に母親」(36.6%)、「主に父親」(1.8%)、「主に祖父母」(1.2%)、「主に父親」・「その他」(同率1.2%) となっている。



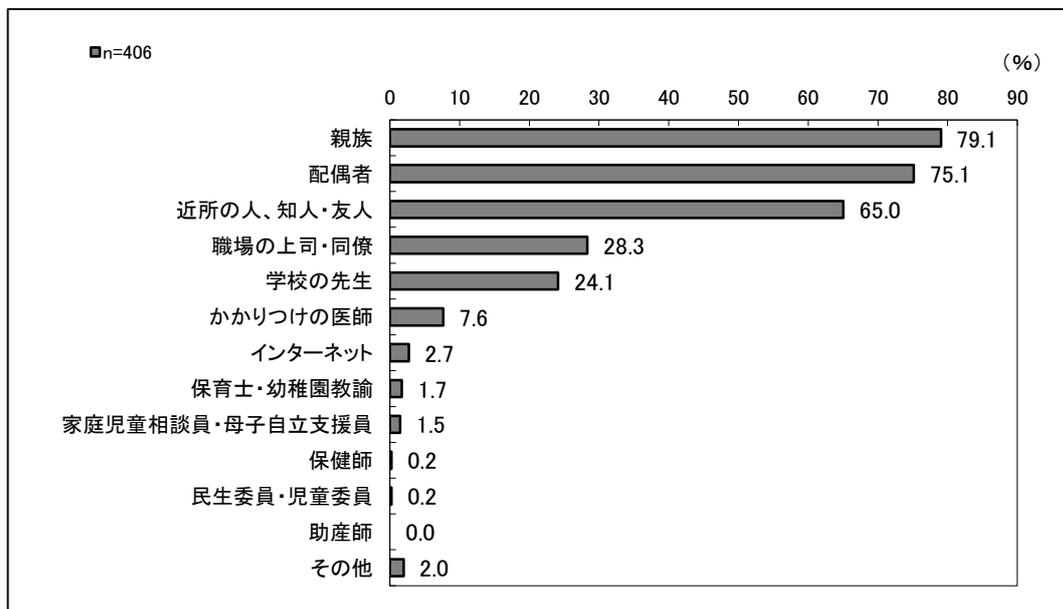
問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」(93.5%)、「ない」(5.8%) となっている。



問6-1 問6で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親族」(79.1%)、「配偶者」(75.1%)、「近所の人、知人・友人」(65.0%)、「職場の上司・同僚」(28.3%)、「学校の先生」(24.1%)、「かかりつけの医師」(7.6%)、「インターネット」(2.7%)、「保育士・幼稚園教諭」(1.7%)、「家庭児童相談員・母子自立支援員」(1.5%)、「保健師」・「民生委員・児童委員」・「その他」(同率2.0%) となっている。



問7 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

周囲からのサポートについては以下の意見が挙げられた。

- ・小・中学校の給食費助成。
- ・小・中学校のカバン・ジャージなどの購入費助成。
- ・一番熱望するのは、義務教育の無償化です。
- ・クラブや習い事、塾などの送迎サービス。
- ・登下校時の見守り・声かけ。
- ・行政担当者に関しては、メール等、時間帯を気にせず相談できるようにしてほしい。
- ・行政での子育てに関するサービスを調べているとわからなくて困る。
- ・仕事が遅くなった時、学童以外のサポートがあると良い。
- ・子どもが病気になった時、迎えに行くことが難しい時がある。
- ・お金を稼いでも貯金が難しく、高校、大学の入学の時に心配。（子ども扶養以外に子ども将来貯金を行ってほしい）
- ・1人で外出させることに不安。見守りや近所付き合いをもっとしてほしい。（引っ越してきた際、声をかけたが積極的に話しかけてもらえず、1人での子育てに不安が大きかった。）
- ・仕事の時に子どもと一緒にいてくれるサポート。
- ・子どもが問題行動を起こした時に、アドバイスしてくれるサポート。
- ・仕事をしながら、子どもを預けたり、地域の子育て情報、事情を教えてもらえると良い。
- ・塾の送迎が大変なので、サポートがあると助かる。
- ・助言。子育ての先輩からの参考意見。
- ・同学年異学年ママ達からの話。
- ・親だけでは教えられない事（町の歴史、伝統的な行事、遊びなど）を教えて頂ける場の提供や老若男女問わず色々な人との関わりの場。
- ・同じ立場（同じ学年の子どもの親同士、シングルマザー同士）で交流したり話をできる機会があると良い。
- ・悩みなどをメールで相談して、専門の立場の方に回答してもらえるサービスがあると良い。
- ・発達の見立てや児童精神科の優先的紹介（大湫病院は瑞浪市にある病院にもかかわらず、市内外問わず予約がとれない）。
- ・父親が仕事で忙しく、ワンオペ状態の母親に対して、気持ちが軽くなるような声掛けをしてほしい。
- ・話を聞いてくれる。
- ・悩んでいる時にいくつかのアドバイスがもらえる。
- ・1人での時に声をかける体制。
- ・3歳位までの子育てが一番情報や相談する場が必要で、母のコミュニティもまだ狭い範囲がほとんどなので、保健センターや市役所、子育てセンターなど健康面や生活面など気軽に相談できる活動が大切。スタッフの人柄も大切。スタッフの人間性も相談者へのケアには影響すると思う。
- ・外国の人たちへのフォローも必要。
- ・5年生となってはじめて思うのですが、瑞浪は閉鎖的で特殊です。（田舎の考え方）子どもの進路を考えた時、全国の視点での子どもの進路の可能性が見つけられず、どうしたら良いのかわからない。親子で受けられるような進路相談があれば良いと思う。
- ・インフルエンザのクラス、学年閉鎖の時、本人はインフルエンザではない、もしくは、インフルエ

- ンザにかかって回復している（感染期間経過）状態の場合は、学童保育所で預かって頂きたい。共働きのため、預け先がなく、休暇対応するが1週間も仕事を休めない。
- ・こちらからはなかなか出向きにくいので電話をしてくださると相談しやすい。
 - ・ただ話を聞いてほしい。サポートしてくれる場所、人がわかりづらい。
 - ・どこにどんな習い事があって、スポーツクラブがあるのか等知りたかった。
 - ・色々なことを経験、体験させたいが、共働きのため送迎が難しい。交通機関（バス等）も少ないので車の送迎が必要なため習い事も難しい。
 - ・なかなか相談できないような悩み（いじめや、性の事など）がある時に気軽に相談に行けるような環境。
 - ・同じ経験をしたご家庭の人や実際に同じように悩んでいるご家庭の人と話ができたり、交流ができる所。先生や友人ではなく、同じ境遇にある人の話や意見が大事だと思う。
 - ・メールやLINE等で相談ができる。
 - ・何かあった時にお願いできる所があると良い。主に私が子育てをしており、夜の会議などがあると、塾の送迎はいつも困る。
 - ・家事代行、安価でバランスの良い外食レストラン。
 - ・家族の入院等で急に1人で過ごさなければならなくなった時の預かり。
 - ・学級閉鎖になった時に仕事が休めないため、気軽に1日預かる所があると助かる。
 - ・学区の都合で、通学の不便さがある。人に頼むのも限度があり、地域的な問題である。生活しやすさを考えるなら、子ども達が不担なく行き来できるように整備してほしい。
 - ・学校のエアコン設置。
 - ・学校の先生に対して色々思うことがあるが、どこに相談すれば良いのかわからない。
 - ・学童（放課後保育）費の負担軽減。もう少し安くしてほしい。
 - ・学童の充実、児童館が小学校に隣接しているともっと良いと思う。
 - ・児童館が新しくなっても、一部の児童しか平日などは利用ができていないため、子どもたちはもっと児童館を利用したら良いと思う。
 - ・学童保育の支援員の人数が少ないため、定員オーバーで、祖父母が同居等で、利用を遠慮したりする状況。希望する家庭が全員利用できるよう、支援員の増員を希望。
 - ・気軽に子どもの事を相談できる、専門の人がいる場所があると良い。
 - ・共働き、片親の世帯が増え、今後も増えていく一方、企業では慢性的な人手不足にあり、急な子どもの早帰り、弁当の日など対応できない時のサポートがあると嬉しい。
 - ・共働きなので、体調が悪くて学校を休む時や警報で引き取りに行く必要があるなどの急な時にフォローしてもらえる環境があるとありがたい。
 - ・共働きのため、長期の休み（夏休み等）や学校から帰ってきてから親が帰ってくるまでの時間、子ども達の居場所に困る。
 - ・共働きの親が多いので、子どもを見てくれる場所、サポートしてくれる友達が一番必要。学級閉鎖になると元気なのに学校へ行けない、食事の準備をして仕事へ行くなど本当に大変。（学童もダメになっていたの）何とかしてほしいと小さい頃は思いましたが、今は1人でいられるので大丈夫。
 - ・金銭助成（助成金の説明）。
 - ・経験上のアドバイスと共感。
 - ・経済的サポート。
 - ・見守り活動をして頂いている。
 - ・行政でも相談できる場所があるのだろうがよく知らない、親身になってくれなさそう、もっとハー

ドルの低い相談所&遊べる所があると良い。

- ・行政などにサポートは期待していない。
- ・今は1年生で勉強を見てやることができるが、もう少し大きくなった時に少し心配している。
- ・今もあるがファミリーサポートが活用されていない。都会では気軽にあたりまえに使われている。使いたい時もあるが周りに使用している人もおらず、使いにくい。もっと気軽に使ったり、登録できるように工夫してもらいたい。
- ・家で預かったりするだけなら、OKの保育士（自分の子と一緒に）ママはたくさんいると思う。自分も一時預かり的なら受けられても良いと思うし、ママ世代のサポーターさんの所なら安心して預けられると思う。
- ・困った時に相談にのってほしい。
- ・困った時に相談にのれるように、日頃からコミュニケーションをとってとらえるとありがたい。
- ・仕事が遅くなる時の学童の迎え、習い事に通わせたいが送迎ができないのでお願いしたい。
- ・仕事で遅くなる時に預けたい。
- ・仕事をしていると、子どもが急に体調を崩した時や授業参観等の振替休日に、子どもの対応をするのが難しい、そうした時のサポートがあると嬉しい。
- ・仕事を休むことに罪悪感やプレッシャーをかけることがある職場。
- ・子育てについて何か悩みがある場合に手紙やメールで気軽に相談できる物があれば良いと思う。すでにあると思うが気軽ではない。
- ・子育ての経験がある方から実体験等を教えて頂けると安心できると思う。
- ・子育て支援センターはよく利用させてもらい、ありがたかったので今後も続けてほしい。
- ・子育ても3人ともなるとお金が全々足りない。特別手当がまれにあるが本当に回数が少なすぎて何の助けにもならない。子どもを産み損と思いたくないが思えてくるほどお金（手当サポート）が足りないと思う。
- ・子どもそれぞれの予定があると送迎が大変な時がある、気軽にお願いできると嬉しい。
- ・子どもだけでも楽しめる場所（児童館など）で平日だけではなく、日曜日、休日もあればとても助かる。
- ・子どもの個性は1人ずつ違うので、型にはめようとせず、進学先も色々な道を提案してもらえる柔軟な対応がほしい。
- ・子どもの年齢にそったアドバイスがもらえる所がほしい。小さい頃は、幼稚園の先生、学童、児童館で色々聞けたが通うことがなくなってしまったので。
- ・子どもを安心して預けられる所があるととても助かる。
- ・子どもを気軽に一時預かりできる場所。
- ・子ども達が自由に交流できる場所。
- ・市の職員ではなくケアワーカーや専門職の相談窓口があれば良い。
- ・施設・制度などのロコミ情報が入手できる場がほしい。
- ・児童館のようなものがもっとあったら良いと思う。
- ・外で遊びに行けば誰かがいるというような場所、家から出ないでと言わなくて良い地域になると良い。昔は子どもの笑っている声が外からもっと聞こえていたから。
- ・自分から電話をするほどでもない時などに、気軽に相談できる所があると良いと思う。
- ・習い事の送迎を手伝ってもらえるとありがたい。
- ・情報の共有。一部の人（役員とか）しか、細かい情報が知らされない。
- ・色々な所で悩みや喜びを共感したり相談できる人が必要だと思う。

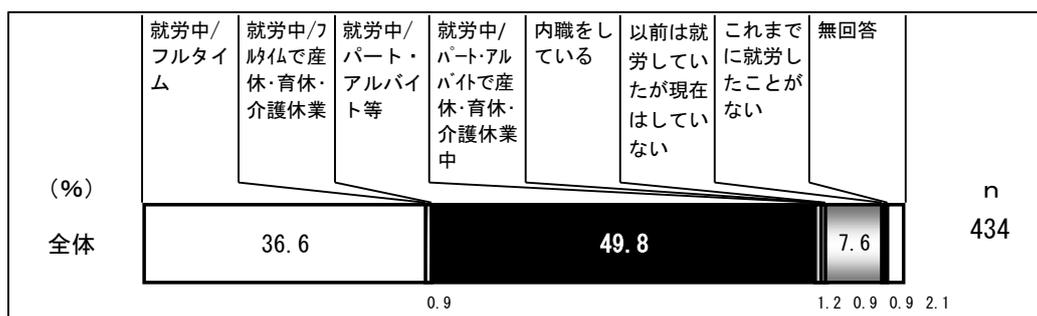
- ・親の帰宅時間まで面倒を見てくれること。
- ・専門的な知識をもった方（福祉サービス等）。
- ・短時間でも預かってくれる。
- ・地域全体で子育てを手助けする、見守りすることができるような環境ができたと思う。
- ・子育てのワンポイントアドバイスのような紙面で目にできるものがあると良い。
- ・適確なアドバイス、親身になって相談ができる場所、人。
- ・同級生の親との話も大切だが、少し年上の子育てが終わっている人の話はこれから起こるだろう事が予測できるので、心構えができて良い。
- ・今は母親も働いている所が多いので、あえてどこかに出かけて相談するより職場内等で相談できると良い。
- ・配偶者（父親）の積極的な子育てへの参加。父親の帰宅時間を早める。
- ・発達障害の子どもの進学、就職についてのサポート。
- ・必要とする情報の提供（自ら取得する方法・場所（ウェブサイト含む）があれば良い）。
- ・病後児保育を、もっと安く、使いたい。仕事へ行って稼ぐよりもお金がかかってしまう。学童の値段を下げてほしい。とても2人は入れられない。
- ・不審者等から守るため、子ども達だけで歩いている時は、声をかけて頂けると助かる。
- ・父親との時間が少ない、いても子どもと遊ぶことが少ない。
- ・母子家庭ですが、あわれむなど、負の感情で話されると話す気がなくなる。
- ・面接で努力がない、我慢が足りないなどと言う人がいると逆にさみしい人だと思ってしまう。なので、家庭には誰にもわからないことがあって、家庭事情をわかる人が行政にいてくれれば相談しやすい。（私はDVだったが相談した人がすべて私の我慢がないと言われた。）。
- ・放課後に誰でも気軽にに行ける、放課後スクール的な所があるとありがたい。1人では理解できなくても、気軽に聞けて、教えてもらえるような。金銭的問題で、塾に通えなくても、勉強嫌いにならない程度に。
- ・放課後の学校の宿題を丁寧に見て、取り組むよう指導してくれる機関。本来なら、学童等がそういう場所になるのだろうが、地区にはないので困っている。
- ・放課後や夏休み・冬休みなど、子どもが気軽に学べる、遊べる、見守り、のサポート。
- ・無料の塾があると良い。
- ・夜間など急に身内の急病などで、遠方に行く場合や宿泊しないと帰れない場合に預かる場所があれば良いと思う。
- ・預かりをもっと気軽にできる所があれば良いと思う。
- ・養育費を払わない親に対して、支払い義務を果たさせるための仕組みづくり、（給与から自動徴収するように会社へ実行させる等）母子手当として使用される税金を減らせる&片親には養育費が支払われるので、多方にとって良いのではないか。
- ・話を親身になって聞いてもらえる。それだけで、かなり救われる。

3. 就労状況について

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

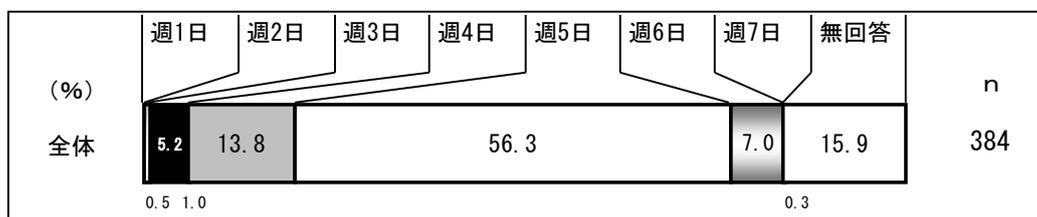
(1) 母親

「就労中/パート・アルバイト等」(49.8%)、「就労中/フルタイム」(36.6%)、「以前は就労していたが現在はしていない」(7.6%)、「就労中/パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中」(1.2%)、「就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中」・「内職をしている」・「これまでに就労したことがない」(同率0.9%)となっている。



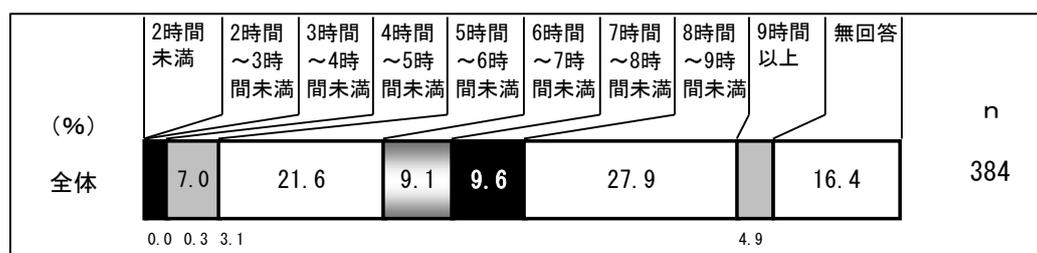
・ 1週当たり就労日数

「週5日」(56.3%)、「週4日」(13.8%)、「週6日」(7.0%)、「週3日」(5.2%)、「週2日」(1.0%)、「週1日」(0.5%)、「週7日」(0.3%)となっている。



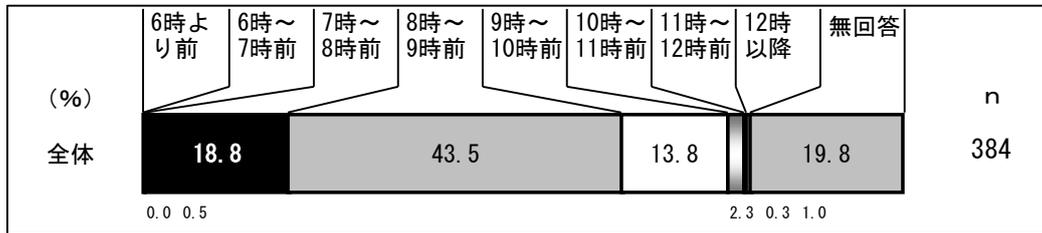
・ 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」(27.9%)、「5時間～6時間未満」(21.6%)、「7時間～8時間未満」(9.6%)、「6時間～7時間未満」(9.1%)、「4時間～5時間未満」(7.0%)、「9時間以上」(4.9%)、「3時間～4時間未満」(3.1%)、「2時間～3時間未満」(0.3%)となっている。



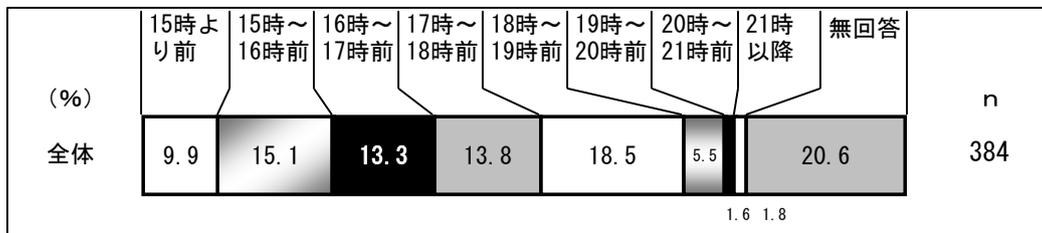
・ 家を出る時刻

「8時～9時前」(43.5%)、「7時～8時前」(18.8%)、「9時～10時前」(13.8%)、「10時～11時前」(2.3%)、「12時以降」(1.0%)、「6時～7時前」(0.5%)、「11時～12時前」(0.3%) となっている。



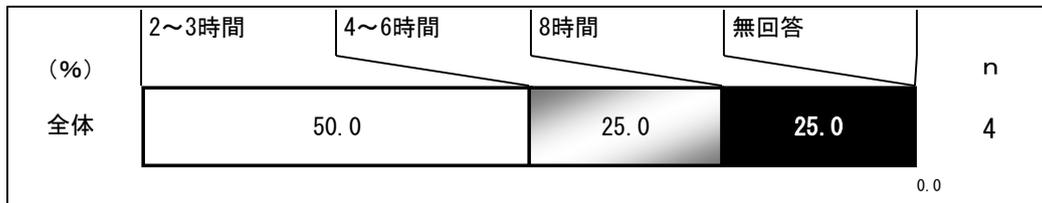
・ 帰宅時刻

「18時～19時前」(18.5%)、「15時～16時前」(15.1%)、「17時～18時前」(13.8%)、「16時～17時前」(13.3%)、「15時より前」(9.9%)、「19時～20時前」(5.5%)、「21時以降」(1.8%)、「20時～21時前」(1.6%) となっている。



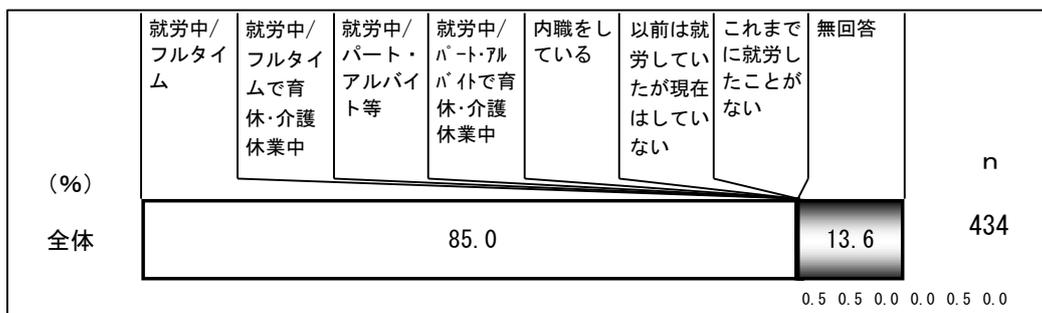
・ 1日当たり内職をしている時間

「2～3時間」(50.0%)、「4～6時間」(25.0%)、「8時間」(25.0%) となっている。



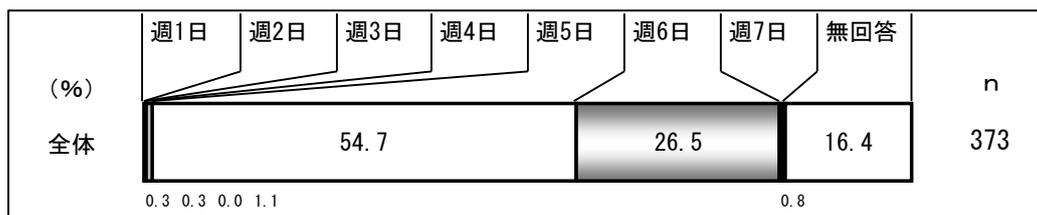
(2) 父親

「就労中/フルタイム」(85.0%)、「就労中/フルタイムで育休・介護休業中」・「就労中/パート・アルバイト等」・「以前は就労していたが現在はしていない」(同率0.5%) となっている。



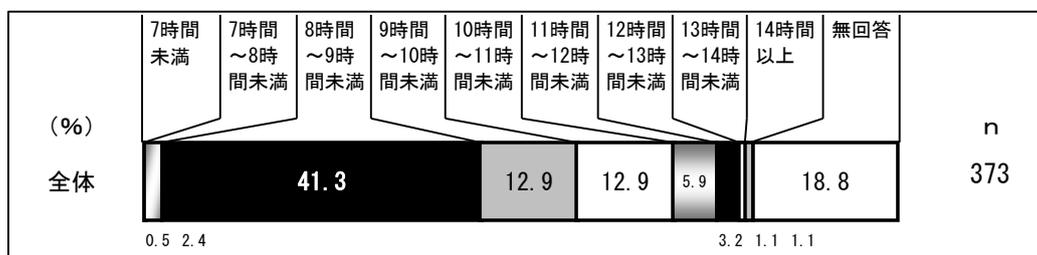
・ 1週当たり就労日数

「週5日」(54.7%)、「週6日」(26.5%)、「週4日」(1.1%)、「週7日」(0.8%)、「週1日」・「週2日」(同率0.3%)となっている。



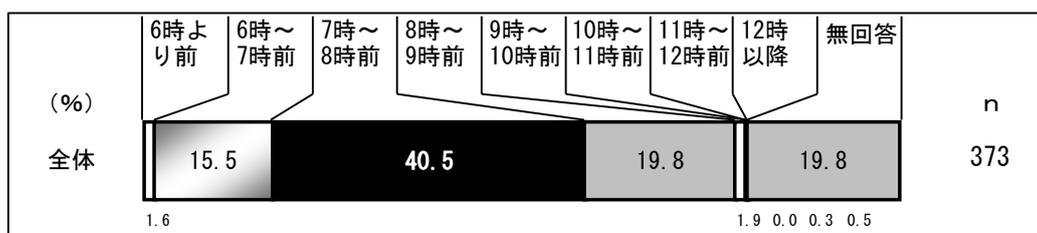
・ 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」(41.3%)、「9時間～10時間未満」・「10時間～11時間未満」(同率12.9%)、「11時間～12時間未満」(5.9%)、「12時間～13時間未満」(3.2%)、「7時間～8時間未満」(2.4%)、「13時間～14時間未満」・「14時間以上」(同率1.1%)、「7時間未満」(0.5%)となっている。



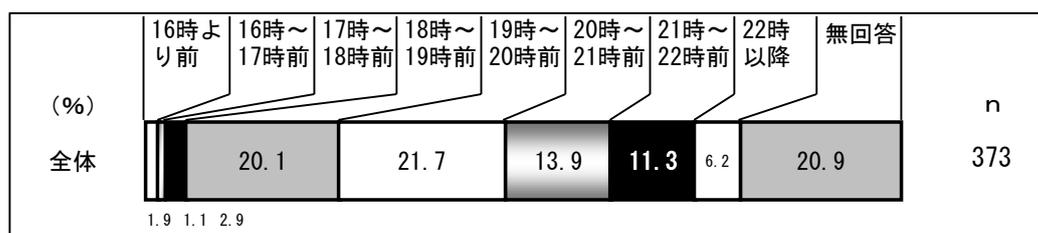
・ 家を出る時刻

「7時～8時前」(40.5%)、「8時～9時前」(19.8%)、「6時～7時前」(15.5%)、「9時～10時前」(1.9%)、「6時より前」(1.6%)、「12時以降」(0.5%)、「11時～12時前」(0.3%)となっている。



・ 帰宅時刻

「19時～20時前」(21.7%)、「18時～19時前」(20.1%)、「20時～21時前」(13.9%)、「21時～22時前」(11.3%)、「22時以降」(6.2%)、「17時～18時前」(2.9%)、「16時より前」(1.9%)、「16時～17時前」(1.1%)となっている。



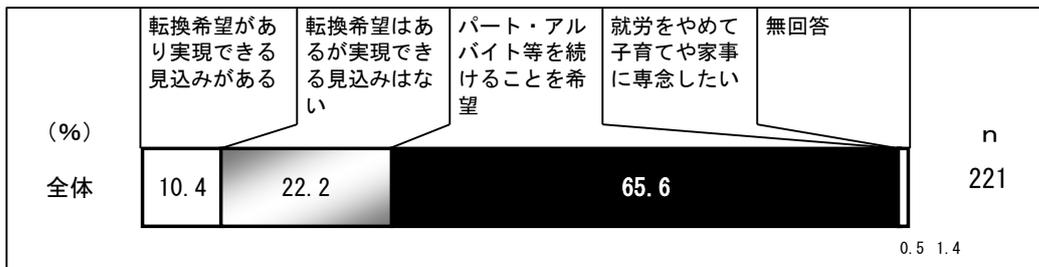
・ 1日当たり内職をしている時間

回答なし

問9 問8の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等を続けることを希望」(65.6%)、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」(22.2%)、「転換希望があり実現できる見込みがある」(10.4%)、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」(0.5%)となっている。



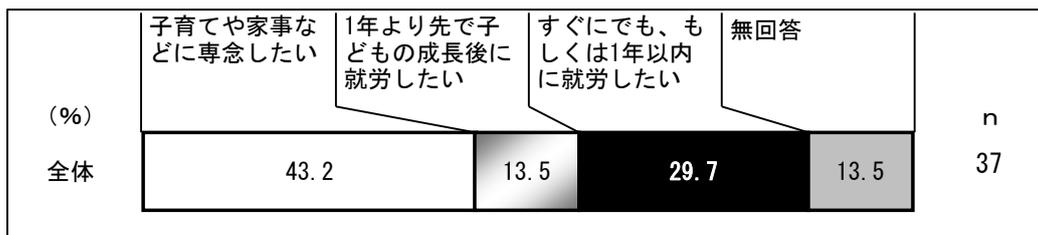
(2) 父親

「パート・アルバイト等を続けることを希望」(50.0%、1件)となっている。

問10 問8の(1)または(2)で「6. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「7. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

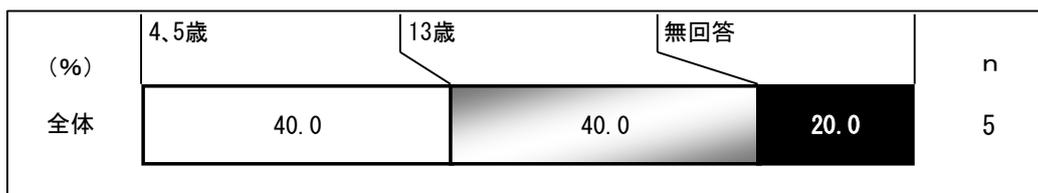
(1) 母親

「子育てや家事などに専念したい」(43.2%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.7%)、「1年より先で子どもの成長後に就労したい」(13.5%)となっている。



・就労希望時期：末子の年齢

「4,5歳」(40.0%)、「13歳」(40.0%)となっている。

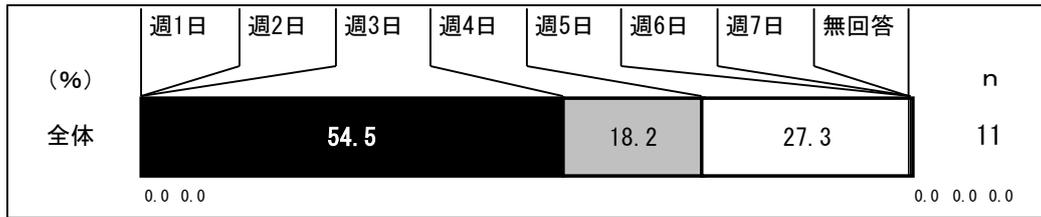


・就労希望の形態

「パート・アルバイト等」(100.0%、11件)となっている。

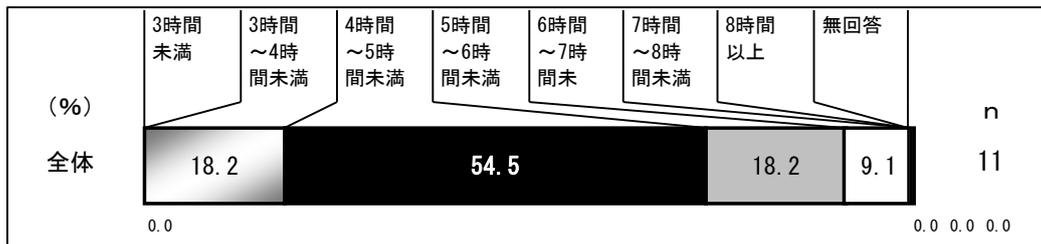
・ 1週当たり就労日数

「週3日」(54.5%)、「週5日」(27.3%)、「週4日」(18.2%)となっている。



・ 1日当たり就労時間

「4時間～5時間未満」(54.5%)、「3時間～4時間未満」(18.2%)、「5時間～6時間未満」(18.2%)、「6時間～7時間未満」(9.1%)となっている。



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(50.0%、1件)となっている。

・ 就労希望時期：末子の年齢

該当なし

・ 就労希望の形態

「フルタイム」(100.0%、1件)となっている。

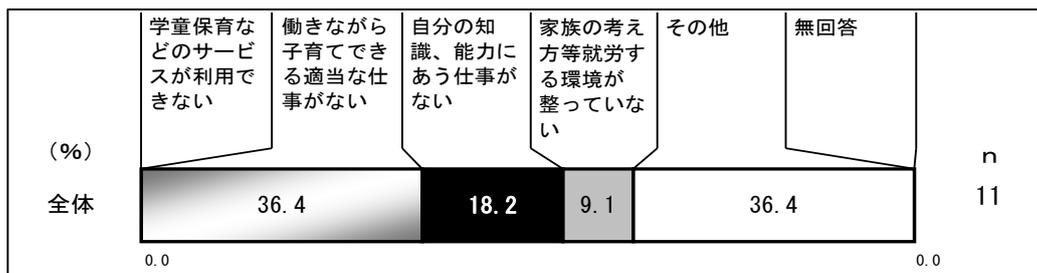
・ 1週当たり就労日数

該当なし

問11 問10の(1)または(2)で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「働きながら子育てできる適当な仕事がない」(36.4%)、「自分の知識、能力にあう仕事がない」(18.2%)、「家族の考え方等就労する環境が整っていない」(9.1%)、「その他」(36.4%)となっている。



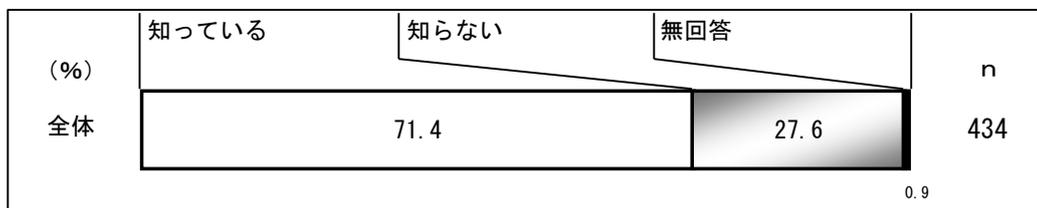
(2) 父親

回答なし

4. 病気の際の対応について

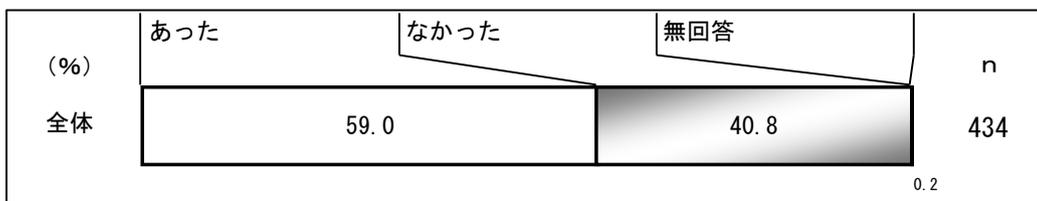
問 12 本市では、東濃厚生病院みずなみ病院病後児保育所において病後児保育を行っています。当てはまる番号に○をつけてください。

「知っている」(71.4%)、「知らない」(27.6%)となっている。



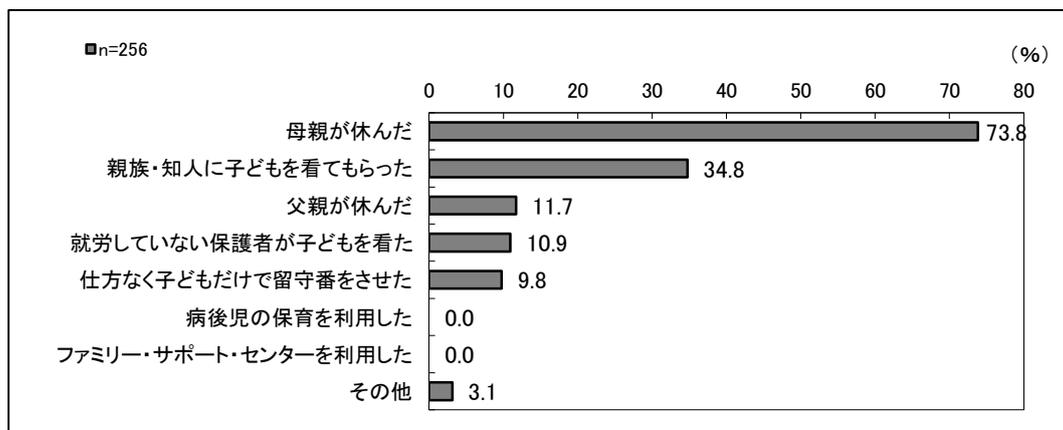
問 13 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

「あった」(59.0%)、「なかった」(40.8%)となっている。



問 13-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

「母親が休んだ」(73.8%)、「親族・知人に子どもを看てもらった」(34.8%)、「父親が休んだ」(11.7%)、「就労していない保護者が子どもを看た」(10.9%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(9.8%)、「その他」(3.1%)となっている。

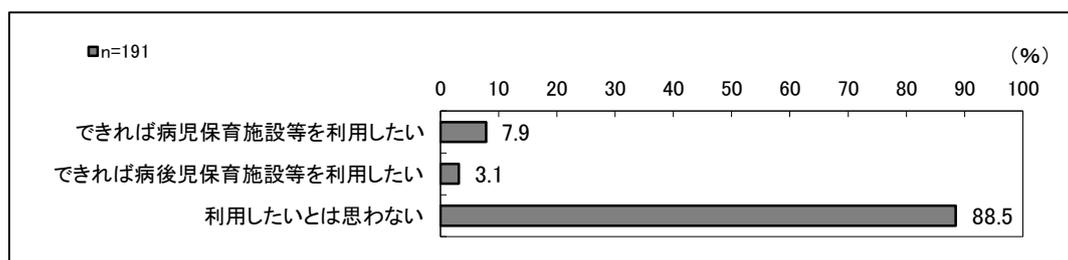


日数については以下のとおりとなっている。

	全体 (人)	0～3日	4～7日	8～10日	11～20日	21～30日	31日以上	無回答
1 父親が休んだ	30	80.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7
2 母親が休んだ	189	62.4	22.2	6.9	3.2	0.0	0.5	4.8
3 親族・知人に子どもを看てもらった	89	71.9	12.4	4.5	2.2	1.1	0.0	7.9
4 就労していない保護者が子どもを 見た	28	60.7	25.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1
7 仕方なく子どもだけで留守番させた	25	84.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0
8 その他	8	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	37.5

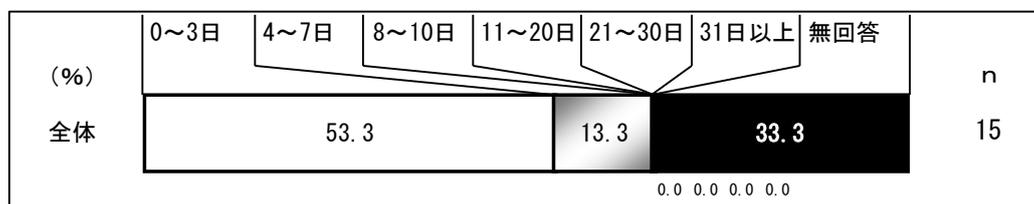
問 13-2 問 13-1 で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用希望日数を（ ）内に数字でご記入ください。なお、当市は、病児保育施設はありません。また、病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児保育施設等を利用したい」（7.9%）、「できれば病後児保育施設等を利用したい」（3.1%）となっている。



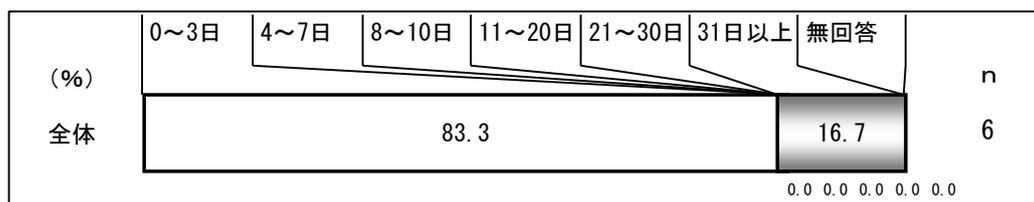
・病児保育施設：利用希望日数

「0～3日」（53.3%）、「4～7日」（13.3%）となっている。



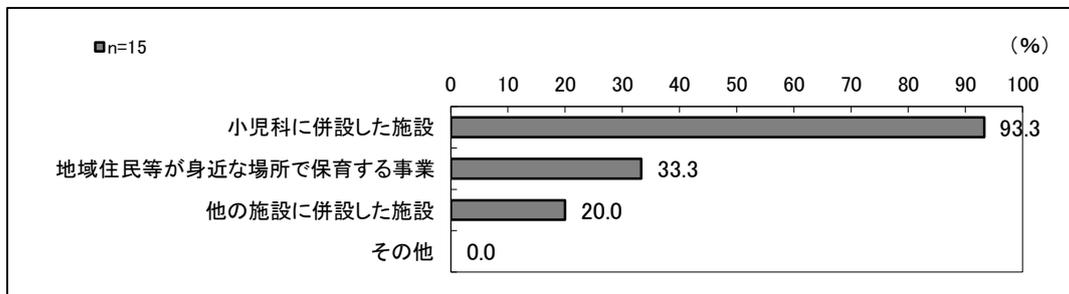
・病後児保育施設：利用希望日数

「0～3日」（83.3%）、「31日以上」（16.7%）となっている。



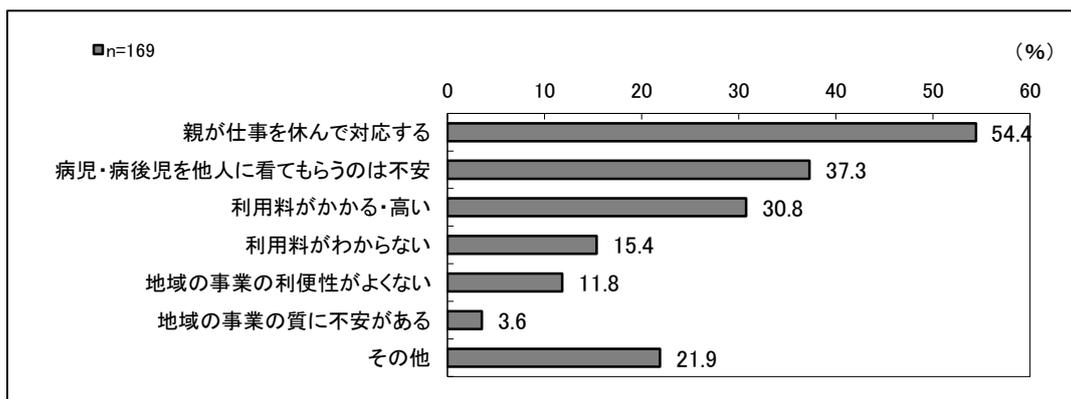
問 13-3 問 13-2で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」、「2. できれば病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設」(93.3%)、「地域住民等が身近な場所で保育する事業」(33.3%)、「他の施設に併設した施設」(20.0%)となっている。



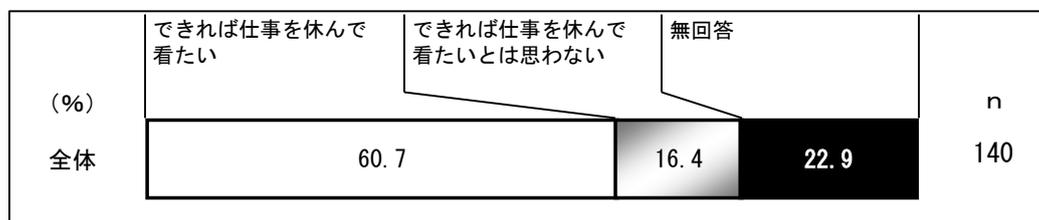
問 13-4 問 13-2で「3. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」(54.4%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(37.3%)、「利用料がかかる・高い」(30.8%)、「利用料がわからない」(15.4%)、「地域の事業の利便性がよくない」(11.8%)、「地域の事業の質に不安がある」(3.6%)、「その他」(21.9%)となっている。



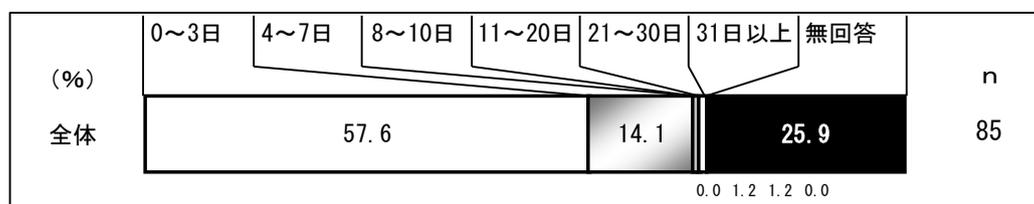
問 13-5 問 13-1で「3」から「8」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3」から「8」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数について数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」(60.7%)、「できれば仕事を休んで看たいとは思わない」(16.4%)となっている。



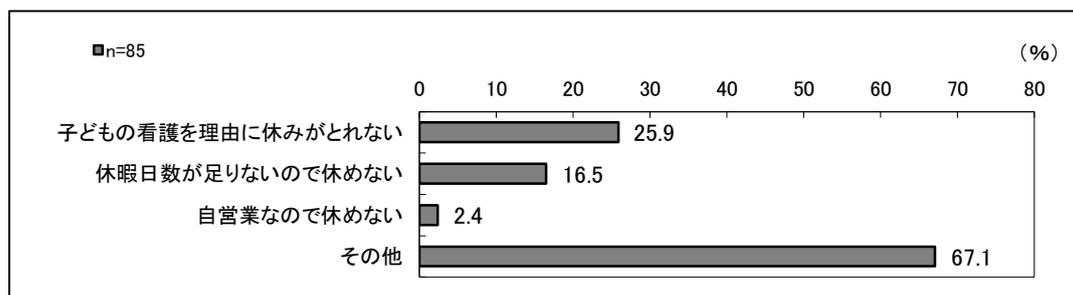
・休んで看たかった日数

「0~3日」(57.6%)、「4~7日」(14.1%)、「11~20日」・「21~30日」(同率1.2%)となっている。



問 13-6 問 13-5で「1. できれば仕事を休んで看たい」に○をつけた方にうかがいます。休んで看たくても看ない(看ることができなかった)理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

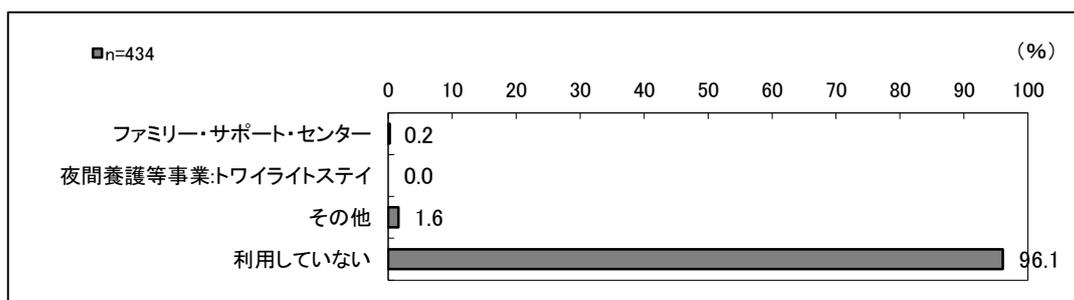
「子どもの看護を理由に休みがとれない」(25.9%)、「休暇日数が足りないので休めない」(16.5%)、「自営業なので休めない」(2.4%)、「その他」(67.1%)となっている。



5. 不規則な一時預かり等の利用について

問 14 宛名のお子さんについて、日中の定期的以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

「ファミリー・サポート・センター」(0.2%)、「その他」(1.6%)、「利用していない」(96.1%)となっている。

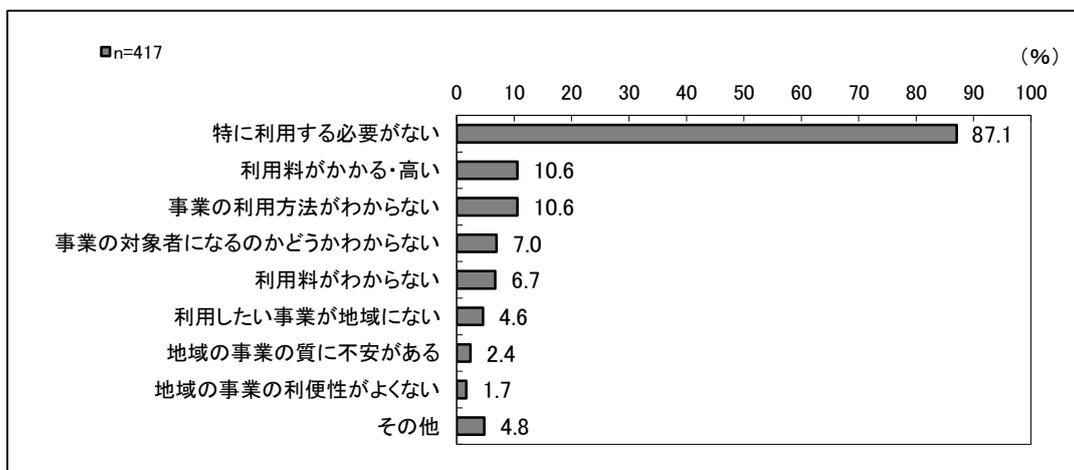


日数については以下のとおりとなっている。

	全体 (人)	0～3日	4～7日	8～10日	11～20日	21～30日	31日以上	無回答
1 ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
3 その他	7	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	28.6	14.3

問 14-1 問 14 で「4. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

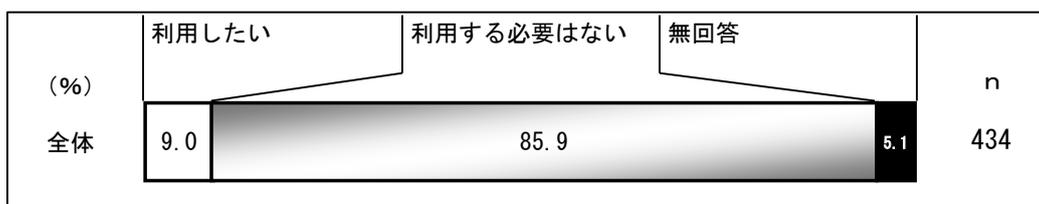
「特に利用する必要がない」(87.1%)、「利用料がかかる・高い」・「事業の利用方法がわからない」(同率 10.6%)、「事業の対象者になるのかどうかわからない」(7.0%)、「利用料がわからない」(6.7%)、「利用したい事業が地域にない」(4.6%)、「地域の事業の質に不安がある」(2.4%)、「地域の事業の利便性がよくない」(1.7%)、「その他」(4.8%)となっている。



問 15 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を（ ）内に数字でご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

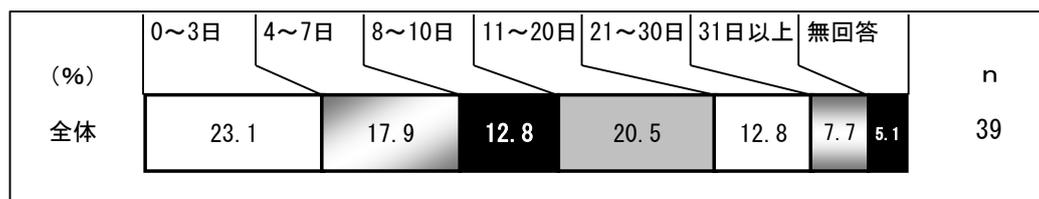
・利用希望

「利用する必要はない」（85.9%）、「利用したい」（9.0%）となっている。



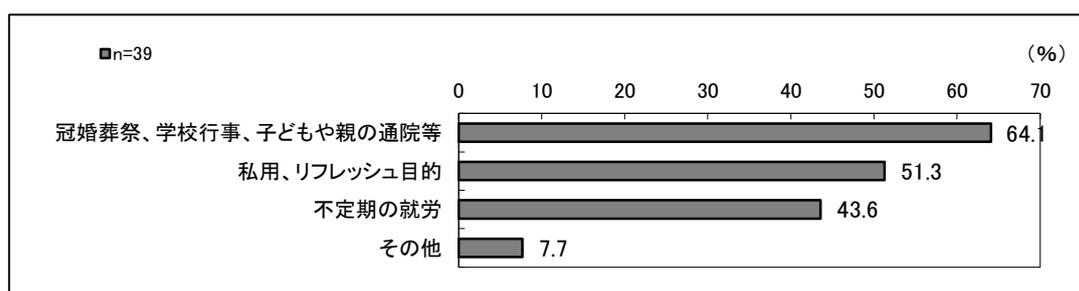
・利用したい日数：合計

「0～3日」（23.1%）、「11～20日」（20.5%）、「4～7日」（17.9%）、「8～10日」（12.8%）、「21～30日」（12.8%）、「31日以上」（7.7%）となっている。



(1) 不定期の事業を利用する目的

「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（64.1%）、「私用、リフレッシュ目的」（51.3%）、「不定期の就労」（43.6%）、「その他」（7.7%）となっている。

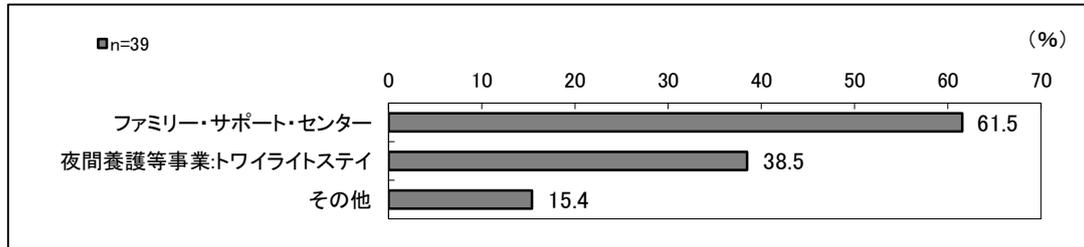


日数については以下のとおりとなっている。

	全体 (人)	0～3日	4～7日	8～10日	11～20日	21～30日	31日以上	無回答
1 私用、リフレッシュ目的	20	35.0	20.0	30.0	0.0	5.0	5.0	5.0
2 冠婚葬祭、学校行事、通院等	25	44.0	28.0	20.0	4.0	0.0	0.0	4.0
3 不定期の就労	17	17.6	23.5	35.3	11.8	11.8	0.0	0.0
4 その他	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

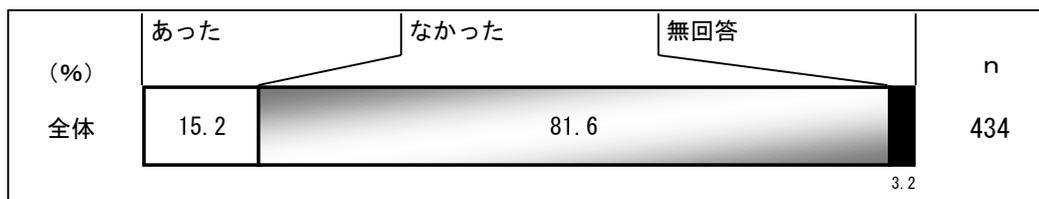
問 15-1 問 15 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 15 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ファミリー・サポート・センター」(61.5%)、「夜間養護等事業:トワイライトステイ」(38.5%)、「その他」(15.4%) となっている。



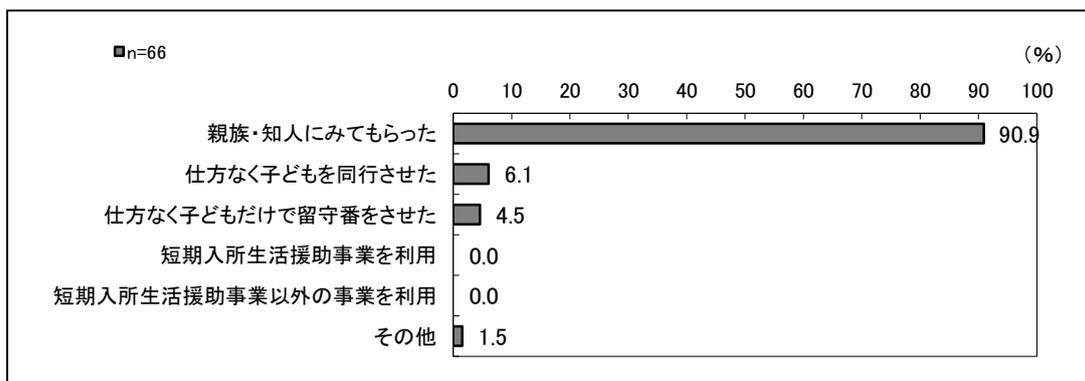
問 16 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含まれます。）あった場合は、この 1 年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を（ ）内に数字でご記入ください。

「なかった」(81.6%)、「あった」(15.2%) となっている。



・ 1 年間の対処方法

「親族・知人にみてもらった」(90.9%)、「仕方なく子どもを同行させた」(6.1%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(4.5%)、「その他」(1.5%) となっている。

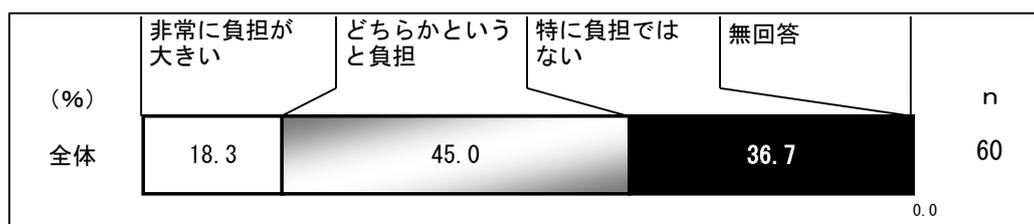


泊数については以下のとおりとなっている。

	全体 (人)	1～3泊	4～7泊	8～10泊	11～20泊	21泊以上	無回答
1 親族・知人にみてもらった	60	63.3	11.7	6.7	5.0	3.3	10.0
4 仕方なく子どもを同行させた	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6 その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 16-1 問 16 で「1. あった (1) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の相手方の負担はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

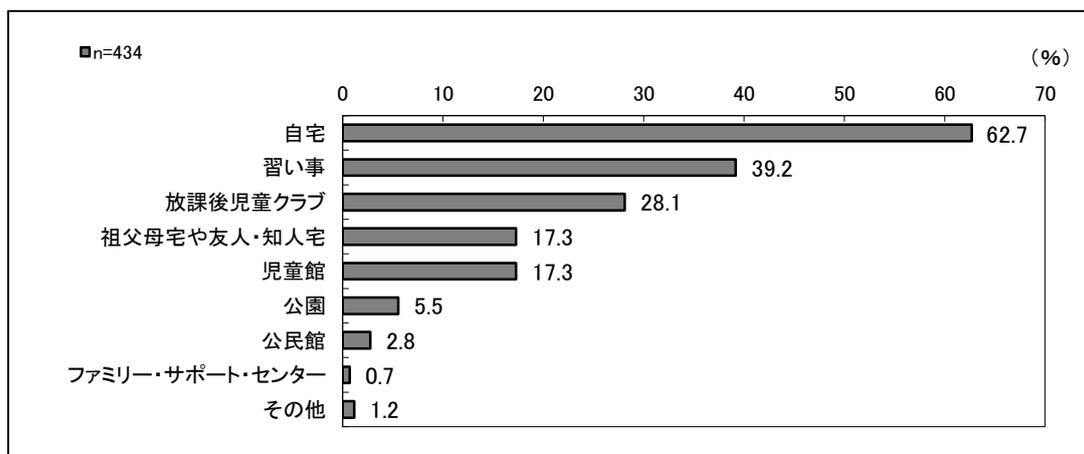
「どちらかという負担」(45.0%)、「特に負担ではない」(36.7%)、「非常に負担が大きい」(18.3%) となっている。



6. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 17 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）では、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思います（ました）か。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を（ ）内に数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24間制でご記入ください。

「自宅」（62.7%）、「習い事」（39.2%）、「放課後児童クラブ」（28.1%）、「祖父母宅や友人・知人宅」・「児童館」（同率 17.3%）、「公園」（5.5%）、「公民館」（2.8%）、「ファミリー・サポート・センター」（0.7%）、「その他」（1.2%）となっている。

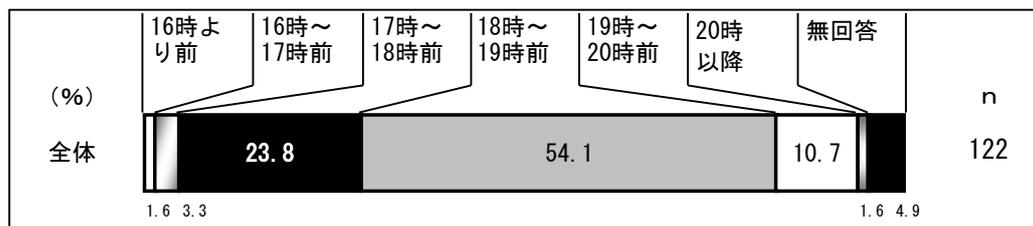


日数については以下のとおりとなっている。

場所	日数 (%)								n
	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	
1 自宅	11.0	13.2	18.8	13.6	32.0	0.0	0.0	8.1	272
2 祖父母宅や友人・知人宅	0.0	42.7	0.0	18.7	5.3	17.3	12.0	0.3	75
3 習い事	0.0	30.6	37.6	22.9	5.9	0.0	0.0	0.0	170
4 児童館	0.0	29.3	21.3	17.3	18.7	9.3	0.0	0.0	75
5 公民館	0.0	58.3	16.7	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	12
6 放課後児童クラブ	16.4	11.5	7.4	57.4	5.7	0.0	0.0	0.0	122
7 ファミリー・サポート・センター	0.8	33.3	33.3	33.3	0.8	0.0	0.0	0.0	3
8 公園	0.0	50.0	29.2	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	24
9 その他	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5

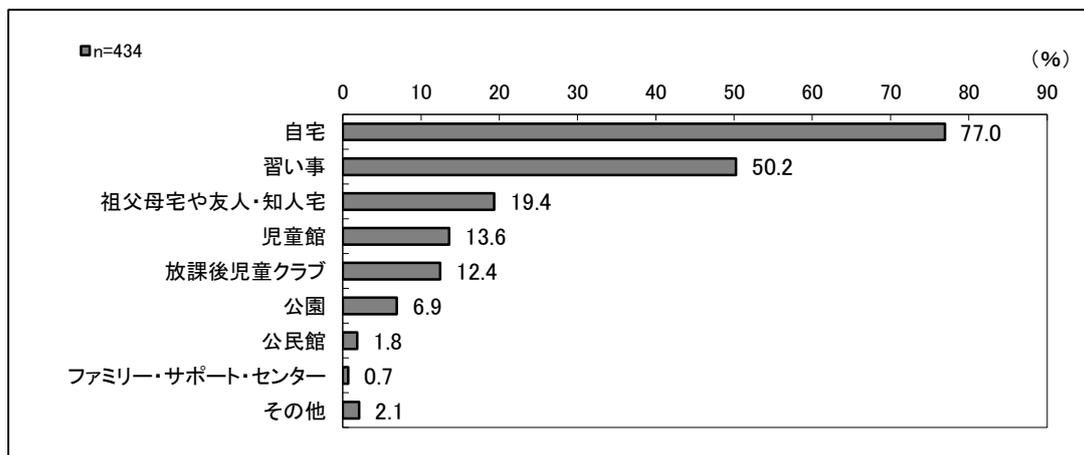
・希望終了時刻:放課後児童クラブ

「18時～19時前」(54.1%)、「17時～18時前」(23.8%)、「19時～20時前」(10.7%)、「16時～17時前」(3.3%)、「16時より前」・「20時以降」(1.6%)となっている。



問 18 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら（では）、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（過ごしている場所も含む）当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。

「自宅」(77.0%)、「習い事」(50.2%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(19.4%)、「児童館」(13.6%)、「放課後児童クラブ」(12.4%)、「公園」(6.9%)、「公民館」(1.8%)、「ファミリー・サポート・センター」(0.7%)、「その他」(2.1%)となっている。



日数については以下のとおりとなっている。

(%)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	n
1 自宅	8.7	14.1	18.3	7.2	36.8			10.5	334
2 祖父母宅や友人・知人宅		40.5		15.5	11.9	17.9	11.9		84
3 習い事	17.4		39.0		25.7	6.9	5.5		218
4 児童館		39.0		16.9	8.5	8.5	18.6	8.5	59
5 公民館			62.5			12.5	12.5	12.5	8
6 放課後児童クラブ	5.6	16.7	9.3	7.4	57.4				54
7 ファミリー・サポート・センター		33.3		33.3			33.3		3
8 公園		43.3		23.3	10.0	6.7	13.3		30
9 その他		33.3		22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	9

・希望終了時刻：放課後児童クラブ

「18時～19時前」(64.8%)、「19時～20時前」(16.7%)、「17時～18時前」(5.6%)、「20時以降」(3.7%)、「16時より前」(1.9%)となっている。

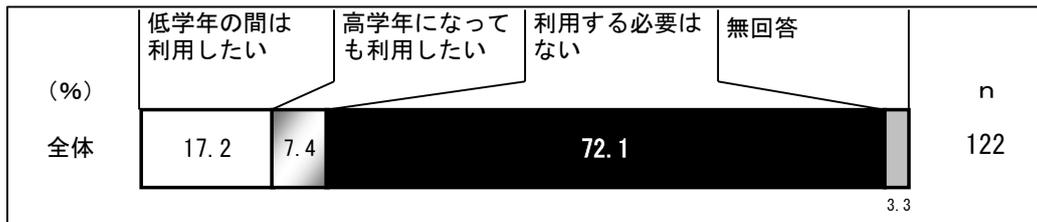
(%)	16時より前	16時～17時前	17時～18時前	18時～19時前	19時～20時前	20時以降	無回答	n
全体	1.9	0.0	5.6	64.8	16.7	3.7	7.4	54

問 19 問 17 で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に(例) 09 時～18 時のように24 時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

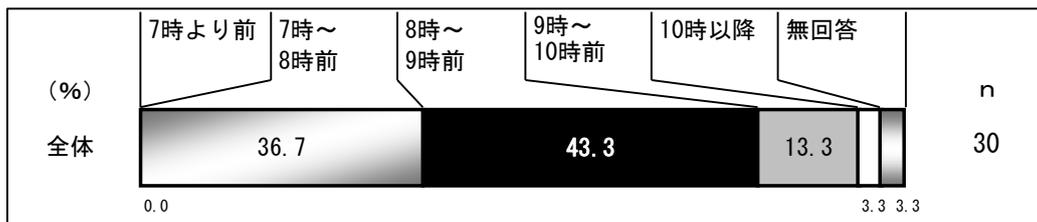
・利用希望

「利用する必要はない」(72.1%)、「低学年の間は利用したい」(17.2%)、「高学年になっても利用したい」(7.4%)となっている。



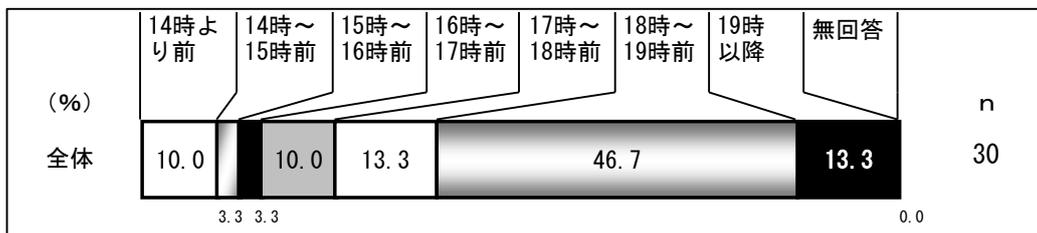
・開始時刻

「8 時～9 時前」(43.3%)、「7 時～8 時前」(36.7%)、「9 時～10 時前」(13.3%)、「10 時以降」(3.3%) となっている。



・終了時刻

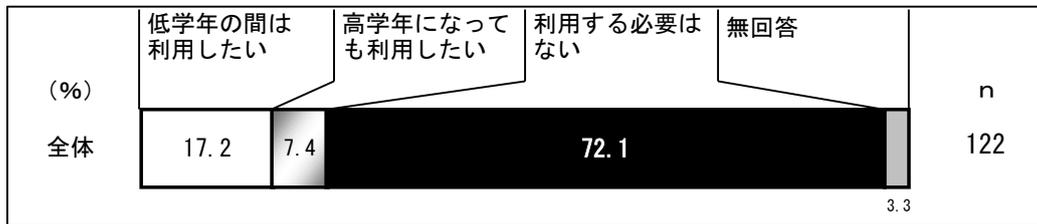
「18 時～19 時前」(46.7%)、「17 時～18 時前」・「19 時以降」(同率 13.3%)、「14 時より前」・「16 時～17 時前」(同率 10.0%)、「14 時～15 時前」・「15 時～16 時前」(同率 3.3%) となっている。



(2) 日曜日・祝日

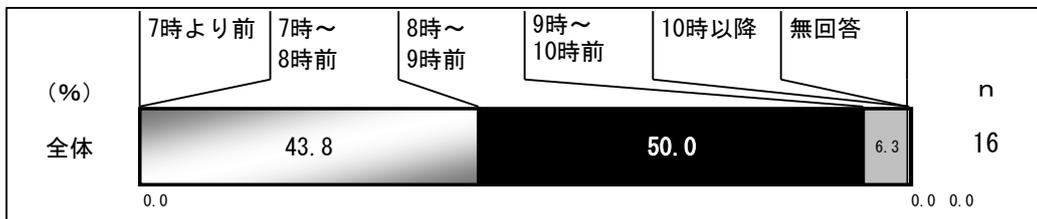
・利用希望

「利用する必要はない」(83.6%)、「低学年の間は利用したい」(8.2%)、「高学年になっても利用したい」(4.9%)となっている。



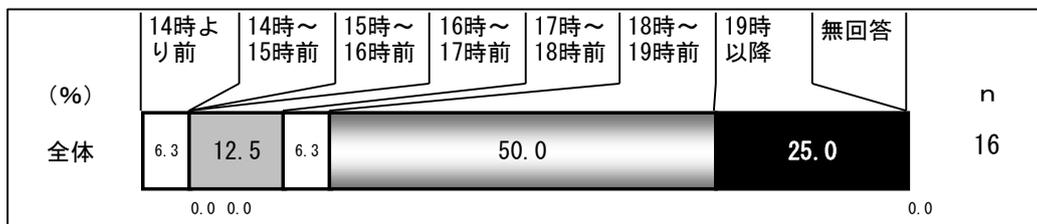
・開始時刻

「8時～9時前」(50.0%)、「7時～8時前」(43.8%)、「9時～10時前」(6.3%)となっている。



・終了時刻

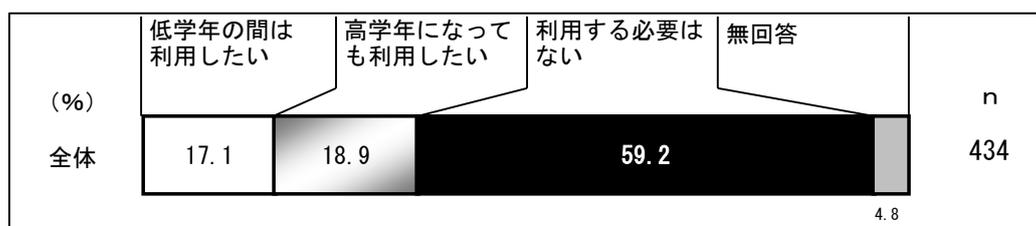
「18時～19時前」(50.0%)、「19時以降」(25.0%)、「16時～17時前」(12.5%)、「14時より前」(6.3%)、「17時～18時前」(6.3%)となっている。



問 20 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。

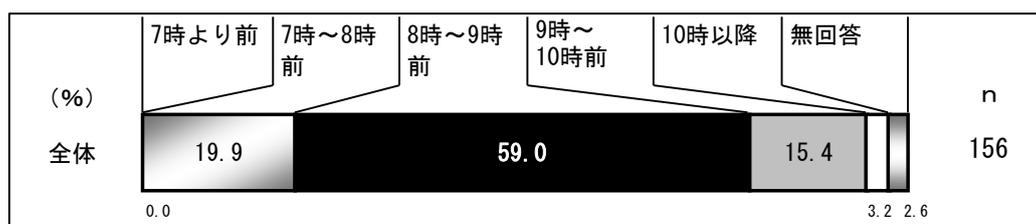
・利用希望

「利用する必要はない」(59.2%)、「高学年になっても利用したい」(18.9%)、「低学年の間は利用したい」(17.1%)となっている。



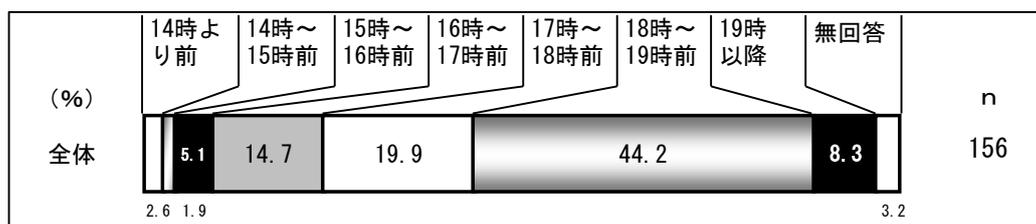
・開始時刻

「8時～9時前」(59.0%)、「7時～8時前」(19.9%)、「9時～10時前」(15.4%)、「10時以降」(3.2%)となっている。



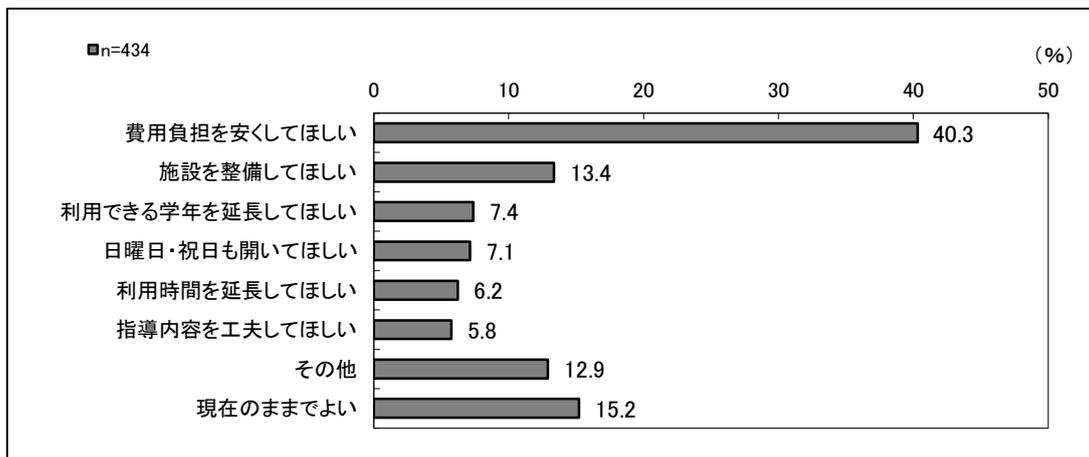
・終了時刻

「18時～19時前」(44.2%)、「17時～18時前」(19.9%)、「16時～17時前」(14.7%)、「19時以降」(8.3%)、「15時～16時前」(5.1%)、「14時より前」(2.6%)、「14時～15時前」(1.9%)となっている。



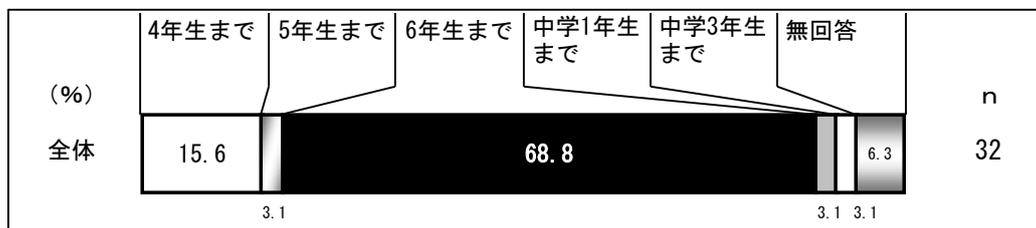
問 21 学童保育について今後希望することは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
 (「2」については、学年を()内にご記入ください。)

「費用負担を安くしてほしい」(40.3%)、「施設を整備してほしい」(13.4%)、「利用できる学年を延長してほしい」(7.4%)、「日曜日・祝日も開いてほしい」(7.1%)、「利用時間を延長してほしい」(6.2%)、「指導内容を工夫してほしい」(5.8%)、「その他」(12.9%)、「現在のままでよい」(15.2%)となっている。



・延長を希望する学年

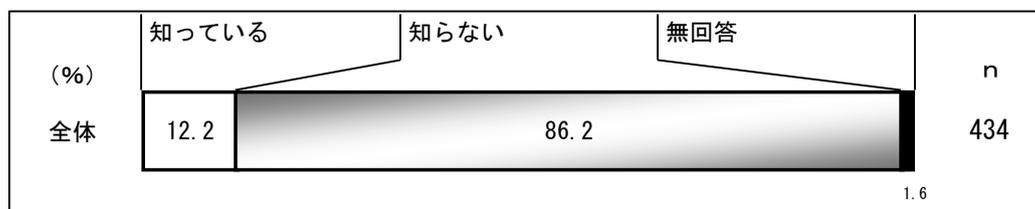
「6年生まで」(68.8%)、「4年生まで」(15.6%)、「5年生まで」・「中学1年生まで」・「中学3年生まで」(同率3.1%)となっている。



7. 「子育て世代包括支援」について

問 22 市では、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援のため、「子育て世代包括支援センター」の設置を検討していますが、子育て世代包括支援センターとは何かを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

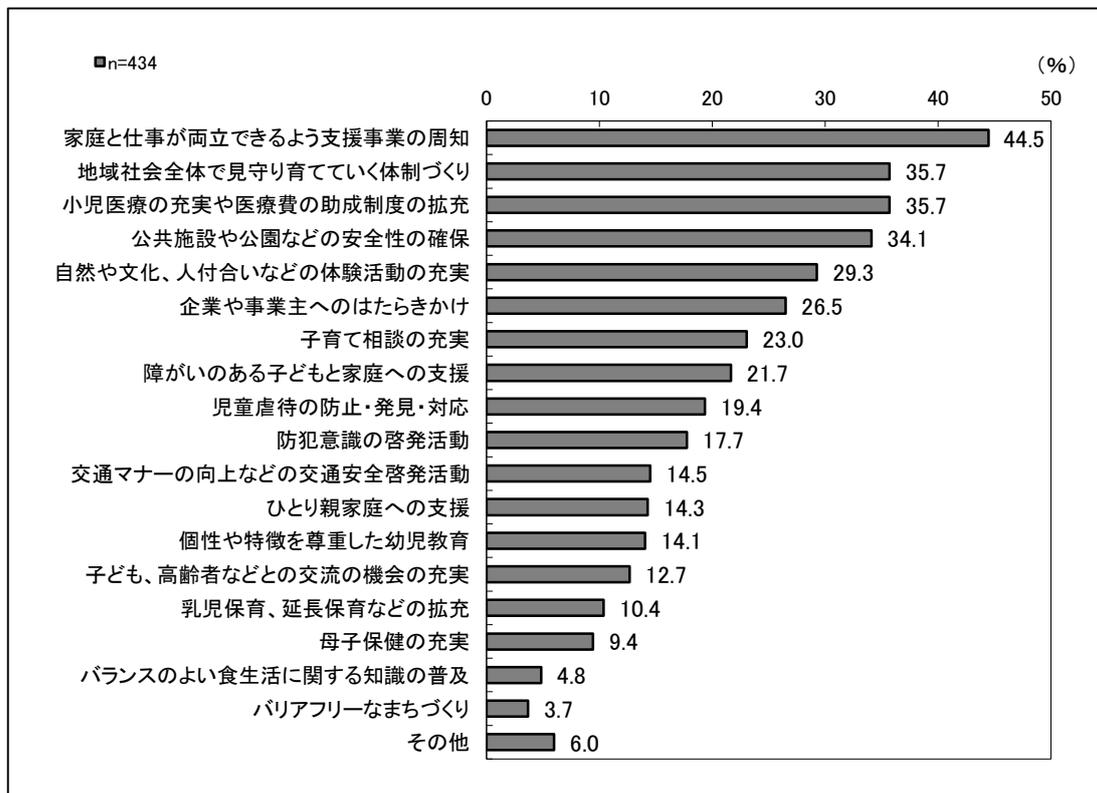
「知らない」(86.2%)、「知っている」(12.2%)となっている。



8. 本市の今後の子育て支援について

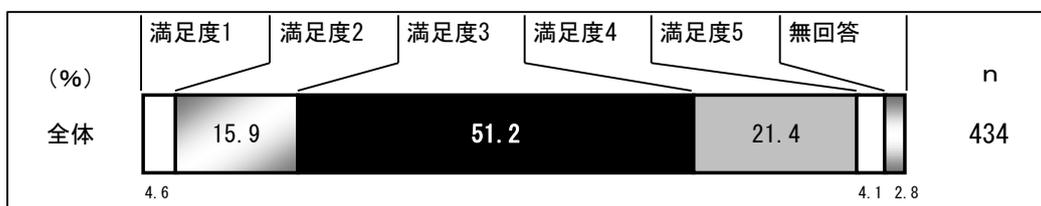
問 23 子育てについて考えたとき、今後、行政や関係機関の取り組みとして必要と思われること、重要と思われることは何だと思えますか。当てはまる番号5つまでに○をつけてください。

「家庭と仕事が両立できるよう支援事業の周知」(44.5%)、「地域社会全体で見守り育てていく体制づくり」・「小児医療の充実や医療費の助成制度の拡充」(同率 35.7%)、「公共施設や公園などの安全性の確保」(34.1%)、「自然や文化、人付き合いなどの体験活動の充実」(29.3%)、「企業や事業主へのはたらきかけ」(26.5%)、「子育て相談の充実」(23.0%)、「障がいのある子どもと家庭への支援」(21.7%)、「児童虐待の防止・発見・対応」(19.4%)、「防犯意識の啓発活動」(17.7%)、「交通マナーの向上などの交通安全啓発活動」(14.5%)、「ひとり親家庭への支援」(14.3%)、「個性や特徴を尊重した幼児教育」(14.1%)、「子ども、高齢者などとの交流の機会の充実」(12.7%)、「乳児保育、延長保育などの拡充」(10.4%)、「母子保健の充実」(9.4%)、「バランスのよい食生活に関する知識の普及」(4.8%)、「バリアフリーなまちづくり」(3.7%)、「その他」(6.0%)となっている。



問 24 瑞浪市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

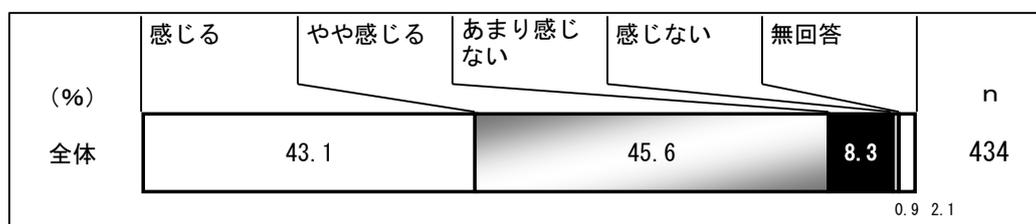
「満足度 3」(51.2%)、「満足度 4」(21.4%)、「満足度 2」(15.9%)、「満足度 1」(4.6%)、「満足度 5」(4.1%)となっている。



9. その他

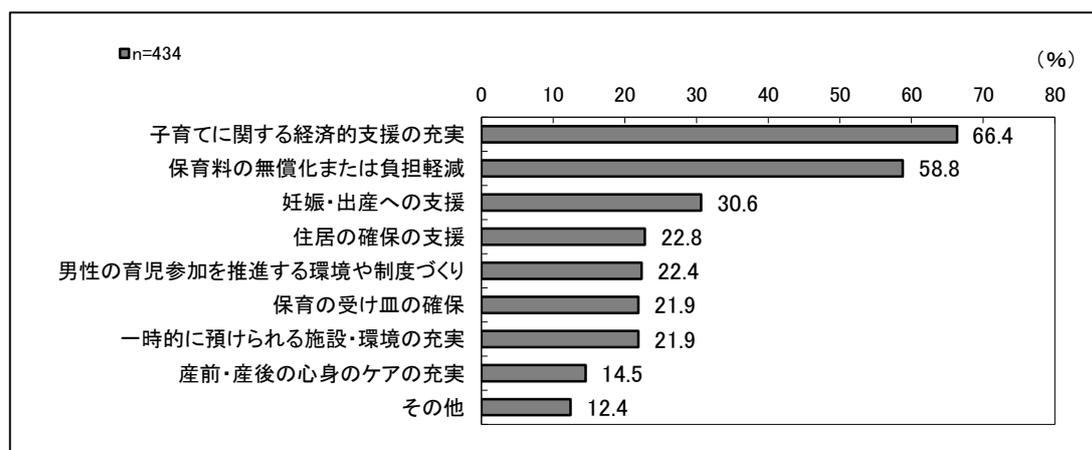
問 25 子育ては楽しいと感じますか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「やや感じる」(45.6%)、「感じる」(43.1%)、「あまり感じない」(8.3%)、「感じない」(0.9%)となっている。



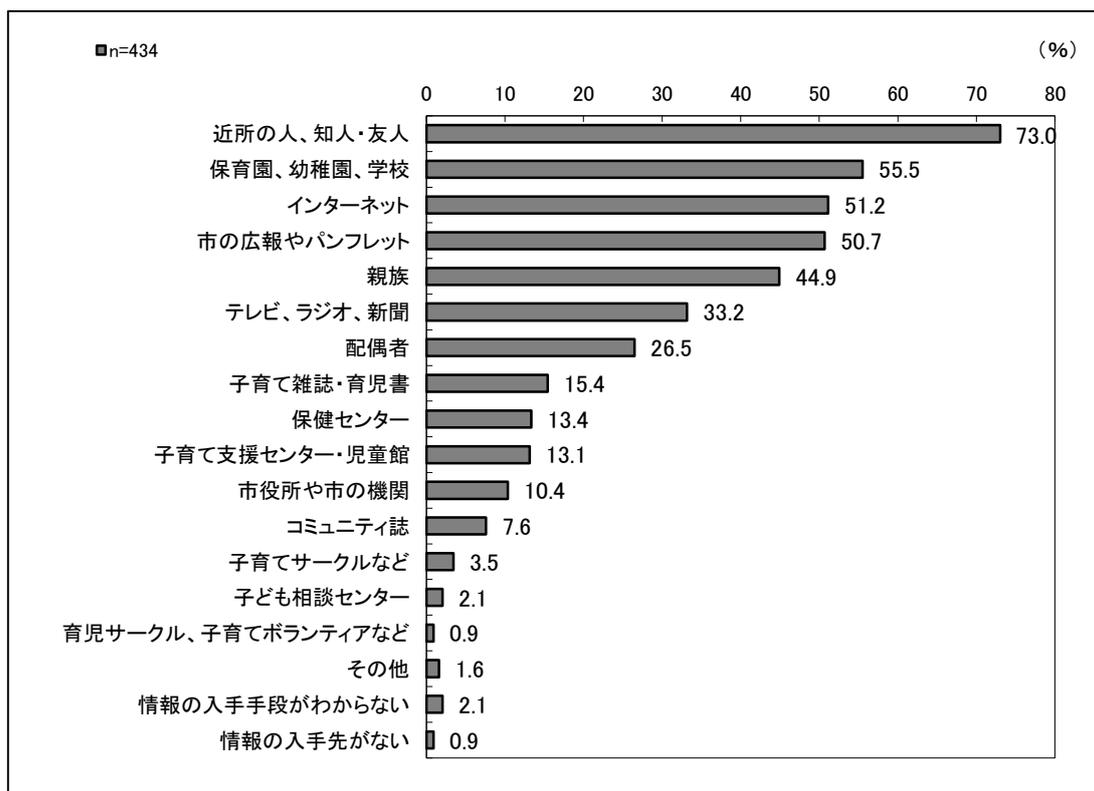
問 26 どのような支援があれば、子どもをもう一人産み育てたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てに関する経済的支援の充実」(66.4%)、「保育料の無償化または負担軽減」(58.8%)、「妊娠・出産への支援」(30.6%)、「住居の確保の支援」(22.8%)、「男性の育児参加を推進する環境や制度づくり」(22.4%)、「保育の受け皿の確保」・「一時的に預けられる施設・環境の充実」(同率 21.9%)、「産前・産後の心身のケアの充実」(14.5%)、「その他」(12.4%)となっている。



問 27 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「近所の人、知人・友人」(73.0%)、「保育園、幼稚園、学校」(55.5%)、「インターネット」(51.2%)、「市の広報やパンフレット」(50.7%)、「親族」(44.9%)、「テレビ、ラジオ、新聞」(33.2%)、「配偶者」(26.5%)、「子育て雑誌・育児書」(15.4%)、「保健センター」(13.4%)、「子育て支援センター・児童館」(13.1%)、「市役所や市の機関」(10.4%)、「コミュニティ誌」(7.6%)、「子育てサークルなど」(3.5%)、「子ども相談センター」(2.1%)、「育児サークル、子育てボランティアなど」(0.9%)、「その他」(1.6%)、「情報の入手手段がわからない」(2.1%)、「情報の入手先がない」(0.9%)となっている。



問 28 あなたは、子育てに関するどのような情報が欲しいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「医療機関に関する情報」(36.4%)、「予防接種の情報」(35.3%)、「家庭教育やしつけに関する情報」(34.3%)、「子どもに関する手当の申請方法などの情報」(33.6%)、「公園などの遊び場の情報」(32.5%)、「子育てに関するイベント・講習の情報」(26.3%)、「発達支援に関する相談窓口の情報」(15.9%)、「育児に関する相談窓口の情報」(14.1%)、「アレルギーを持つ子ども向けの情報」(13.6%)、「保育所などの保育サービスに関する情報」(9.0%)、「妊産婦・子どもへの健診の情報」・「子育てサークルの情報」(同率 8.1%)、「幼稚園などの幼児教育に関する情報」(6.9%)、「その他」(4.1%) となっている。

